

發行ニ係ル同種ノ手形、諸種ノ場所ニ於テ仕拂フ可キ國家ノ發行ニ係ル年金証書及ヒ所持人拂証書ニ適用セサルモノトス然レヒ二十年後ハ代用証書申受ノ爲メ差入タル保証金ハ之ヲ返還シ國庫ハ本証書ノ所持人ニ對シテ義務ヲ免カルヘシ〔第十六條〕茲ニ一ノ問題アリ此法律ハ外國ノ所持人拂証書ニ適用スヘキヤ否ヤ即チ是ナリ此問題ハ非決セサル可ラス何トナレハ佛蘭西法律ハ外國會社ニ命令ヲ與フルコト能ハサレハナリ

二 証書稅

第七問 証書稅中ニハ印紙稅、移轉稅及ヒ所得稅ノ三種ヲ包含ス

○印紙稅

商人集會ニ於テ取引ヲナス證書ニハ大概チ商業手形ト同シク一定稅ト異ナル所ノ價額ニ准シテ増減スヘキ比例即チ准等印紙稅ヲ賦課スヘシ
比例即チ准等印紙稅ハ融通ノ妨害トナルモノナリ

發行時間ノ短期ナル商業手形ニハ比例即チ准等印紙稅ヲ減少セリ即チ手形額面五百法未滿ハ百法ニ付キ五、サンチム、五百法以上千法未滿ハ五千、サンチム、千法以上二千法未滿ハ一法、二千法以上三千法未滿ハ一法五十、サンチム、ノ印紙稅トナセリ然ルニ千八百七十一

十

年八月二十三日ノ法律ヲ以テ此稅額チ二倍シ尋テ千八百七十四年二月十九日ノ法律ヲ以テ又之チ三倍セリ故ニ手形額面千法未滿ハ百法ニ付キ十五、サンチム、千法以上ハ千法未滿ノ端數ト雖ヒ千法ニ付キ一法五十、サンチム、ニ増加シタリ

取引ヲナシ得可キ諸證書ニ就テハ其稅更ニ多額ナリトス例ヘハ十年以下ノ期限ヲ以テスル會社ニ於テハ其株式及ヒ義務券ノ印紙稅ハ其額面百法ニ付キ五十、サンチム、トシ十ヶ年以上ノ期限ヲ以テスル會社ニ於テハ其株式及ヒ義務券ノ印紙稅ハ額面百法ニ付キ一法トス
其外千八百七十三年十二月三十日ノ法律ヲ以テ右ノ稅額ニ十分ノ二半ノ稅ヲ附加セリ
比例即チ准等印紙稅ハ證書ノ額面ニ因テ徵收スルモノナリ

○移轉稅

千八百五十七年六月二十三日ノ法律ヲ以テ設ケタル移轉稅ハ其證書ノ記名ナルト所持人拂ナルトニ從ヒ賦課額ニ差異アリ

記名證書ノ現移轉ニ付テハ其取引金額ニ基キ百法ニ付キ五十、サンチム、ノ稅ヲ徵收ス
所持人拂證書ノ移轉ハ之ヲ證明スルコト能ハサルヲ以テ移轉稅ニ代フルニ請負ノ名義ニ於テ證書ノ額面百ニ付キ五十、サンチム、ト定メ利札仕拂金額中ヨリ毎年ノ引去高ヲ以テス
〔千八百七十二年六月二十九日ノ法律〕

移轉税ハ全額ノ拂込ヲナサ、ル證書ニ付テハ其拂込ヲナサ、ル金額ヲ引去リ取引代價ニ基
キ之ヲ徴收スルモノトス〔千八百七十二年三月三十日ノ法律〕

所持人拂證書ヲ記名證書ニ變換シ又ハ記名證書ヲ所持人拂證書ニ變換スルニハ其變換ヲ爲
シタル日ノ平均相場ニ從ヒ百法ニ付キ五十〔サンチム〕ノ税ヲ徴收ス〔原註〕記名證書ノ金
額所持人拂證書ノ金額ト同額ナル時ハ記名ヲ所持人拂トナシ或ハ所持人拂ヲ記名ニ變換ス
ルヲ得可ク一般ニ此兩體裁成立スト雖モ佛蘭西銀行ノ株式ハ常ニ記名ニシテ義務券ハ必
ズ所持人拂タル可キモノナリ

○所得稅

千八百七十二年六月二十九日ノ法律ヲ以テ設ケタル所得稅ハ株券義務券股分會社ノ股分等
ノ如キ動產證券ノ所得ニ付キ百分ノ三ヲ賦課スヘキ年稅ナリ〔原註〕大審院ニ於テハ此股分
ナル語ハ合名會社々員及差金會社本員ニ適用ス可キ旨ヲ決定セリ此大審院ノ法律ノ適用ニ
對シテ駁議興起シ遂ニ國會ハ千八百七十五年ノ法律ヲ以テ下ノ如ク決セリ即チ千八百七十
二年ノ法律ハ合名會社ノ股分ニ適用スルモノニアラス而シテ唯股分差金會社ノ股分ニ適用
スルノミナリト千八百七十五年ノ法律ニ據レハ同上ノ例外ハ職工間ノ協力會社ノ利子ニモ
通用スルモノナリ〔國家ノ借入中公債證券ハ是等ノ諸稅ヲ免除セリ又外國政府ノ借入證券

チ

ニハ單ニ印紙稅ヲ課スルノミ

第三節 商品取扱商人集會

第八節

商品取扱商人集會ハ公ケノ手形取扱商人集會ニ引續キ開場スルモノナリ而シテ此集會ニ於
テ取扱フ事件ハ左ノ如シ

- 一 必要ノ場合ニ於テ商業世話人ニ依頼スル商品ノ販賣
- 一 保險契約
- 一 氷陸運送契約
- 一 爲替契約
- 一 金屬ノ賣買

手形賣買世話人ヨリ證明スル爲替及ヒ金屬ノ相場ヲ除キ商業世話人ハ以上述ケタル諸種ノ
取引ノ公ノ相場附テ調製ス

凡ソ毎日ナス各種ノ取引中精確ナルモノハ公ノ手形ノ相場ヲルヲ注意ス可シ何トナレハ
公ノ手形ハ手形賣買世話人ノ手ヲ經商人集會ニ於テスルニ非サレハ取引スルヲ得サレハ
ナリ之ニ反シテ商人集會ニ於テ取引スル商品其他ノ相場ハ唯、概算平均ノ價若クハ諸取引
ノ日價トナスニ過キス何トナレハ此等ノ物品ハ商人集會外ニ於テ商業世話人ノ媒介ナク賣

主買主雙方直ニ取引ヲナシ得レハナリ

第二款 手形賣買世話人及ヒ商業世話人

手形賣買世話人及ヒ商業世話人ニ關スル法制ハ舊ニ商法典及ヒ商法典制定以後ノ諸法律又ハ法制文章中ニ之ヲ見ルノミナラス又商法典以前ノ法律又ハ決定就中ク共和九年及ヒ十年ノ法律中ニモ之アルナリ

一 手形賣買世話人及ヒ商業世話人ノ性質及ヒ任命

第九問 舊正條ヲ寫出シタル千八百六十二年七月二日ノ法律ヨリ生スル商法典第七十四條ノ法文ニ於テ手形賣買世話人及ヒ商業世話人ハ商業ニ就テ居間ノ世話人即チ媒介人ナリト言ヘリ
手形賣買世話人及ヒ商業世話人ハ共ニ商人ニシテ其分散ヲ爲ス場合ニ於テハ倒産ノ刑ニ處セラル、モノナリ(商法典第八十九條)

又手形賣買世話人及ヒ商業世話人ハ(商品商業世話人ハ之ヲ除ク何トナレハ此種ノ世話人ノ特權ハ千八百六十六年七月十八日ノ法律ヲ以テ之ヲ廢止シ爾後何人タリモ自由ニ其職ヲ行フヲ得セシメタレハナリ)ハ公吏ノ資格ヲ有シ且政府ノ許可ヲ受ケテ讓渡スヲ得ヘキ職任ヲ帶フルモノトス

○商法典第七十四條ニ據レハ商人集會ノ設ケアル都府ニ於テハ必ス手形賣買世話人及ヒ商

業世話人無カル可カラズ然レモ實際ニ在テハ是等ノ世話人ナクシテ商人集會ノ設ケアル所アリ又商人集會ノ設ナクシテ是等ノ世話人アルノ都府ナシトセサルナリ
手形賣買世話人及ヒ商業世話人(既ニ其特權ノ廢止アルカ故ニ商品商業世話人ヲ除ク)ハ國長ヨリ之ヲ任命ス

手形賣買世話人ニ任セラル、ニ付テハ左ノ條件ヲ具備スルヲ要ス

一 佛蘭西人タルコ

一 滿二十五歳ノ以上ノ年齢タルコ

一 銀行及ヒ商家ノ長數人ノ署名シタル合格及正實ノ保証狀ヲ差出スコ

一 手形賣買世話人ノ職任讓受條約書ニ關シテ手形賣買世話人組合總代ノ承諾及ヒ大藏

大臣ノ認可ヲ得ルコ(千八百六十二年十月一日ノ布告)

手形賣買世話人ノ候補人ハ左ノ場合中ノ一ニ觸レサルコヲ必要トス

一 分散(商法典第八十三條)

一 免職(商法典第八十七條)

一 公衆ノ聞知シタル辨濟息止(商法典第四百三十七條)

一 財産ノ拋棄(民法典第一千二百六十五條)

一 再犯ノ後更ニ手形賣買世話人ノ職任ノ干冒(共和九年舊五月二十七日決定第五條)手形賣買世話人ニ任セラレタルハ者ハ其職ニ就ク前左ノ二件ヲ行フ可シ

一 保證金ヲ國庫ニ納ムルヲ但シ其金額ハ巴里府ニ於テハ二十五万法其他ノ都府ニ於テハ一万二千法以上四万法以下トス

一 宣誓ヲ爲ス

商業世話人ニ任セラル、ニ付キ必要ナル條件ハ殆ント手形賣買世話人ト爲ルニ付要スル條件ト同一ニシテ唯其異ナル所ハ商業世話人ノ候補人ハ商業世話人組合總代局ニ於テ試験ヲ受クルヲト商業世話人ノ保證金ハ巴里府ニ於テハ一方法以下トナセシ如ク保證金額ノ僅少ナルヲトニ在リ又其他後ニ説述スル所ノ商品商業世話人ト爲ルニハ何等ノ條件ヲモ履行スルニ及ハスシテ千八百六十六年ノ法律ハ自由ニ此職ヲ行フヲ得ルモノト爲シタルヲ喚起ス可シ

○手形賣買世話人ニ於テ取扱フ所ノ金額ノ巨大殊ニ巴里府(原註)巴里府ノ商人集會ノ手形賣買世話人ハ千八百五十九年十月十三日ノ布告ニ依リ手形賣買世話人ノ名ヲ以テシ而シテ其責任ヲ負フ所ノ一人二人ノ補員ヲ差加フルヲ許可セラレタリ)ニ於テハ其取扱フ所ニ百万法ノ巨額ニ至ルモノアルニ因リ商法典第七十五條ヲ改正シタル千八百六十二年ノ法律

ヲ以テ別ニ一局ヲ設備シタル商人集會ノ手形賣買世話人ニ其資本ノ貸附人ヲ差加フルヲ許可セリ

右資本貸附人ハ手形賣買世話人ノ職務ノ執行及ヒ其證券ノ精算ヨリ生スル利益ト損耗トニ干預スルモノトス但シ資本貸附人ノ擔當スヘキ損耗額ハ其約務ヲナシタル資本額マテニ至ルヲ以テ限トナスヘシ故ニ資本貸附人ト手形賣買世話人トノ間ニ於テハ即チ差金會社ノ體裁ヲナスモノナリ

手形賣買世話人ハ公吏タルヲ以テ其社員外ニ獨立シテ獨職務ヲ行フ者ナリ然ルニ其姓名ノ貸與ヲナスノ恐アルヲ以テ法律ハ豫メ之ヲ防カンカ爲メ手形賣買世話人タル者ハ其職務ノ價ト其保證金ノ高トヲ合シタル金額ノ四分ノ一以上ハ之ヲ自己ノ名前ニテ所有スルヲ必要ト爲セリ

資本貸附人ヲ差加ヘタルヲ及ヒ以後ナシタル變更ヲ證明スル證書ノ拔書ハ之ヲ手形賣買世話人ノ關係者ニ公告スヘシ若シ之ヲ公告セサル時ハ資本貸附人ノ差加及ヒ改正ハ總テ無効タルヘシ

二 手形賣買世話人及ヒ商業世話人ノ職掌

特ニ手形賣買世話人ノミニ屬スル職掌アリ又商業世話人ニ限リテ屬スル職掌アリ又一箇ノ

職掌ニシテ手形賣買世話人及ヒ商業世話人ニ共通ノモノアリ左ニ一々之ヲ説明ス可シ
手形賣買世話人ニノミ屬スル職掌

第十問 手形賣買世話人ハ左ノ諸件ニ付キ獨リ權利ヲ有ス可シ〔商法典第七十六條〕

第一 公債手形其他相場ヲ立テ得可キ諸手形ノ取引ヲナスコト○此取引ノ方法及ヒ此取引ノ手形賣買世話人ノ職掌中最要ノモノナルコトハ之ヲ後段ニ解説スヘシ〔原註〕手形賣買世話人ノ設置ナキ都府ニ於テハ公証人ニ於テ公ノ手形ノ取引ヲナスコト得ルモノトス

第二 他人ノ利益ノ爲メ爲替手形其他總テ商業手形類ノ取引ヲナスコト但シ此取引ハ手形賣買世話人ノ職掌中最要ノモノナリト雖モ巴里府ニ於テハ銀行營業人ノカ取扱ヲナセリ

第三 公ノ手形又ハ相場ヲ立テ得可キ証書、金貨及紙幣又ハ金屬ノ相場ヲ立ツルコト又商法典第八十一條ハ爲替手形ノ件ニ於テ返シ計算書ヲ證スルノ權ヲ手形賣買世話人ニ附與シタリ手形賣買世話人ノ設ケナキ地ニ於テハ此返シ計算書ハ商人二名ニテ之ヲ證明ス又手形賣買世話人ハ年金證書移轉ノ場合ニ於テ讓渡主及ヒ讓受人ノ署名ヲ證明ス茲ニ讀者ノ注意スヘキモノアリ則チ上ニ説明シタル公ノ手形ノ取引及ヒ諸證書ノ相場ノ證

明ニ就テハ手形賣買世話人ハ公吏トシテ取扱ヲナシ而シテ其媒介ハ欠ク可ラサルモノニシテ此世話人獨リ管轄スルコト是ナリ然レモ私證書類ノ取引ニ關シテハ結約者雙方直接ニ之ヲ爲スコト得可ク其此世話人ニ依頼スルハ其媒介ヲ欲スル場合ニ於テスルノミ

特リ商業世話人ニ屬スル職掌

第十一問 商業世話人ハ其資格ニ從ヒ相異ナル職掌ヲ有ス蓋シ商業世話人ノ種類ヲ別ツコト左ノ如シ

- 一 商品商業世話人
- 一 保險商業世話人
- 一 通辨兼船舶借入商業世話人
- 一 水陸運送商業世話人〔商法典第七十七條〕
- 一 酒類評價商業世話人〔千八百十三年十二月十五日ノ布告〕

○商品商業世話人

商品商業世話人ハ商品ノ取引及ヒ其賣買ノ世話ヲ爲シ且其賣買相場ヲ證明スルコトヲ擔當ス

〔商法典第七十八條〕

昔時ニ在テ商品商業世話人ノ特權ニ付キ種々ノ駁議ヲ生シタリシカ爲メ遂ニ千八百六十六

年ノ法律ヲ以テ之ヲ廢止シ爾後何人ト雖モ自由ニ之ヲ行フヲ得セシムルニ至タルコトハ前文
既ニ説明セリ故ニ此法律以降ハ何人ニテモ自由ニ商品商業世話人ノ職業ヲ行フヲ得ヘシ
然レモ亦法律ニ於テハ商事裁判所ニ設ケアル名簿中ニ記入ヲ受ケタル商品商業世話人ト記
入ナキ商品商業世話人トチ區別シタリ

第十二回 商事裁判所ニ設ケアル名簿ニ姓名ヲ記入セラレ、ニ就テハ左ノ諸件ヲ證明スルコトヲ必要ト
ス

第一 邑長ヨリ交付シタル保証狀ヲ以テ証スル行狀ノ端正

第二 商事裁判所ノ裁判官ヲ選舉スルノ任アリテ地方ノ紳商ト稱ス可キ者五名ノ保證ニ
係ル職業上ノ能力

第三 國庫ニ記入税ヲ納ムルコト、此記入税ハ千八百六十六年十二月二十二日ノ布告ヲ以テ
三千法以下トナシ各地方ニ於テ其額ヲ定ムルモノトセリ抑モ此税ヲ國庫ニ徵收ス
ル所以ノモノハ舊商品商業世話人ニ償金ヲ給與スルニ必要ナル金額ヲ得ルニ在リ
商事裁判所ノ名簿ニ記入セラレタル商品商業世話人ハ該裁判所ニ於テ宣誓ヲ爲シ而シテ其
職掌ノ紀律ニ就テハ組合總代局ノ管理ヲ受ケ又組合總代局ナキ地ニ於テハ商事裁判所ノ管
轄ヲ受ク可シ

第十三回 商事裁判所ノ名簿ニ記入セラレタル商品商業世話人ハ記入セラレサル商品商業世話人ノ有
スルヲ得サル所ノ左ノ三箇ノ利益ヲ有ス

第一 法律ニ定メタル場合ニ於テ商品商業世話人ノ爲スヘキ賣買ナルキハ記入セラレタ
ル商品商業世話人ニ限り商品ノ公賣糶賣及ヒ卸賣ヲ爲ス者トス(千八百六十六年七
月十八日ノ法律第四條)(原註)商品商業世話人ハ新商品ノ隨意賣買ノミノ取扱ヲ
爲シ差押物品ノ賣買及ヒ新物品ニ非サル隨意賣買ハ評價人又ハ公証人、執行吏又
ハ書記之ヲ掌トル又新商品ノ隨意賣買ヲ分テ小賣ト卸賣ノ二ト爲サ、ルヘカラス
小賣ニ於テハ新商品ヲ公賣即チ糶賣ニ附スルコトヲ禁止スルヲ以テ原則トナス(千
八百四十一年六月二十五日ノ法律)何トナレハ小賣商人ニ損害ヲ加フルコトヲ欲セサ
レハナリ然レモ下ニ記載シタル物品ハ其例外トナス即チ(一)飲食物及ヒ衣服ノ
類(二)商人ノ死去、分散、廢業ノ三箇ノ場合ニ於ケル商品(三)商事裁判所ニ於テ糶賣
スルヲ必要ト爲シタル場合ニ於ケル商品(千八百四十一年六月二十五日ノ法律第
一條第二條第五條)又卸賣ニ於テハ公賣ニ付スルヲ原則トス何トナレハ消費者ハ
糶賣者トナル者ニアラス且小賣商人ハ毫モ損害ヲ被ムルコトヲ却テ之ニ依テ益ス
レハナリ然レモ千八百五十八年五月二十八日ノ法律ハ下ノ制限ヲ設ケタリ則チ

〔二〕卸賣ハ其目的ノ百法以上ノ物品タルヘキヲ〔千八百六十三年六月六日及ヒ八月二十九日ノ布告〕三立法權ノ委任ニ依テ國長ヨリ糶賣シ得可キ物品ヲ指定スルヲ〔更ニ輸出ス可キ輸入物品、原品ノ類ヲ云フ〕千八百六十三年五月三十日ノ布告〔三〕債主ノ利益ノ爲メ及ヒ買主ヲ誘引スル爲メ商品糶賣ノ揭示ヲナスヲ是ナリ○千八百六十一年七月三日ノ法律ハ廢業シタル場合又ハ必要ノ場合ニ於テ上ニ掲ケタル以外ノ物品ノ糶賣ヲ允許スルヲ商事裁判所ニ許セリ○商品商業世話人ヨリ取立ル稅ハ五朱ヨリ一分半マテニ過キスト雖モ評價人ヨリ取立ル稅ハ通常六分トス〕

第二 共同倉庫内ニ預ケタル商品ノ評價ニ付賣主ト買主トノ協議ヲ以テ命シタル評價人ナキ時ハ記入セラレル商品商業世話人ハ其需ニ應スルヲ得ヘシ〔千八百六十六年七月十八日ノ法律第五條〕

第三 商人集會ノ設ケアル都府ニ於テハ記入ヲ受ケタル商品商業世話人ハ一人ニテ諸商品ノ相場ヲ證明シ又ハ記入ヲ受ケサル商品商業世話人アルキハ其商業世話人及ヒ其地方ノ商人若干名ト合同シテ之ヲ證明ス〔千八百六十六年七月十八日ノ法律第九條〕

○保險商業世話人

保險商業世話人ノ職掌ハ左ノ如シ

- 第一 河海ノ保險ノ世話ヲ爲ス
- 第二 保險契約又ハ保險契約書ヲ記シ及ヒ其署名ヲ以テ其證書ノ正實ヲ保証スルヲ但シ公証人ハ此世話人ト抗競シテ保險ノ世話又ハ保險契約書ヲ記スルノ權ヲ有ス

第三 河海航行ニ付キ保險料ヲ証スルヲ〔商法典第七十九條〕

○通辯兼船舶借入商業世話人

通辯兼船舶借入商業世話人ノ職掌ハ左ノ如シ

- 第一 船舶賃借ノ世話ヲ爲ス
- 第二 船舶借入料ノ相場ヲ證明スルヲ但シ此賃借料ヲ稱シテ大洋ニ於テハ「フレート」云ヒ地中海ニ在テハ「ノリート」云フ
- 第三 裁判所ニ爭訟ヲナシタル場合ニ於テハ其訴狀、船舶借入證書、荷積目錄、契約書及ヒ

其他翻譯ノ必要アル商業上ノ書類ヲ翻譯スルヲ

第四 商業ニ付キ訴訟ノ起リシ時稅關又ハ其他ノ役所用ノ爲メ船主、商人、乘組人、其他何レノ船客ヲ問ハス總テ外國人ノ案内ヲ爲シ及ヒ通辯ヲ爲ス〔商法典第八十條〕

○水陸運送商業世話人

水陸運送世話人ハ水陸運送ノ世話ヲ爲スノ權ヲ有ス可キ者ナレモ實際ニ於テ此世話人アル
トナク運送仲買人及ヒ運送企業者之ニ代ハルモ利アリテ害ナキモノナリ

○酒類評價商業世話人

酒類評價商業世話人ハ千八百十三年ノ布告ヲ以テ特ニ巴里府ニノミ設ケタルモノニシテ其
職掌ハ賣主及ヒ買主ノ需メニ應ジ其間ニ在テ媒介ヲ爲スヲ、之ヲ試嘗シ且其釀造場及ヒ其
品柄ヲ誠實ニ指示スルヲ、酒ノ品柄ニ付キ爭ヲ生シタル時又ハ海灣又ハ倉庫ニ到着シタル
舟車ノ運送人ニ對シ他物ヲ酒中ニ混化シタリト訴フル場合ニ於テ鑑定ヲ爲スヲ等ナリ

手形賣買世話人及ヒ商品商業世話人共屬ノ職掌

第十四問 一ノ職掌ニシテ手形賣買世話人及ヒ商品商業世話人ニ共屬スルモノハ即チ金屬ノ取引及ヒ
其賣買ノ世話是ナリ而シテ金屬ノ相場ニ就テハ前文既ニ手形賣買世話人獨リ之ヲ證スル權
ヲ有スルヲ陳述シタリ(商法典第七十六條及ヒ第七十八條)

茲ニ所謂金屬トハ單ニ金銀ノミナシ鉛鉄亞鉛等ノ如キハ總テ之ヲ商品ノ部類ニ加ヘリ
金屬ニ相場アリ之ヲ名ケテ「アジョ」(金屬相場)ト云ヒ又時トシテハ「シヤンジュ、マニユエー
ル」(手投)ト云ヒ或ハ「シヤンジュ、ロカール」(其場)ト云フ「シヤンジュ、マニユエール」ト稱スル

所以ハ甲ノ手中ヨリ乙ノ手中へ物品ヲ受授スルニ因テ金銀ノ相場成立スルニ在リ又「シヤ
ンジュ、ロカール」ト名クル所以ハ引出小切手ト稱スル爲替手形ト異ニシテ此地ヨリ彼地ニ移
スヲナキニ在リ又金銀貨ノ互ニ陟降スルニ隨ヒ其相場ニ對相場ト高相場ト低相場トノ三種
アリ例ヘハ金銀兩替ノ際金銀共ニ其價等キ時ハ之ヲ稱シテ對相場ト云ヒ其價不等ナル時ハ
或ハ之ヲ高相場ト云ヒ或ハ之ヲ低相場ト云フ今日ニ在テハ金貨ハ銀貨ニ比シテ其價騰貴セ
リ故ニ人之ヲ稱シテ金ニ利ニシテ銀ニ不利ナル相場ト云フ

○商法典第八十一條ニ據レハ別段政府ヨリ許可ヲナシタルニ於テハ唯一人ニテ手形賣買世
話人、商品商業世話人、保險商業世話人、通辯兼船舶借入商業世話人ノ職掌ヲ兼帶スルヲ得
可シト雖モ同法典第八十二條ハ明ニ水陸運送商業世話人(實際此世話人ノ設ケナシ)ニ是等
ノ職掌ヲ兼帶セシムルヲ禁セリ

三 手形賣買世話人及ヒ商業世話人ノ義務

手形賣買世話人及ヒ商業世話人(商品商業世話人ハ之ヲ除ク)ハ其取扱ヒシ事件ヲ即時ニ手
帳ニ登記シ其日ノ中ニ商法典第十一條ニ定メシ法式ニ遵テ設備シタル日用帳簿ニ之ヲ記入
スル義務アリ(商法典第八十四條)此日用帳簿ニハ塗抹、添削、變更等ヲ爲スヲナク且略語及ヒ
數字ヲ用ヒス總テ其取扱ヒシ事件ヲ日附ノ順ヲ追ヒ毎日記入スヘシ故ニ此日用帳簿ハ通常

ノ日用帳簿ヨリモ一層嚴重ニ設備セサルヘカラサルモノナリ

手形賣買世話人及ヒ商業世話人ハ如何ナル場合ヲ問ハス又何等ノ口實ヲ以テスルモ自己ノ利益ノ爲メ商業又ハ銀行ノ商業ヲ爲スヲ得ス又自己ノ名目ニテ直接ニ爲スト他人ノ名目ヲ借リテ間接ニ爲ストヲ問ハス總テ自己ノ利益ノ爲メ商業ノ企ニ干預スルヲ得ス

手形賣買世話人及ヒ商業世話人ハ其任用者ノ利益ノ爲メニ金額ヲ收受シ又ハ辨濟スルヲ得ス〔商法典第八十五條〕前文ノ意義ハ蓋シ手形賣買世話人及ヒ商業世話人ハ其主顧ノ爲メニ銀行營業人トナリ預リ金ヲナシ又ハ立替金ヲ爲シ得ストスルニ在リ

手形賣買世話人及ヒ商業世話人ハ自ラ取扱ヒタル取引ノ執行ノ擔保者トナルヲ得ス〔商法典第八十六條〕

右ノ如ク商法典第八十五條及ヒ第八十六條ニ設ケタル禁制ハ其目的媒介人ノ資力ノ如何ニ關シテ第三者ノ心ヲ安穩ナラシメ且之ニ擔保ヲ供スルニ在リ

故ニ此禁制ノ制裁ハ免職及ヒ輕罪裁判所ヨリ言渡ス所ノ三千法以下ノ罰金トナス但シ任用者ニ損害ヲ被ラシメタルニ依リ賠償ヲ求ムル訴權ト抵觸スルヲナカルヘシ〔商法典第八十七條及ヒ第八十八條〕又此等ノ世話人分散ヲ爲ス場合ニ於テハ前文ニ述ヘタル如ク倒産ノ刑ニ處セラル可シ〔商法典第八十九條〕

共和十年舊五月二十七日「コンシウール」ノ決定ハ分散人ニ屬スル爲替手形及ヒ其他ノ証書ノ取引ヲナスヲ手形賣買世話人及ヒ商業世話人ニ禁止シタリ而シテ此禁制ヲ犯シタル者ハ同上ノ刑ニ處セリ又巴里府ノ手形賣買世話人ノ特別規則ハ商人集會ノ約務ヲ行ハサル者ノ爲メ一切ノ事件ノ取扱ヲナスヲ手形賣買世話人ニ禁セリ

○又同上ノ決定ニ據リ手形賣買世話人ハ特ニ左ノ件々ヲ行フコトナレリ

第一 賣拂ノ委任ヲ受ケタル手形及ヒ買入ノ委任ヲ受ケタル手形代價ノ仕拂ニ必要ナル金額ヲ請取置クヲ然レテ實際ニ於テハ斯ノ如ク證書及ヒ代金ヲ請取置クヲナク唯保證金ヲ求ムルニ止マレリ

第二 取引ヲ委任シタル任用者ノ姓名ヲ秘スルヲ但シ其任用者己レノ姓名ヲ顯スヲ許シ又ハ賣買ノ性質ニ依テ止テ得サル場合ハ此限ニ在ラス〔原註〕共和十年ノ決定ヲ以テ手形賣買世話人ニ附シタル任用者ノ姓名ヲ穩秘スルノ義務ハ商法典第八十六條ニ定メタル契約執行ノ擔保者トナルノ禁止ト相抵觸スルヲ無キ平蓋シ任用者ノ姓名ヲ穩秘ス可キヲ即チ手形賣買世話人ハ其主顧ニ對シテ責任ヲ帶ヒ其媒介ヲ爲シタル契約ノ擔保者タル者ノ如シ如何○此問題ニ就テ學者ノ一般ニ決スル所ハ即チ共和十年ノ決定ハ現行ニシテ廢止セラレタルモノニ非ス商法典ハ此決定ヲ確

認シタルニ過キス抑モ商法典ノ謂ント欲スル所ノモノハ「手形賣買世話人ハ其主顧ニ證書又ハ金圓或ハ少クモ保證金ヲ要求ス可キニ依リ其主顧ニ對シテ責任ヲ負フ」ヲ得スト爲スニ在リ「何レノ場合ニ於テモ法律ハ之ニ穩秘ノ義務ヲ負ハシムル」ヲ得サル爲替手形ノ取引ト對視スルカ故ニ手形賣買世話人ハ殊ニ手形ノ保證ヲ爲シテ以テ其辨濟ノ擔保者タルヲ得サルモノナリトナスニ在リ

千八百六十二年十月一日ノ布告ニ據レハ手形賣買世話人ハ其任用者ヨリ請求スル時ハ請取置タル金額又ハ證券ノ請取書ヲ交付セサル可ラス又此布告ハ佛國內ニ於テ任命ヲ受ケタル地方外若シクハ外國ニ於テ己レノ名代人ヲ置キ又ハ名代人ヲシテ直接ニ取扱ヲナサシムルヲ手形賣買世話人ニ禁セリ

公吏タルヲ止メタル商品商業世話人ニ關シテハ其職業何人ト雖自由ニ行フヲ得可シト爲セシ以來千八百六十六年ノ法律ハ之ニ若干ノ義務ヲ付セリ今之ヲ左ニ述フヘシ

○商○事○裁○判○所○ノ○名○簿○ニ○記○入○セ○ラ○レ○タル○商○品○商○業○世○話○人○ハ○公○賣○ヲ○取○扱○ヒ○又○ハ○共○同○倉○庫○ニ○預○ケ○アル○商○品○ヲ○評○價○ス○ル○委○任○ヲ○受○ケ○タル○時○ハ○右○ノ○商○品○ヲ○自○己○ノ○爲○メ○ニ○獲○得○ス○ル○ヲ○得○ス○此○禁○ヲ○犯○シ○タル○時○ハ○裁○判○所○ノ○名○簿○中○ヨリ○其○姓○名○ヲ○刪○除○セ○ラ○レ○且○其○任○用○者○ヨリ○賠○償○ノ○訴○ヲ○受○ク○可○キ○モ○ノ○ト○ス

又商事裁判所ノ名簿ニ記入セラレタルト否トヲ問ハス自己ノ利益ヲ有スル所ノ賣買ノ世話ヲ任セラレタル商品商業世話人ハ其旨ヲ任用者ニ通知ス可シ若シ通知セサルハ輕罪裁判所ニ於テ五百法以上三千法以下ノ罰金ノ言渡ヲ受ケ且其任用者ヨリ損害賠償ノ訴ヲ受ク可シ其商事裁判所ノ名簿ニ記入セラレタル商業世話人ハ其姓名ヲ刪除セラル可シ

四 手形賣買世話人及ヒ商業世話人間ノ異同

第十五回

手形賣買世話人ト商業世話人ト(商品商業世話人ハ之ヲ除ク)同一ナル點左ノ如シ

第一 手形賣買世話人及ヒ商業世話人ハ共ニ人ノ依頼ヲ受ケタル事件ノ取扱ヲナス爲メ政府ヨリ任シタル公吏タル

第二 右二種ノ世話人ハ共ニ商人ニシテ(商法典第六百三十二條)分散ノ場合ニ於テハ倒産ノ刑ヲ受ク可キ者タル

第三 右二種ノ世話人ハ共ニ相續人ヲシテ其職務ヲ相續セシムルノ權アルカ故ニ其職務ヲ賣買シ得可キ

第四 右二種ノ世話人ハ共ニ其職業ノ特權ヲ有スルヲ故ニ他人妄リニ右世話人ノ職業ヲ行フ時ハ冒職ノ罪トナルヲ以テ世話人ヨリ嘗テ政府へ差入レタル保證金ノ一部ニ相當スル罰金ニ處セラルヘシ但シ世話人ヨリ損害要償ノ訴ヲ受クルト抵觸スル

トナカルヘシ

第五 右二種ノ世話人ハ共ニ同一ナル數個ノ義務ヲ帶フルコト(原註)商品商業世話人ハ總テ商人タリ然レモ商事裁判所ノ人名簿ニ記入セラレタル者ハ該裁判所ニ於テ宣誓ヲ爲シ且記入セラレサル世話人ノ有セサル特權ヲ有シ又隨テ數個ノ義務ヲ負フ
右ハ手形賣買世話人及ヒ商業世話人ノ間ニ同一ナル所ノ點ナリ而シテ其相異ナルモ亦少カラス因テ左ニ其最モ著シキモノヲ記載ス可シ

第一 手形賣買世話人ハ唯一種ナリ○商業世話人ニハ數種アリ

第二 手形賣買世話人ハ資本貸附人ヲ差加フルコトヲ得可シ○商業世話人ハ其職ヲ行フ爲メ社員ト爲ルコトヲ得ス

第三 手形賣買世話人ハ商業世話人ノ職掌ト全ク別種ナル職掌ヲ有ス其其屬ノモノハ獨リ金屬ノ取引及ヒ賣買ニ關スル職掌ノミ

第四 手形賣買世話人ハ商人集會外ニ於テ其職ヲ行フコトヲ得ス○商業世話人ハ賣主ト買主ト引合セ若クハ賣主買主ノ申述ヲ双方ニ通報スルニ止リ一身上ノ義務ナシ

第五 手形賣買世話人ハ其主顧ノ利益ノ爲メ自ラ契約ヲナス○商業世話人ハ賣主ト買主ト引合セ若クハ賣主買主ノ申述ヲ双方ニ通報スルニ止リ一身上ノ義務ナシ

〔商業世話人チ「クールチエー」ト云フ「クールチエー」トハ「クローラチエー」ト云フ語チ簡約シタルモノニシテ「クローラチエー」トハ往復スル人ト云フノ義ナリ〕

第六 手形賣買世話人ハ事件ヲ取扱フニ當リ其任用者ノ姓名ヲ隱秘スルノ義務アリ○商業世話人ハ賣主ト買主ト引合スルノミニシテ其賣買ハ賣主買主直接ニ之ヲ爲スカ故ニ賣主及ヒ買主ノ姓名ヲ隱秘スルノ義務ナシ

第七 手形賣買世話人ハ任用者ノ姓名ヲ隱秘シ及ヒ一身上ノ責任ヲ負フニ因リ賣却ノ依頼ヲ受ケタル證書ヲ請取置キ又買入ノ依頼ヲ受ケタル證書ノ代價ヲ受取置カサル可カラス○商業世話人ハ賣主ト買主ト引合スルノミナレハ更ニ擔保ナキヲ以テ同上ノ義務アルコトナシ

五 商人集會ノ所業

第十六問 商法典第九十條ニ據レハ公ノ手形ノ取引及ヒ其所有權ノ移轉並ニ本卷ノ總テノ成規ニ關シテハ行政規則ヲ以テ規定ス可キモノナリト雖モ未ダ行政規則ノ制定之ナキヲ以テ商人集會ノ所業ニ就テハ方今猶ホ舊法律ノ規則ノ大半ヲ適用セリ

商人集會ニ於テ公ノ手形又ハ其他ノ證書ノ取引ヲ爲スニハ或ハ現金拂ノ方法ヲ以テシ或ハ定期拂ノ方法ヲ以テシ又ハ現金拂ト定期拂ト混同シタル方法ヲ以テスルナリ

現金拂トハ一方ヨリ物件ヲ渡シ他ノ一方ヨリ即時ニ其代金ヲ拂ヒ賣買ヲ結了スルモノヲ云フ而シテ此取引ノ方法ハ或ハ常ニ商業ヲ職トナス投機者之ヲ用ヒ或ハ單ニ資本ヲ差入レ利益ヲ得ント欲スル者之ヲ用フ

定期拂ハ取引ノ執行ヲ一定ノ期限マテ引延スルキ之アルモノナリ但シ其期限ハ契約ヲ爲シタル日ヨリ二ヶ月ヲ超過スルコトヲ得ス(千七百八十六年九月二十二日參事院ノ決議)其契約ヲナシタル月末又ハ翌月末ニ賣買ヲナス等ノ如キ是レナリ(原註)毎月十六日ニ精算ヲ爲ス可キ證券若干アリ而シテ巴里府ノ商人集會ニ於テハ佛蘭西年金、金庫ノ義務券、佛蘭西銀行ノ株式、不動産抵當銀行ノ株式、佛蘭西鐵道會社ノ株式ヲ除クノ外定期拂ニテ賣買スル所ノ總テノ證書ハ一ヶ月ニ二回精算ヲ爲セリ但シ此二回ノ精算中一ハ慣習ニ依リ月末ニ爲シ一ハ毎月十六日ニ之ヲ爲ス(千八百六十六年七月二十六日總代局ノ決議)

定期契約ハ現金契約ニ比シテ實際ニ於テ行ハル、コト多シ
定期契約ト現金契約トノ間ニ數多ノ差異アリ左ノ如シ

第十七回

第一 寡少ノ金額ニ付テハ現金拂ニテ賣買スルコトヲ得○巨大ノ金額ナルコトアラサレハ定期拂ニテ賣買スルヲ得ス(百ニ付キ四半乃至五ノ年金證書二千五百法、百ニ付キ四ノ年金證書二千法、百ニ付キ三ノ年金證書千五百法、佛蘭西銀行ノ株式二十五鐵道

會社ノ株式二十五若クハ是等ノ金額ノ倍數等ノ如シ)

第二 諸種ノ證券ハ現金拂ニテ賣買スルコトヲ得○相場ノ元素トナリ得ヘキ證券ニアラサレハ定期拂ニテ賣買スルコトヲ得ス何トナレハ其價ニ昂低ナケレハナリ

第三 現金拂ノ賣買ハ常ニ嚴格ナリ○定期賣買ハ屢々假想上ノコトアリ相場ノ差即チ歩金ヲ仕拂ヒ契約ノ執行ヲ結了スルコト多シ

第四 現金賣買ニ於テハ賣主ト買主トノ間全ク公平ナリ何トナレハ賣主ハ物品ヲ渡シ買主ハ其代價ヲ拂フテ即時ニ取引ヲ爲シ終レハナリ○定期賣買ニ於テハ則チ然ラス買主ハ自己ノ利益ノ爲ニノミ定メタル期限ノ到着ヲ俟ツ義務ナク買主ニ於テ其買得シタル物品ノ代價ヲ仕拂フ時ハ何時ニテモ賣主ハ其物品ヲ引渡サ、ル可カラス此所爲チ「エスコムテ」ト云フ即チ期日ニ前テ契約ヲ執行スルノ義ナリ

第五 現金拂買入ハ定期拂買入ニ比スレハ廉價ナリ是固ヨリ自然ノ理ナリ何トナレハ日毎ニ利息ヲ生スヘキ資本(代價ヲ云フ)ヲ即時ニ仕拂フ所ノ獲得者ハ契約後日ニ至テ勘定ヲ爲スコトヲ約スル者ニ比スレハ代價ヲ拂フコト少カルヘク又現金ニテ買入チナシタルモノニ得アリ即チ其買入タル證書ヨリ入頼ヲ生スヘキ期日ニ近ツクニ隨テ其證書ノ價騰貴スレハナリ

定期拂ノ賣主ハ其代價ノ下落ヲ欲望スル投機商ニシテ買主モ亦其代價ノ騰貴ヲ渴望スル投機者タルコト多シ

現金拂ト定期拂ト混合シタル賣買ヲ名ケテ一般ニ「ルポール」繼續取引ト云フ〔原註〕現金拂ノ代價ト定期拂ノ代價トノ差ヲモ亦「ルポール」ト云フ〔例〕ハ茲ニ資本者アリ本月末又ハ來月末ニ他人ニ拂フ可キ若干ノ金額ヲ有ス然ルニ其拂期日ニ至ルマテ右金額ヲ使用セスシテ棄置クコト欲セサル時ハ手形賣買世話人ヲシテ現金ニテ證書ヲ買入レ之ヲ定期例セハ百ニ付キ三ノ證書ヲ現金七十法ニテ買入レ直ニ之ヲ定期拂七十法五十「サンチーム」ニテ賣却セシムルカ如キノ類是ナリ

又證書若干ヲ所有スル者若干ノ金額ヲ要スルアリ然ルニ其證書ノ價現時下落シタルニ付キ確定賣却ヲ欲セサルキノ如キハ一時現金拂ニテ其證書ヲ讓渡シ更ニ其讓受人ヨリ定期拂ニテ之ヲ買戻スカ如キモ亦現金拂ト定期拂ト混合シタル賣買ナリ〔原註〕歩金即チ現金拂ノ定期拂上ニ有スル利益法律上ノ利息ヲ超過スル時ハ之ヲ正當ト爲スヤ否ヤノ問題アリ二三ノ學者ハ此所業ヲ賣買ト看做シ充分ニ有効ナリトナセリ他ノ論者ハ斯ノ如キ所爲ハ實際嚴格ナラサル買戻賣買ノ体裁ヲ粧フタル質入貸借契約ナリ何トナレハ其契約ハ賣買ノ當時ニ於テ成リ且買主ハ賣主ヲシテ強テ證書ヲ取戻シ其代金ヲ仕拂ハシムルヲ得ルカ故ニ買戻ハ

賣主ノ隨意ニ任スルモノニ非サレハナリト主張セリ〔ボリスティール氏モ之ト同論ナリ〕又例外トシテ現金拂ノ代價定期拂ノ代價ヨリ貴キコトアリ則チ金圓ノ供給ニ比シテ證書ノ需要多キ時例ハ「精算」時ニ於テ現ニ有セサル證書ヲ賣却シタル者數名アリテ其賣却セシ證書ヲ買主ニ引渡スヘキ期限ニ至リ餘義ナク他ヨリ一時ニ證書ヲ買入ル、時等ノ場合ニ於テ屢々生スルモノナリ抑モ此ノ如キ狀況ハ上ニ述ヘタル如ク未ダ引渡ノ期日ニ至ラサル前ニ代價ヲ仕拂ヒ其證書ノ引渡ヲ債主ニ對シ請求スル買主ニ許ス所ノ前拂ノ權能ヨリ生スルコト最モ多シ此場合ニ於テハ「デポール」アリト云フ此時ニ於テ利益ハ繰揚ヲ爲スモノニアラズシテ繰揚ヲ受クルモノニアリ

定期賣買ニ固定取引ト歩合取引即チ隨意取引ノ二種アリ

第十九回

賣主買主共ニ約務ヲ免ル、コト能ハス各之ヲ執行スルノ義務アルキハ之ヲ固定取引ト云フ嘗テ拂ヒ置キタル歩金ヲ拋棄シテ以テ契約ヲ解除スルノ自由ヲ有スル買主ノ權能アルキハ之ヲ歩合取引ト云フ其歩合ハ大抵二十五「サンチーム」或ハ五十「サンチーム」或ハ一法或ハ一法五十「サンチーム」或ハ二法ナリトス故ニ世人ハ賣買代價ハ若干ニシテ其歩合ハ二十五「サンチーム」或ハ五十「サンチーム」或ハ一法或ハ一法五十「サンチーム」或ハ二法ナリト云ヘリ例ハ四月一日ニ甲某ハ乙某ヨリ其月末ニ百ニ付三ノ年金證書一葉ヲ代價七十法ニテ買

入ル、トテ契約シ其歩合ヲ五十「サンチーム」ト爲シ即時ニ之ヲ拂込タリ而シテ月末ニ至リ
 甲某即チ買主ハ其歩金ヲ抛棄シテ契約ノ執行ヲ距ミ又ハ其管テ拂ヒ置キタル歩金五十「サ
 ンチーム」ニ六十九法五十「サンチーム」ヲ加ヘテ以テ證書ノ代價七十法ト爲シ其契約ヲ執行
 スルコトヲ得ヘシ然レモ買主ハ歩金ヲ抛棄シテ契約ヲ取消スカ又ハ契約ヲ執行スルカチ返答
 スル爲メ定メタル期月ノ最終ノ商人集會ニ至テ意志ヲ申述スヘシ〔原註〕諸會社ノ株式又ハ
 義務券ニ付テハ證書ノ高ニ應シテ其歩金ヲ五法或ハ十法或ハ二十法トス一月ニ二回ノ精算
 ナ爲シ得ヘキ證券ニ付テハ十六法トス而シテ月末精算ノモノニ付テハ返答ノ期日二回アリ
 毎月十六日及ヒ月末是ナリ〕若シ其契約ヲ執行セントスル時ハ歩金ヲ用フヘシト述ヘ其契
 約ヲ取消サントスル時ハ歩金ヲ抛棄ス可シト述フヘシ故ニ買主ハ其損耗ノ高ニ限アリ而シ
 テ利得ノ高ニ限ナキ運命ヲ有スヘシ然レモ歩合取引ハ固定取引ニ比スレハ其價賤ク且又其
 價ハ歩金少キトハ更ニ貴キモノナリ

第二十問

公ノ手形ノ定期賣買契約ハ有効ナルヤ否ヤニ就テハ舊來論議ノ決セサル所ニシテ今日ト雖
 且學者各所見ヲ異ニスルモノナリ

一説ニ曰公ノ手形ノ定期拂賣買ノ契約ハ少クモ唯其契約ノミニシテ其證書ヲ買主ニ引渡サ
 ス又ハ之ヲ官ニモ預ケヌ又ハ賣買ノ時其證書ヲ所有スルノ證ナキトハ總テ無効ナル旨ヲ千

七百二十四年、千七百八十五年及ヒ千七百八十六年ノ舊參事院ノ決議ヲ以テ定メタリ又特ニ
 千七百八十六年ノ決定ハ二月以上引渡ヲ引延スル公ノ手形賣買ノ契約ヲ禁セリ而シテ共
 和四年葡萄酒收納月二十八日ノ法律ヲ以テ又更ニ此成規ヲ確認シ同十年、舊莠月二十七日ノ
 決定第十三條ヲ以テ又更ニ之ヲ明瞭ナラシメタリ其文ニ曰各手形賣買世話人ハ賣却ノ依頼
 ナ受ケタル證書又ハ買入ノ依頼ヲ受ケタル證書ノ代價ヲ其依頼人ヨリ請取り置クヘキモノ
 ナルヲ以テ賣却證書ヲ買主ニ引渡シ其買入證書ノ代價ヲ賣主ニ仕拂フコト付キ責任ヲ負フ而
 シテ其保證金額ハ其義務ノ擔保ナリト又之ニ附言シテ曰刑法典第四百二十二條ハ公ノ手形
 賣買契約ノ時又ハ之ヲ引渡スヘキ時賣主其手形ヲ所有スルノ證據ヲ舉ケサル時ハ其賣買及
 ヒ引渡ノ契約ヲ犯罪トナス所ノ規則ヲ設ケシノミニテ敢テ從前ノ成規ヲ廢止シタルニアラ
 ス抑モ本條ノ制裁ハ少クモ手形引渡ノ時賣主之ヲ所有スルノ證據ナキ場合ノミニ付テ設ケ
 タル者ニシテ契約ノ時ニ於テ手形ノ引渡ナク又ハ少クモ之ヲ官ニ預ケヌ又ハ其證書ヲ所有
 スルノ證據ヲ舉ケサルニ依リ其契約無効タル民事上ノ制裁ノ妨トナルモノニ非ス千八百二
 四十年八月十一日ノ大審院判決ノ趣意ハ即チ此ニ在リト

又一説ニ曰舊參事院ノ決議ハ刑法典第四百二十二條ヲ以テ悉皆之ヲ廢止シタリ而シテ本條
 ハ賣主引渡ノ時所有スルノ證ヲ立ツルコト能ハサル證書ヲ賣買セシ場合ノコトノミニテ規定シタ

ルモノナレハ其他ノ場合ニ於ケル定期賣買ハ總テ有効タルヘキナリ加之共和十年舊莠月二十七日ノ決定ハ手形賣買世話人ヲシテ必ラス其依頼ニヨリ證書又ハ金額ヲ請取リ置ク責務ハ唯々責任ヲ免カレ其主顧ニ對シテ擔保ヲ爲サ、ルカ爲ノミ其主顧タル者定期拂公ノ手形賣買ノ契約ヲ有効ニ締結シ得ル所以ハ即チ此ニ在リト〔原註〕實際ニ於テハ手形賣買世話人ハ保證金ヲ請求スルニ止マル故ニ若シ任用者ニ於テ其義務ヲ尽サ、ルキハ相場ノ用語ニテ手形賣買世話人ハ之ヲ執行シタリト云ヘリ蓋シ其意タルヤ若シ手形賣買世話人ハ其主顧ノ利益ノ爲メニ賣却シタル時ハ其賣却ヲ精算スル爲メニ買入レ若シ又買入レタル時ハ其買入ヲ精算スル爲メ主顧ニ危險損失ノ責ヲ負ハシメ賣却ヲ爲スト云フニ在リ右ノ執行ハ取引相場ノ高低ノ原因タルモノナリ大審院ノ判決ニ據レハ手形賣買世話人ハ其任用者ニ對シ催促ヲ爲シタル后ニアラサレハ執行ヲナスコトヲ得ス〔千八百五十四年十一月八日及ヒ千八百五十七年七月十四日ノ判決〕

右ハ二說何レチ是トシ何レチ非トスルモ大審院ノ近時ノ裁判慣例ハ定期拂ニテ公ノ手形ヲ賣買スルノ契約ハ嚴格ニシテ賭博ニ類スルコトナキ以上ハ有効ナリト認定セリ而シテ其契約ハ情狀ニ依リ雙方ノ者之ヲ實行スルノ意アリテ且其爲ス所ノ所業將來ノ相場ノ高低ニ從ヒ唯相場ノ差異ノミヲ得又ハ之ヲ拂フノ目的ニアラサルノ證アル時ノ如キハ則チ其契約ハ嚴

格ナリ若シ契約嚴格ナラサルハ則チ民法典第九百六十五條及ヒ第九百六十七條即チ賭藏ノ義務ニ就テハ訴權ヲ與ヘス又賭藏ニ負ケタル者隨意ニ拂ヒタル金額ハ之ヲ取戻スコトヲ許サ、ル規則ノ適用ヲ受ク可シ〔千八百四十二年十二月三十日、千八百六十年一月十九日及ヒ千八百六十五年十一月七日 大審院判決〕

○以上陳述シタル諸規則ハ公ノ手形ノ取引ニ限り之ヲ適用スヘキモノナリ故ニ商品及ヒ他ノ證書類ノ取引ハ定期拂ノ方法ヲ以テ自由ニ之ヲ爲スコトヲ得可シ何トナレハ千七百八十五年及ヒ千七百八十六年ノ參事院ノ決議ハ是等ノ取引ニ適用ス可カラサレハナリ然レモ若シ是等ノ取引ハ契約者雙方ノ意志ニ從ヒ唯相場ノ差金ヲ仕拂フ可キ假想ノ契約ニ過サル時ハ

又賭藏ニ關スル民法典第九百六十五條及ヒ第九百六十七條ヲ適用スヘシ
何レノ場合ニ於テモ賭博ニ關スル刑法典第四百二十一條及ヒ第四百二十二條ノ刑ハ唯公ノ手形ノ賭博ニ付テ設ケタルモノニシテ商品又ハ私ノ手形ニ關スル賭博ヲ罰スルニ非サルナリ

商法畧論第六卷動産質及ヒ仲買人ノ部問題

- 第一 問 商事上ノ動産質ヲ支配スル諸種ノ法制トハ何等ノモノナルヤ
- 第二 問 如何ナル場合ニ於テ動産質ヲ商事上ノモノト爲スヤ
- 第三 問 商事上ノ動産質ニ關シ千八百六十三年ノ法律ヲ以テ設ケタル普通法ノ
二大變例トハ何ソヤ
- 第四 問 所持人拂證書ハ如何ナル方法ヲ以テ質入チナスカ
- 第五 問 千八百四十八年ニ設定シタル共同倉庫ハ如何ナル功用アリヤ
- 第六 問 請取證書及ヒ荷預切符ハ如何ナル用ヲ爲スカ及ヒ此二個ノ證書ハ如何
ナル方法ヲ以テ之ヲ讓渡スヤ
- 第七 問 荷預切符ノ所持人ハ如何ナル方法ヲ以テ其質物ノ實行チナスヤ
- 第八 問 仲買人ノ性質如何
- 第九 問 仲買人ト通常ノ名代人トノ差異如何
- 第十 問 手形賣買世話人ト仲買人トノ差異如何
- 第十一 問 千八百六十六年ノ法律ヲ以テ商品商業世話人ノ特權ヲ廢止シタル理由

如何

第十二問 任用者ニ對スル仲買人ノ義務如何

第十三問 仲買人ニ對スル任用者ノ義務如何

第十四問 信用契約トハ何ソヤ

第十五問 賣主タル仲買人分散チ爲シタル場合ニ於テ買主ヨリ其代金ヲ拂ヒシヤ

否ヤチ知ルニ付テ如何ナル利益アリヤ

第十六問 仲買人ノ特權ニ關スル千八百六十三年ノ法律ノ重ナル改正トハ何ソヤ

第十七問 如何ナル點ニ於テ仲買人ノ特權ト質取債主ノ特權トノ差異アリヤ

第十八問 運送仲買人トハ何ソヤ

第十九問 何等ノ意義ニ於テ送り狀ハ契約書トナルヤ

第二十問 運送仲買人ノ危険トハ何ソヤ

第二十一問 如何ナル場合ニ於テ運送物ノ危険ヲ其物品ノ所有者ノ擔當ニテ運送ス

ル規則ノ適用アリヤ

第二十二問 運送物ノ危険ハ常ニ其物品ノ請取人ノ負擔ナリヤ

第二十三問 運送人トハ如何ナルモノナリヤ

第二十四問 運送人ノ責任如何又運送人ト仲買人トノ差異如何

第二十五問 何物ノ上ニ運送人ノ先取特權存スルヤ

第二十六問 運送人及ヒ仲買人ハ如何ナル條件ニ於テ其責任ヲ免ルハヤ

第二十七問 運送人及ヒ仲買人ノ利益ニ於テ設定シタル時効トハ如何ナルモノナル

ヤ

第六卷 動産質及ヒ仲買人(自第九十一條至第百八條)

商法典ニ於テハ此第六卷ヲ題シテ仲買人トノミ記セシカ千八百六十三年五月二十三日ノ法律ヲ以テ商業上ノ動産質ニ關スル特別規則ヲ此卷中ニ編入シ且可成の商法典ノ舊箇條ノ順序ヲ保存シテ以テ仲買人ニ關スル數箇ノ條目ヲ改正セリ之ニ依テ爾來此卷ノ題目ヲ改メテ動産質及ヒ仲買人トナセリ此卷中四款ヲ包含ス今商法典ノ順序ニ循ヒ逐次左ニ之ヲ説明スヘシ

第一款 動産質

○商業上ノ動産質ノ沿革

商業上ノ動産質ニ關スル規則ハ之ヲ左ノ三時期ニ區別スルヲ得可シ

第一問

第一 商法典ノ制法即チ普通法ノ適用

第二 或商店ニ關シテ設ケタル特別制法即チ例外保護ノ適用

第三 千八百六十三年ノ新制法即チ普通法ノ變例タル一般ノ規則ノ適用

商法典ニ於テハ商業上ノ動産質ヲシテ一般ニ民法典ノ規則ニ因ラシメタリ(民法典第二千七十四條以下)故ニ動産質ニ基ク仲買人ノ特權ニ付テハ商法典舊第九十五條ハ仲買人ニ於テ百五十法以上ノ件ニ付其特權ヲ行ハントスルニハ負債金額、質入シタル動産ノ種類、員數

ヲ掲クル所ノ官簿ニ登記シタル證書アルヲ必要トナス所ノ民法典ノ成規ニ讓レリ然レモ例
外トシテ他ノ地方ヨリ送付ヲ受ケタル商品ニ付キ仲買人ヨリ立替金ヲ爲シタルモハ仲買人
其之ヲ爲シタルヲ以テ其商品上ニ特權ヲ行フヲ得可シ(商法典舊第九十三條)
或信用ノ商店ノ爲メ法律ハ動産質ノ設定及ヒ實行(按實行トハ質物ヲ賣拂ヒ貸金ヲ得ルヲ
チ云フ)ニ關シテ特別ノ利益ヲ許與セリ此信用商店ノ重ナルモノハ即チ典舖、佛蘭西銀行、不
動産抵當銀行、割引前拂所、同分所及ヒ荷預所又ハ共同倉庫等是ナリ
千八百六十三年ノ法律ハ商法典中ニ編入シ從來或商店ニ限り附與シタル保護ヲ擴張シ普ク
商事上ノ動産質ニ適用スヘキ例外規則ヲ設定セリ

○商事上ノ動産質ノ性質

第二問 商人タルト非商人トチ間ハス商業ノ爲メ爲シタル動産質ハ總テ商事上ノモノトス(商法典
第九十一條)故ニ理論ニ於テ民事上ノ貸借ナルカ將タ商事上ノ貸借ナルカ其性質ヲ定ムル
ニハ義務者ノ資格ニ因ル如ク動産質ノ商事上ノモノタルヤ將タ民事上ノモノタルヤヲ定ム
ルニモ亦其義務者ノ資格ニ因ルナリ而シテ商人タル者ノ動産質ヲ約シタル場合ト非商人ノ
之ヲ爲シタル場合トノ間ノ差異ハ即チ第一ノ場合ニ於テハ動産質ヲ約シタル者ノ資格商人
タルカ故ニ其動産質ヲ商事上ノモノト看做シ第二ノ場合ニ於テハ之ヲ爲シタル者商人ニア
ラサルカ故ニ其者商業用ノ爲メニ質入ヲ爲シタル時ニアラサレハ之ヲ商事上ノモノト看做
サ、ルニ在リ

第三問 千八百六十三年ノ新法ハ商事上ノ動産質ニ關シテ民事上ノ動産質ト區別スルニ箇ノ改正ヲ
ナセリ即チ其一ハ動産質ノ設定及ヒ其證據ニ關スルモノ其二ハ其實行即チ質物ヲ金圓ニ更
フルコトニ關スルモノ是ナリ

一 商事上ノ動産質ノ設定

商事上ノ動産質ハ其之ヲ契約シタル雙方ノ者ニ對スルト同シク第三者ニ對シテ商法典第百
九條ヲ以テ商事事件ニ付テ許ス所ノ證據ノ方法就中代價百五十法以上ナルモト雖モ
證人又ハ推測ヲ以テ之ヲ證スルヲ得ルヲ原則トナス然レモ此規則ハ民法典第二千七十四
條ニ定ムル所ノ變例ナリ何トナレハ其第二千七十四條ニ於テハ百五十法ヲ超過スル事件ニ
付テハ借入タル金額並ニ其質物ノ種類性質又ハ品位度量等ヲ記載シタル公正證書又ハ官ノ
帳簿ニ登記シタル私印證書アルニ非サレハ質取債主ハ第三者ニ對シ其特權ヲ有ス可ラスト
ナスヲ以テナリ質取債主ノ特權ニ付テ必要トスル民法典ノ法式ノ目的ハ辨濟息止ノ場合ニ
於テ動産質、不動産質及ヒ合意上又ハ裁判上ノ書入質ノ是ヨリ前ニ係ルモノヲ以テ無効ト爲
スカ故ニ商事事件ニ於テ最モ憂虞スル所ノ詐欺及ヒ日附綴上チナスコト豫防スルニ在リ

〔商法典第四百四十六條〕然レモ千八百六十三年ノ新法ノ立法者ハ以爲ヘラク動産質ノ設定ニ付テハ所有權ノ移轉ニ比シテ更ニ嚴重ナル方法ヲ用フ可ラス此動産質ハ賣買ノ如ク商事ニ付テ許ス所ノ總テノ證據ノ方法ヲ以テ之ヲ證スルコトヲ得可ク其詐欺ノ如キハ容易ニ帳簿又ハ證人ノ陳述若クハ推測ヲ以テ之ヲ證スルコトヲ得ヘシト

無形物ノ質入ニ關シテハ新法ハ許多ノ區別ヲナセリ即チ左ノ如シ

第一 爲替手形又ハ指圖手形ノ如キ取引ヲ爲シ得可キ證券ノ質入モ亦其之ヲ抵當ト爲シ

テ差入レタル旨ヲ其手形ノ裏ニ適法ニ記載シテ以テ之ヲ證スルコトヲ得可シ時トシ

テハ此裏書ヲ名ケテ質入裏書ト云フ而シテモ亦得可シト云フ語ヲ茲ニ用ヒタル所

以ハ手形ノ質入ハ時宜ニ依リ商法典第百九條ヲ以テ許シタル證據ノ他ノ總テノ方

法ヲ以テ證スルコトヲ得レハナリ

又辨濟ヲ爲ス可キ者ノ必チ安カラシムル爲メ法律ハ質物トシテ差入レタル手形ヲ

質取債主ヨリ回復ス可キ旨ヲ明ニ決定セリ

第二 財務會社、工業會社、商事會社又ハ民事會社其株式股分及ヒ記名ノ義務券ニシテ移

轉チ會社帳簿上ノ移轉ヲ以テ爲スモノ、質入モ亦抵當ノ名義ニ於テ會社ノ帳簿ニ

記入シタル移轉ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得可シ

第三

證書ノ讓受人ハ義務者ニシタル移轉ノ通知ヲ以テスルニ非サレハ差押ヲ受クル

コトナキ通常動産ノ債主權ノ質入ニ就テハ新法ハ民法典第百七十五條ノ規則ヲ維

持セリ此規則ニ據レハ質取債主ハ其公正證書又ハ帳簿ニ登記シ且義務者ニ債主權

ヲ質入シタル旨ヲ通知セシ私印證書アルニ非サレハ此債主權ニ付キ特權ヲ有セサ

ルモノナリ

第四

千八百六十三年ノ新法ニ據レハ商法典第九十一條ハ所持人拂證書ノ質入ヲ明記セズ然レモ

千八百六十三年ノ法律ノ説明書ニ由レハ所持人拂證書ハ之ヲ有形物ニ准スルヲ以テ此種ノ

證書ニ對シテハ商事上ノ質入ハ商法典第百九條ノ商事々件ニ付テ許シタル證據ノ總テノ方

法ヲ以テ之レヲ證スルコトヲ得可キナリ〔原註〕大審院ハ此說ニ反シ何レノ場合ニ於テモ商事

上ノ質入ト民事上質入トヲ問ハス所持人拂證書ハ民法典ノ規則ニ循テ質入ヲ爲スコトヲ必要

トナセリ

○何レノ場合ニ於テモ商法典第九十二條ハ民法典第百七十六條ニ從ヒ質取債主ノ特權ハ

債主又ハ債主ト負債主トノ協議ヲ以テ定メタル第三者ニ於テ質物ヲ受取り且占有スルニア

ラサレハ質物上ニ成立サル旨ヲ定メリ

債主ハ質物ニ取リタル商品ヲ己レノ倉庫又ハ船舶、税關又ハ共同倉庫ニ入置キタル時又ハ

其商品未ダ到着セサルキハ其積荷目録(原註)積荷目録トハ海路ノ運漕ニ用ユル送り狀ニシテ船長ハ此證書ニ依テ其船内ニ積入レタル商品ヲ請取り及ヒ指定セタル場所指定シタル人ニ其商品ヲ引渡スヘキ義務ヲナシタルト認ムル證書ナリ(商法典第二百八十一條以下)若クハ送り狀ヲ領収シタル時ハ已ニ其商品ヲ占有スルモノト看做スヘシ

二 動産質ノ實行(質物ヲ金圓ニ換フル)

負債主(質入主)期限ニ至リ質物ノ受戻ヲナサ、ル時ハ債主(質取主)ハ其負債主又ハ負債主ニ質物ヲ貸與ヘタル第三者アル時ハ此第三者ニ其質物ヲ賣拂フ旨ヲ告知シタル日ヨリ八日ヲ經テ之カ公賣ニ着手スルヲ得可シ(商法典第九十三條第一項)

右ノ成規ハ民法典第二千七十八條ノ變例ナリ民法典第二千七十八條ニ據レハ假令ヒ負債主ニ於テ請戻ヲナサ、ル時ト雖モ債主ハ直ニ其質物ヲ處分スルヲ得ス但シ評價人ノ評價ニ從ヒ其貸金高ニ至ルマテ其質物ヲ抵償トシテ己レノ所有ト爲ス可キノ言渡又ハ其質物ヲ賣スヘキノ言渡ヲ得ル爲メ裁判所ニ請願スルハ此限ニアラス

然ルニ千八百六十三年ノ法律ハ信用上ニ便益ナル急速ノ目的ニ於テ債主ノ爲メニ裁判所ニ訴フルノ繁ク省キ急速ト便益トヲ以テ其質物ヲ賣拂フヲ許セリ

若シ其賣拂フヘキ質物ハ公ノ手形又ハ其他相場ヲ立テ得可キ證書ナルキハ手形賣買世話人

手ヲ經テ之ヲ賣拂フ可シ

手形賣買世話人ノ手ヲ經テ賣拂フヘキ場合ノ外ハ總テ商業世話人ノ手ヲ經テ之ヲ賣拂フ可シ然レモ商事裁判所長ハ關係者ノ請願ニ基キ他ノ公吏ヲシテ質物ノ賣拂ヲナサシムルヲ得ベシ此場合ニ於テハ公賣ノ任ヲ受ケタル公吏ハ其何人タルヲ問ハス賣買ノ法式、費用、責任等ニ關シテハ總テ商業世話人ノ規則ニ從フ可シ(商法典第十三條第二項)

公賣ニ關スル千八百五十八年五月二十八日ノ法律第二條乃至第七條ノ成規ハ前項ノ賣買ニ通用ス可シ(商法典第九十三條第三項)(原註)千八百五十八年ノ法律ニ據レハ賣買ノ登記稅ハ是迄百法ニ付キ二法ナリシヲ改メテ百法ニ付キ十「サンナム」トナシ又商業世話人ノ謝金ハ是迄百法ニ付キ六法乃至七法ナリシヲ公吏ノ謝金ハ總テ百法ニ付キ五十「サンナム」乃至一法五十「サンナム」ト改正セリ

以上ノ法式ヲ履行セスシテ債主ヲシテ其質物ヲ所有セシメ又ハ之ヲ隨意ニ處分セシムルノ契約ハ總テ無効トナス(商法典第九十三條第四項)而シテ右ノ契約ハ流質約束ト稱スルモノニシテ又民法典第二千七十八條ノ禁スル所ナリ

○商業上ノ動産質論ニハ必ラス共同倉庫ニ預ケタル商品ノ取引ニ關スル千八百五十八年五月廿八日ノ法律ノ密着スルモノナリ何トナレハ質入ニ關スル千八百六十三年ノ法律ノ證券

所持人ノ爲メ其質物ヲ速ニ金圓ニ換ユルヲ許セシ成規ヲ資シタルハ即チ此千八百五十八年ノ法律ナレハナリ而シテ此千八百五十八年ノ法律ハ千八百五十九年三月十二日ノ條規布告ヲ以テ増訂セラレタリ

共同倉庫ハ英國ノ「ドク」(荷預所)ニ模倣シ千八百四十八年ニ始メテ佛國ニ設立シタルモノナリ

第五問 千八百七十年八月三十一日ノ法律ハ何人ト雖モ又何會社タリモ二万法以上十萬法以下ノ保

證金ヲ差出シ縣知事ノ許可ヲ經以テ貸庫ヲ設置スルヲ得可シトセリ

商品ヲ共同倉庫ニ預クルノ利益許多アリ即チ左ノ如シ

第一 荷物ノ運搬費、藏敷及ヒ管守費ヲ省ク

第二 倉庫ヨリ荷主ニ渡シ且裏書ヲ以テ移轉ス可キ指圖請取書ニ依テ倉庫ニ預ケタル商品ヲ持運ハス預ケタル儘ニテ幾度ニテモ賣買シ以テ屢々其所有權ヲ移轉スル

第三 倉庫ヨリ荷主ニ渡ス所ノモノニシテ裏書ヲ以テ移轉シ得可キ荷預切符ニ依テ移轉シ得可キ質入ノ權ヲ商品上ニ與フル

倉庫ハ商品ノ所有者即チ受取證ノ所持人ノ爲メ或ハ所有者ノ債主即チ荷預切符ノ所持人ノ爲メ商品ヲ所持ス故ニ此倉庫ノ創立ハ賣買及ヒ質入ヲ容易ナラシメ以テ商業上ノ信用ヲ増

發シタリ

第六問 ○預ケ主所有權ノ證書タル受取證書及ヒ預リ證書即チ受取書ノ附屬タル荷預切符ニハ預ケ

主ノ姓名、職業、住所並ニ預ケ品ノ性質及ヒ其品ノ他ノ同品ト紛レサルコト其品ノ價額トチ

定ムルニ必要ナル事柄ヲ記載スルモノトス

右ノ受取證書及ヒ荷預切符ハ一同又ハ別々ニ裏書ヲナシテ之ヲ移轉スルヲ得可シ(千八百五十八年ノ法律第一條乃至第三條)

受取證書ノ裏書ハ讓受人ニ其讓受タル商品ヲ處分スルノ權ヲ與フ但シ受取證書ト荷預切符ト一同ニ讓受ケスシテ單ニ債主權ノ辨濟ヲナシ又ハ其商品ノ賣拂代價中ヨリ債主權ノ辨濟

ヲ爲スヲ擔當ス可シ(千八百五十八年ノ法律第四條)

受取證書ト荷預切符トチ一同ニ讓渡シタルト又ハ別々ニ讓渡シタルトチ問ハス之ヲ讓渡ス

時ハ必ス其證券ノ裏書ニハ日附ヲ記ス可シ

荷預切符ノミチ分離シテ讓渡ス時ハ其裏書ニ抵當トナシタル債主權ノ資本及ヒ利息ノ全額

辨濟期日及ヒ債主即チ質取主ノ姓名職業住所ヲ記載ス可シ而シテ最初ニ荷預證書ヲ讓リ受

ケタル者ハ直ニ其證券ノ裏ニ記載シタル件々ト共ニ倉庫ノ帳簿ニ裏書ノ事ヲ登記ス可シ

(千八百五十八年ノ法律第五條)

右ノ如ク商品ヲ質入シタル旨ヲ倉庫ノ帳簿ニ登記シ以テ之ヲ公ケニ爲スコトハ千八百六十三年ノ法律ヲ以テ商品ノ質入ハ商法ニ於テ許シタル証據ノ總テノ方法ヲ以テ之ヲ証スルコトヲ許シ而シテ何等ノ法式モ之ヲ行フヲ要セサルコト爲シタル以來無用ニ屬スルニ似タリト雖モ決シテ然ラス何トナレハ此登記ハ其商品ニ關係アル者殊ニ之ヲ買入レント欲スル者ヲシテ其商品ハ何圓ノ質入ニナリタルヤヲ知ルコトヲ得セシムレハナリ〔書入質記入ニ同シ〕
受取證書ニハ常ニ荷預切符ヲ質入シタルコト及ヒ荷預切符ヲ以テ擔保シタル金高ヲ記載ス可シ

○受取證書所持人ノ權利

荷預切符ト分離シタル受取證書ノ所持人ハ荷預切符ヲ以テ保証シタル債主權ノ未タ辨濟期日ニ至ラサルニ前チテ辨濟スルコトヲ得可シ然ルニ若シ當時荷預切符ヲ所持スル者分明ナラサルカ又ハ其所持人分明ナルモ返濟期日前ニ負債ノ辨濟ヲ爲ス所ノ條件ニ從フコトヲ肯セサル時ハ受取證書ノ所持人ハ借入金額並ニ返濟期日迄ノ利息ヲ加ヘ之ヲ倉庫管理所ニ預ケ倉庫ニ責任ヲ負ハシムルコトヲ得可シ此附托ハ即チ商品ヲシテ質物タルノ義務ヲ免レシムルモノナリ〔千八百五十八年ノ法律第六條〕
右ハ受取證書所持人ノ爲メニ其商品ヲ賣却シ直ニ之ヲ買主ニ引渡スノ方法ナリ

○荷預切符所持人ノ權利

第七期 期日ニ至テ辨濟ナキ時ハ受取證書ト分離シタル荷預切符ノミチ所持スル者ハ拒ミ證書ヲ作リタル日ヨリ八日ヲ經過シタル時ハ裁判所ニ訴フルノ法式ヲ履ムコトヲ要セス直ニ商業世話人ノ手ヲ經テ質物ヲ公買及ヒ卸賣スルコトヲ得可シ質物ノ實行ヲ容易ニナスノ成規ハ前ニモ既ニ陳辯シタル如ク質入ニ關スル千八百六十年ノ法律中ニ之ヲ再設シタリ
荷預切符ノ最初ノ記入者即借用主其質物ノ代金ヲ辨濟シタル時ハ其拂期日ヨリ八日ノ後ニ至レハ別段受取證書ノ所持人ニ催促スルコト及ハスシテ直ニ物品ノ賣拂ニ着手スルコトヲ得可シ〔千八百五十八年ノ法律第七條〕何トナレハ受取證書ノ所持人ハ質物〔商品〕ヲ以テ保證シタル金高ヲ引去リタル上ニテ其殘金ニ相當スル部分丈ケニアラサレハ其商品ニ付キ所有權ヲ有セサルヲ以テ其立替タル金額ヲ取戻ス爲メ商品ノ賣拂ニ着手スルモノハ第三者タルト借主タルトヲ區別スルヲ要セサルナリ
質取債主ハ左ニ掲グル所ノ二者ノ引去ヲ除キ別ニ裁判上ノ法式ヲ行ニ及ハスシテ質物賣拂代金上ニ先取特權ヲ以テ他ノ債主ニ先チ辨濟ヲ受ク可シ

第一 質入商品ノ間税、入市税及ヒ海關稅

第二 商品賣拂費、藏敷費及ヒ其他總テ商品ノ保全ニ關スル諸入費

商品ヲ賣拂フニ當リ受取證書ノ所持人其席ヘ立會ヲナサ、ル時ハ荷預切符所持人ノ受ク可
キ金高ノ殘額ハ之ヲ倉庫ノ管理所ニ預ケ置ク可シ(千八百五十八年ノ法律第八條)
荷預切符ノ所持人ハ其質物(商品)上ニ權利アルニ係ハラハ常ニ借主及ヒ裏書人ノ人權債主
ナリト雖モ質物上ニ其權利ヲ行ヒ不足アル場合ニ於テスルニアラサレハ債主及ヒ裏書人ニ
對抗スルヲ得ス而シテ裏書人ニ對シ訴ヲ爲スニ就テノ通常ノ猶豫期限(十五日及ヒ路程距
離ノ日數)ハ質物賣拂ノ日ヨリ之ヲ起算スヘシ且質物ノ賣拂ハ拒ミ證書ヲ作リタル日ヨリ
一月以内ニ之ヲ爲サ、ルヘカラス然ラサレハ荷預切符ノ所持人ハ裏書人ニ對シ滿期ニ因テ
權利ヲ失フモノトス(千八百五十八年ノ法律第九條)

○受取證書及ヒ荷預切符ノ所持人ハ變災ニ因リ商品滅盡シタル場合ニ於テハ商品ニ付テ有
スル所ノ權利及ヒ特權ト同一ナル權利及ヒ特權ヲ保險金上ニ有スルモノトス(千八百五十
八年ノ法律第十條)

荷預切符ニ附スル堅牢ナル擔保ハ立法者ヲシテ信用ノ店舖(銀行ノ類)ニ其規約ヲ以テ必要
ト爲シタル丈ケノ署名アルヲ要セスシテ之ヲ商業手形トナシ荷預切符ヲ請取ルコトヲ許ス
ニ決定セシメタリ故ニ割引前拂商塵ニ於テハ一人ノ署名ヲ以テ荷預切符ヲ請取リ佛蘭西銀
行ニ於テ二人ノ署名ヲ以テ之ヲ請取ルコトヲ得可シ(千八百五十八年ノ法律第十一條)

受取證書又ハ荷預切符ノ所持人ニシテ之ヲ紛失セシ時ハ其所有權ヲ證明シ且保證人ヲ立テ
紛失シタル證券受取證書ナル時ハ代用證券荷預切符ナル時ハ之ヲ以テ保證シタル債主權ノ
辨濟ヲ裁判官ニ訟求シテ其命令ヲ請クルコトヲ得可シ(千八百五十八年ノ法律第十二條)
千八百五十八年ノ法律第十三條ハ受取證書及ヒ荷預切符ニ印紙稅及ヒ登記稅ヲ賦課セリ
受取證書ノ印紙稅ニハ大小アリト雖モ登記稅ハ一法ノ一定稅トス
受取證書ト分離シテ裏書シタル荷預切符ハ商業手形ニ准シ千法ニ付キ五十(サンチム)ノ
比例即チ准等稅及百法ニ付五十(サンチム)ノ比例登記稅ヲ賦課ス

第二款 一般ノ仲買人

一 仲買人ノ性質

第八問 仲買人ハ商業事件ニ於テ名代人ナリ而シテ名代ヲ委任スル者ヲ稱シテ仲買人任用者ト云ヒ
委任ヲ受クル者ヲ名ケテ仲買人ト云フ
總テ仲買人ハ左ノ二個ノ方法ヲ以テ契約ヲナスコトヲ得可シ
第一 仲買人自己ノ姓名ヲ以テスルコト
○仲買人自己ノ姓名ヲ以テ契約ヲ爲シタル時ハ其
媒介ノ所爲ヨリ生スル裁判上ノ効果ヲ其身ニ引受クルモノトス故ニ其契約ヲナシ
タル第三者ノ權利者トナリ又ハ義務者トナル可キ者ハ任用者ニアラスシテ仲買人

ナリ是レ蓋シ商業事件ニ必要ナル秘密及急速ニ基キタル仲買人ノ商業事件ニ於テ媒介ヲナス通常ノ方法トナスナリ

第二 任用者ノ姓名ヲ以テスルコト任用者ノ姓名ヲ以テ契約ヲ爲シタル時ハ仲買人ハ任用者ノ單純ナル名代人ニシテ第三者ニ對シ其之ヲキト同一ナルヲ以テ其姓名ヲ顯シタル任用者ハ義務者トナルモノナリ

右ノ二様ノ方法ハ載テ商法典第九十四條ニ在リ即チ本條ノ仲買人ノ定義ニ曰仲買人トハ任用者ノ計算ノ爲メ自己ノ姓名又ハ會社ノ名ヲ以テ事件ヲ行フ者ヲ云フ任用者ノ姓名ヲ以テ事件ヲ行フ仲買人ノ責務及ヒ權利ハ民法典第三編第十三卷ニ之ヲ定ム然レモ仲買人ト名代人トヲ區別スヘキ性質如何ニ就テハ頗ル論議アリ

一說ニ依レハ眞正ノ仲買人トハ商法典第九十四條第一項ニ云フ如ク任用者ノ計算ノ爲メ自己ノ姓名ヲ以テ契約ヲ爲ス者ヲ云ヒ名代人トハ商法典第九十四條第二項ニ云フ如ク民法典第九百八十四條ニ從ヒ任用者ノ姓名ヲ以テ契約ヲ爲ス者ヲ云フト

又學說ニ曰仲所ト名代ト異ナル所ノ性質ハ其目的タル所爲ノ性質ニ在リ即チ商事ニ就テハ之ヲ仲買ト云ヒ民事ニ就テハ之ヲ名代ト云フ又名代人ニ二種アルカ如ク仲買人ニモ亦二種アリ其一ハ自己ノ姓名ヲ以テ事件ヲ行フ者其二ハ他人ノ姓名ヲ以テ事件ヲ行者是ナリ而シテ仲

買人ニ就テハ右ノ二種類ハ商法典第九十四條ヨリ生シ其第一項ニ於テ自己ノ姓名ヲ以テ事件ヲ行フ仲買人及ヒ第二項ニ於テ任用者ノ姓名ヲ以テ事件ヲ行フ仲買人即チ是ナリ名代人ニ就テハ民法典第九百八十四條ニ於テハ任用者ノ姓名ヲ以テ事件ヲ行フ名代人ノミチ記載シタルト雖モ右ハ例ヲ示シタルモノニシテ決シテ禁制シタルモノニアラサレハ名代人ニ於テ自己ノ姓名ヲ以テ事件ヲ行フモ亦妨ケトナルモノナシ其證ハ委任契約ニ於テ實行スル所ヲ以テ知ルヘキナリ(民法典第九百九十七條) デラマール氏ルボワートヴハン氏此說ヲ唱ヘドマンシャート氏モ亦之ニ傾斜セリ

右ノ二說ハ何レヲ是トシ何レヲ非トスルモ仲買人ハ商事々件ニ於テハ任用者ノ計算ノ爲メ多クハ自己ノ姓名ヲ以テ契約ヲ爲シ又名代人ハ民事々件ニ於テ任用者ノ計算ノ爲メ常ニ其任用者ノ姓名ヲ以テ契約ヲ爲スコトハ亦疑フ所ニ非ス斯ノ如ク爲ス所以ノモノハ蓋シ秘密ト急速トハ商業ノ成就ニ就テ最モ必要ナルニ在ルナリ(原註)時トシテハ此點ニ付キ仲買人ヲ以テ羅馬民法ノ名代人ニ准スルモノアリ何トナレハ羅馬ノ古法ノ原則ハ人他人ノ名代ヲ爲スコト能ハス依テ名代人ハ自己ノ人名ヲ以テ事件ヲ行フトナセハナリ然レモ羅馬ノ民事及ヒ商事裁判官ハ遂ニ名代人ハ委任者ノ姓名ヲ以テ事件ヲ行ヒ且有要ナル訴訟ハ之ヲ委任者ノ爲メニ爲シ又ハ之ニ對シテ爲シ得可シトスルニ決セリ

第九問 尙ホ商事ノ仲買人ト民事ノ名代人トハ相異ナル所アリ左ニ之ヲ掲クヘシ

第一 仲買人ハ別ニ契約ヲ爲サ、リシ時ト雖モ給料ヲ受クルノ權アリ何トナレハ仲買ハ其性質要償契約ナレハナリ○名代人ハ特ニ契約ヲナシタル時ニアラサレハ給料ヲ求ムルヲ得ス何トナレハ名代ハ其性質恩惠契約ナレハナリ〔民法典第九百八十六條〕

斯ノ如ク仲買人ト名代人ト相異ナル所ノ結果ハ即チ仲買人ノ責任ハ名代人ノ責任ニ比シテ更ニ嚴重ナルニ在リ則チ仲買人ハ重過失ニ付テ責任ヲ負フノミナラス輕過失ト雖モ亦之ヲ負ヘリ〔民法典第九百九十二條〕

第二 仲買人ハ其受取ル可キ給料並ニ任用者ノ計算ノ爲メニナシタル總テノ貸與立替辨濟ニ就キ先取特權ヲ有ス○名代人ハ其立替金又ハ例外トシテ受領スルノ約束アル給料ニ就テ先取特權ヲ有セス

第三 仲買人ハ一定ノ所爲又ハ數多ノ所爲ヲ擔當ス○名代人ハ特別ノ一事件又ハ委任者ニ屬スル一切ノ事件ヲ擔當ス之ヲ約言スレハ仲買ノ事件ハ特別ニシテ名代ノ事件ハ特別ナルヲアリ一般ナルヲアルモノナリ〔民法典第九百八十七條〕

其他商事上ニ必要ナル急速及ヒ機會ニ因リ任用者ノ仲買人ニ爲ス默諾ハ就中ク職業トナス

所ノ仲買人ニ命令ヲ與ヘタリトノ推測ヲナス可シ

○以上説明セシ如ク仲買人ノ性質ハ亦左ノ者ト異ナレリ

第一 周旋人○周旋人トハ各種ノ民事又ハ商事事件ノ取扱ヲ擔任シ其名代人タル間給料ヲ享有スル者ヲ云フ

第二 傭人○傭人トハ他人ノ名ヲ以テ其計算ノ爲メ商業ノ全部又ハ一部ヲ管理シ或期限ノ間約束シタル給料ヲ受ケ公衆ニ役セラル、ニ非スシテ一人ノ爲ニ役セラル、者ヲ云フ
第三 手形賣買世話人又ハ商業世話人(商品商業世話人ハ之ヲ除ク)○手形賣買世話人又商業世話人トハ或ル取引ニ就キ特權ヲ有スル公吏ニシテ原則ニ於テハ自ラ契約ヲ爲サ、ル所ノ媒介人ニ過キサル者ヲ云フ

商品商業世話人ノ特權ヲ廢止シタル千八百六十六年ノ法律以前ニ在テハ商品商業世話人ノ職務ト仲買人ノ職務トハ詳細ニ之ヲ區別スルヲ必要タリキ何トナレハ商品商業世話人ニアラサル者其世話人ノ職務ヲ干ス時ハ則チ犯罪トナリシ故ニ數多ノ仲買人又ハ諸商店ノ代理人ハ公務ヲ干犯シタル罪ヲ以テ罰セラレタルヲ少カラサレハナリ〔千八百六十二年一月二十五日ノ大審院判決〕

第十問 商品商業世話人ト仲買人ト相異ナル性質ハ左ノ如シ

第一 商品商業世話人ハ自ラ契約ヲ爲スコトナク唯結約者雙方ノ間ニ立入り其媒介ヲ爲スモノナリ○仲業人ハ或ハ自己ノ姓名ヲ用ヒ或ハ任用者ノ姓名ヲ以テ自ラ他人ト契約ヲ爲ス名代人ナリ

第二 商品商業世話人ハ其居間人ノ職掌ニ於テ報告ノ所爲ヲナス即チ商品商業世話人ハ契約者双方ヨリナス申述ヲ双方ニ通シ其約束ヲ守ル者ナリ○仲買人ハ契約者中ノ一方ノ名代人ニ過キヌ即チ他ノ一方ノ者ノ申述ヲ任用者ニ通スルニ及ハス全ク一己ノ取計ヲ以テ直接ニ契約ヲ爲スヲ得可キコト恰モ公使ノ如キ者ナリ

第三 商品商業世話人ハ其取引ヲ容易ナラシムル契約者双方ヨリ給料ヲ受ク○仲買人ハ其任用者ヨリ給料ヲ受クルノミ

第四 商品商業世話人ハ其媒介ニ依テ實行セシムルニ過キサル所ノ契約ニ付テハ外人タルヲ以テ自ラ義務ヲ負フコトナシ○仲買人ハ其任用者ノ計算ノ爲メ自己ノ姓名ヲ以テ契約ヲ爲シタル時ハ相手方ニ對シ自ラ義務ヲ負フ

第十二問 右ノ差異ハ甚ダ紛ハシキヲ以テ實際ニ於テハ商品商業世話人ノ不足ナルニ因リ豪商ハ仲買人タル其代人ニ因ラサルヲ得ス依テ仲買人又ハ代人ハ其委任事件ヲ遂ル爲メ報告ノ所爲ヲナシ及ヒ商品商業世話人ノ職務ヲ干サ、ル可ラサルコト往々之アリ故ニ此無免許商品商業世

話人ト稱スル仲買人ハ輕罪ノ訴ヲ受クルコト絶ヘサリキ然ルニ千八百六十六年ノ新法ヲ以テ商品商業世話人ノ特權ヲ廢止シ何人ト雖モ自由ニ其職ヲ營ムコトヲ許シタル以後ハ右ノ如キ苦情ハ其根ヲ絶スルニ至レリ

是ヲ以テ爾來仲買人ハ商品商業世話人タルコトヲ得ヘシ(原註)千八百六十六年ノ新法以來ト雖モ尙ホ商事裁判所ノ人名簿ニ記入セラレタル商品商業世話人ハ記入セラレサル商品商業世話人ノ有セサル特別ノ利益ヲ有セリ

仲買人ハ商人又ハ非商人ニ論ナク之ヲ任スルコトヲ得可ク又何人ト雖モ之ニ任セラ、ルコトヲ得可シ抑モ商法典第九十四條ハ仲買人トハ自己ノ姓名又ハ會社ノ名ヲ以テ事ヲ行フ者ヲ云フト掲ケテ以テ仲買人會社ニモ亦任スルコトヲ得可キ旨ヲ認定セリ而シテ無名會社ハ會社ノ名號ヲ有セスト雖モ亦之ヲ排除セサリキ

仲買ハ各種ノ商業ニ適用スルモノナリ而シテ此仲買人ヲ別テ三種トナス曰賣込仲買人曰買入仲買人曰ク運送仲買人はレナリ此運送仲買人ノコトハ次欸ニ説明スヘシ

二 仲買契約ノ効

仲買契約ノ効ハ任用者ト仲買人トノ關係或ハ任用者ト第三者ト契約スル仲買人トノ關係ニ付キ之ヲ區別シテ論究セサルヘカラス

○任用者及ヒ仲買人間ノ關係

仲買契約ハ名代契約ノ一般ノ原則ニ從フモノトス但シ前文仲買人ノ性質ヲ論スルニ當リ指示シタル特別規則ノ適用ハ此限ニアラス

第十二問

故ニ仲買人ハ任用者ヨリ受ケタル通ニ命令ヲ執行シ任用者ニ有益ナル一切ノ事實ヲ報告シ依頼セラレタル事件ノ成就マテハ其管理ヲ繼續シ及ヒ成就シタル後ハ任用者ニ其計算ヲ爲ス可シ其他前ニ述ヘシ如ク仲買人ハ通常ノ名代人ニ比シテ一層嚴重ナル責任ヲ負ヒ輕過失ト雖モ亦其責ニ任セサル可カラサルナリ

仲買人ハ任用者ノ定メタル代價ヨリ低價ニ物品ヲ賣拂フコトヲ得ス但シ任用者ノ爲メ明白ナル利益アル時ハ此限ニアラス又任用者ノ定メタル代價ヨリ高價ニ物品ヲ賣拂フコトヲ得ス何トナレハ價ノ高キヲ承知シテ買入ル者ハ多クハ無資力ナル恐アリ且何レノ場合ニ於テモ任用者ノ主顧ヲ減スルノ恐レアレハナリ

仲買人ハ任用者ノ欲スル所ノ品位アル物品ナレハ其定メタル代價ヨリ低價ヲ以テ買入ル、コトヲ得可シト雖モ高價ヲ以テ之ヲ買入ル、コトヲ得ス

然レモ茲ニ一疑問アリ若シ仲買人其任用者ノ指定シタル代價ヨリ高價ヲ以テ物品ヲ買入レタル時ハ任用者ノ指定シタル代價ニ至ルマテハ強テ其契約ヲ任用者ニ執行セシムルコトヲ得

可キヤ否ヤ是レナリ例ヘハ仲買人ハ任用者ヨリ百法ニテ物品ヲ買入ルヘキノ依頼ヲ受ケ百
 ○五法ニテ之ヲ買入タル時ハ百法丈ケテ任用者ニ請求シテ以テ強テ其物品ヲ引取ラシムル
 コトヲ得可キヤ否ヤ此疑問ニ就テハ羅馬法ニ於テハ議論兩學派ニ分レリ則チ「サビニヤン」派
 ハ之ヲ非決セリ而シテ其論旨ハ即チ凡ソ名代人代理ノ權限ヲ踰越シタル者ハ自己ノ利益ノ爲
 ニ爲シタリトスルニ在リ又「プロキユリヤン」派ハ之ニ反シ百法ノ高ニ至ル迄ハ名代人ニ訴權
 ヲ許與セリ此說ハジュヌスチニヤン帝ノ採ル所トナリ前說ニ比スレハ稍正理ニ適スルカ如シ
 ト雖モ亦其不都合ナキヲ得ス其不都合トハ任用者ヲ仲買人ノ隨意ニ任スルコト即チ是ナリ例ヘ
 ハ仲買人ニ於テ百○五法ニテ物品ヲ買入レタル時ト雖モ若シ其買入ノ己レニ利益アル時ハ
 自己ノ爲メニ買入タリト云フコト以テ自ラ其利益ヲ収メ又百法ニテ物品ヲ買入レタル時ト雖
 モ其買入ノ己レニ不利ナル時ハ任用者ノ爲メニ買入タリト云ヒ其損耗ヲ任用者ニ負擔セシ
 ムヘシ故ニ斯ノ如キ不都合ナカラシムルニハ仲買人此買入ハ自己ノ爲メニ爲サント欲シタ
 ルコト非サル認定ヲ受サルキハ任用者ニ對シ百法ノ請求ヲナシ及ヒ其買入契約ヲ執行セシム
 ルノ權ヲ有ス又任用者ハ假令ヒ仲買人自己ノ爲メ買入レタル時ト雖モ百○五法ヲ拂テ以テ
 其買入ヲ利スルノ權アリト決定セサル可カラス「ブラウハルド及ヒドマンジョー」二氏ノ說

第十三問 任用者ハ仲買人ニ對シテ左ノ義務アリトス

第一 仲買人ニ立替金及ヒ費用ヲ拂却シ及ヒ其委任ノ執行ニ因テ生シタル損耗ヲ賠償スルヲ

第二 仲買人ニ給料即チ仲買料ヲ仕拂フ

仲買契約ハ名代契約ト異ニシテ給料ヲ與フベキ別段ノ契約ヲ爲サ、ルモ當然之ヲ拂フ可キ者タルハ既ニ之ヲ述ヘタルカ如シ

右給料即チ世話料ノ高ハ百ニ付キ若干トナシ其高ハ任用者及ヒ仲買人間ノ契約又ハ習慣ニ依テ之ヲ定ム

仲買人ノ仲買料ニ二種アリ一チ單仲買料ト曰ヒ一チ複仲買料ト云フ

單仲買料トハ勞力ニ酬ユル所ノ賃銀ナリ

第十四問

複仲買料トハ信用契約ヲ爲セシ時與フ可キ賃銀ナリ信用契約ト稱スル所以ハ仲買人其契約

スル相手方ノ者ノ資力ニ付テ責任ヲ負フニ在リ此契約ハ仲買人ニ於テハ巨額ノ仲買料ヲ得

ルノ利益アリテ又任用者ニモ義務者必ス其義務ヲ拂フヘク若シ義務者之ヲ拂ハサルハ仲

買人義務者ニ代リ其義務ヲ盡スヲ以テ安全ノ保証アレハナリ故ニ此信用仲買料ハ其相手方

ノ無資力及ヒ辨濟延滞ノ保險料トナスナリ

又慣習ニ於テ信用人ト稱スル仲買人ハ保証人ト異ナレリ蓋シ其異ナル所ハ保證人ハ動産取

調ノ利益ヲ申立ルヲ得スシテ期限ニ至レハ辨濟ヲ爲サ、ル可ラス其他仲買人ハ買主ノ抗辨ニ故障ヲナスヲ得ス且買主ニ對シテ任用者ノ權ニ攝代スルヲ得ス

故ニ仲買人ハ保險者ニ似タリ但シ通常ノ保險者ハ被保險者ニ於テ損害ヲ受ケタルヲ證明

スルニアラサレハ其義務ヲ辨濟セスト雖ヒ仲買人ハ買主ニ任用者ヨリ對抗スルニ及ハスシ

テ辨濟ヲ爲サ、ル可ラス(原註)買入ノ依頼ヲ受ケタル仲買人ハ二通ノ賣品書ヲ受ク其一ハ

例ヘハ其自ラ保有スル百法其二ハ任用者ニ交付スル百二法此方法ヲ以テ仲買人ハ二法ノ利

益ヲ受ク是則チ雙方ヨリ受クル仲買料ナリ此方法ハ違法ナルヤ否マ是違法ニ非スト決セサ

ル可ラス其故何トナレハ仲買人ハ賣却スル爲メ買入ル、ニ非ス一定ノ代價ニ既得權ヲ有ス

ル任用者ノ爲ニ直接ニ買入ル、者ナレハナリ

○任用者及ヒ第三者ト契約スル仲買人ノ關係

任用者及ヒ第三者ト契約スル仲買人間ノ關係ニ於テ仲買契約ノ効ヲ論スルニハ仲買人ハ任

用者ノ姓名ヲ以テ契約ヲ爲セシヤ又ハ通常之アル如ク自己ノ姓名ヲ以テ契約セシヤヲ區別

セサルヘカラス

若シ仲買人任用者ノ姓名ヲ以テ契約ヲ爲シタル時ハ其契約ノ効ハ總テ任用者ト第三者トノ

間ニ生ス故ニ任用者ハ第三者ニ對シ直接ニ權利者トナリ又義務者トナルナリ

若シ仲買人自己ノ姓名ヲ以テ契約ヲ爲シタル時ハ其契約ノ効ハ總テ仲買人ト第三者トノ間ニ生ス故ニ仲買人ハ第三者ニ對シ直接ニ權利者トナリ又義務者トナルナリ

第十五問

例ヘハ任用者ヨリ商品賣却ノ依頼ヲ受ケタル仲買人ハ之ヲ賣却シ、之ヲ引渡シテ其代價ヲ請取タル後分散ノ言渡ヲ受ケタル時ハ任用者ハ買主ノ權利者ニアラサレハ買主ニ對シ其賣却シタル商品ノ代金ヲ請求スルヲ得ヌ何トナレハ若シ任用者ヨリ買主ニ對シ之ヲ請求セハ買主ハ之ニ對テ言ハン余ハ獨リ仲買人アルヲ知ルノミ而シテ買得シタル物品ノ代金ハ之ヲ仲買人ニ拂ヒ又ハ之ト義務相殺ヲナシテ余ノ義務ヲ免脱セリト依テ此場合ニ於テハ任用者ハ仲買人ノ分散ノ配當ヲ得ント求ムルヲ得可キノミ

右ニ反シテ若シ買主買入レタルノ商品ノ引渡ヲ受ケ未タ其代金ヲ拂ハサル時ハ任用者即チ賣主ハ買主ニ對シ直ニ其代金ヲ請取ント求ムルヲ得可シ何トナレハ買主ハ右代金ヲ賣主ニ拂フモ又仲買人ノ分散ニ拂フモ同一コノ毫モ其利益ヲ害セラル、コトナケレハ此場合ニ於テハ任用者ト仲買人トノ關係ニ代人ノ原則ヲ適用スレハナリ是レ後文ニ説明スル商法典第五百七十五條ノ明ニ決定スル所ナリ又仲買人分散ノ言渡ヲ受ケタル後買主商品ノ代金ヲ分散管財人ニ仕拂フモ亦妨ケナシ何トナレハ買主ハ仲買アルノミヲ知テ賣主アルヲ知ラサレハナリ然レモ法律ニ於テハ分散ノ言渡アル時ハ分散人ノ倉庫ニ封印ヲ附スル以テ任用者ハ

分散ノ請取ル代金ヲ更ニ己レニ請取ルヲ得可シ何トナレハ任用者ハ分散ノ權利者ニシテ分散人ノ權利者ニアラサレハナリ(原註)若シ買主モ亦仲買人ト同時ニ分散ヲ爲シタル時ハ任用者ハ其得可キ代金ニ就テハ買主ノ分散ノ分ケ前ヲ求ムルヲ得可キノミニシテ仲買人ノ分散ノ分ケ前ヲ求ムルヲ得ス然レモ若シ仲買人ト信用契約ヲ爲シ置キタル時ハ賣主ハ買主ト仲買人トノ分散ニ其代金額ニ至ルマテ分ケ前ヲ要求スルヲ得ヘシ何トナレハ賣主ハ其賣渡商品ノ代金ノ義務者トシテ買主及ヒ買主ノ無資力ノ危険ヲ擔保スル仲買人ノ兩義務者ヲ有スレハナリ)

又仲買人商品買入ノ依頼ヲ受ケ既ニ賣主ヨリ商品ノ引渡ヲ受ケタル後分散ヲ爲シタル時ハ代金ノ仕拂ヲ受ケサル賣主ハ仲買人ノ分散ノ分ケ前ニ非サレハ求ムルヲ得ヌ何トナレハ分散ノ場合ニ於テハ賣主ハ特權ナク又取戻ノ權ナケレハナリ(商法典第五百五十條)又賣主ハ其直接ニ契約セサル任用者即チ買主ニ對シ其代金ヲ請求スルヲ得ヌ但シ任用者ハ仲買人ノ分散ニ代金ヲ仕拂ヒ商品ヲ請取ルヲ得可シ

三 仲買人ノ特權

任用者ノ爲メニ立替金ヲ爲スコト仲買人ニ獎勵スルノ目的ニ於テ仲買人ニ差送リタル商品ニ就キ先取特權ヲ之ニ付與シタリ而シテ此先取特權ハ質入ノ件ニ於ケル先取特權ニ付テ民

法典ノ要ムル條件ニ從ハスト雖モ左ノ三個ノ條件ヲ具備スルヲ必要トナス

第一 他所ヨリ商品ヲ仲買人ニ差送リタルヲ

第二 其差送リタル商品ノ處分ヲ仲買人ニ任セシメ

第三 其商品ノ爲メニ仲買人ヨリ立替金ヲ爲シタルヲ

右三件ノ外尙ホ大審院ニ於テハ任用者ニ爲シタル立替ハ商品請取ノ後タルヲ必要トセリ
其他此法律ニ就テハ數多ノ疑問アリ就中商品ヲ他所ヨリ差送リタルト雖モ任用者ト仲買
人ト同一ノ場所ニ住居スルキ仲買人ニ於テ先取特權ヲ有ス可キヤ否ヤ又先取特權ハ當ニ立
替金ノ利息及ヒ諸費用ニ付テ之ヲ行フヲ得ルノミナラス仲買料ニ付テモ亦之ヲ行フヲ
得可キヤ否ヤノ疑問ノ如キハ論難スルモノ最モ多シ

第十六問 然ルニ動産質ニ關スル千八百六十三年ノ新法ハ先取特權ノ適用ヲ擴張シテ舊來ノ紛論ヲ一掃シタリ

千八百六十三年ノ法律ヲ以テ改正シタル商法典第九十五條ニ曰凡ソ仲買人ハ商品收受ノ前
ト之ヲ占有スル時間トチ問ハス自己ヨリナシタル一切ノ貸金立替金又ハ辨濟ノ爲メ其商品
ノ送遣、附託又ハ寄藏ノ所爲ノミニ依リ其己レニ送遣、附託又ハ寄藏セラレタル商品ノ價額
ニ付キ先取特權ヲ有スルモノトス又此先取特權ハ商法典第九十二條ニ定メタル條件ニ從フ

ニ非サレハ成立セス又此特權中ニハ其主額ト共ニ利息、仲買料及ヒ諸費用ヲ包含スルモノト
スト故ニ右商法典第九十五條ノ成規ヨリ左ノ二件ヲ生スヘシ

第一 仲買人先取特權ヲ行フヲ得可キ物件ニ付テハ其商品他所ヨリ送遣シタル否ヤ又
任用者ト仲買人ト同一ノ場所ニ住居スルヤ否ヤ又其商品ハ再賣スル爲メ之ヲ仲買
人ニ送遣シタルヤ否ヤノ三點ノ區別ナキヲ

第二 先取特權ヲ以テ保証シタル債主權ニ就テハ仲買人ノ爲シタル貸金、立替金、費用ナル
ヤ又立替金ヲ爲シタルハ商品送遣ノ以前ナルヤ將タ以後ナルヤノ二點ノ區別ナキ
ヲ

仲買人ノ先取特權ハ質入ノ黙約ニ據ルカ故ニ其先取特權ハ商法典第九十二條ニ從ヒ其商品
仲買人ノ手元ニ送遣シ現ニ仲買人又ハ任用者ト協議ノ上撰定シタル第三者ノ占有ニ存スル
條件ニ於テスルニ非サレハ存立セサルモノトス然レモ仲買人ハ商品ヲ己レノ倉庫又ハ船舶
中ニ入レ置キ又ハ税關若クハ附託役所ニ預ケ置キ又其商品未ダ到着セサルキハ積荷目錄又
ハ送り狀ヲ入手シタル時ハ已ニ其商品ヲ占有セシモノト看做ス可シ

第十七問 仲買人ノ有スル先取特權ト質取債主ノ有スル先取特權トニ差異アリ左ノ如シ

第一 仲買人ノ先取特權ハ黙約ニシテ商品ノ送遣、附託又ハ寄藏ノ一事ヨリ生ス○通常ノ

質取債主ノ先取特權ハ必ス明約アルヲ要ス

第二 任用者ヨリ賣拂ノ命令ヲ以テ商品ノ送遣、附託又ハ寄藏ヲ受ケタル仲買人ハ其先取特權ヲ行フニ付キ通常質入ノ實行ニ要スル法式ヲ履行スルノ義務ナク其命令通りニ其商品ヲ賣拂ヒ其賣拂代金ニ付キ任用者ノ債主ニ先テ請取ルヘキ金圓ヲ得ルノ權アリ(商法典第九十五條ノ末項)然レモ若シ其商品賣拂フ可キモノニ非サル時ハ其立替金ハ仲買契約ノ爲メニ之ヲ爲シタルヤ將テ通常ノ質入契約ノ爲メニ之ヲ爲シタルヤハ當時ノ情況ニ依テ定メサル可カラズ而シテ其之ヲ定ムルニハ殊ニ契約者双方ノ資格ニ由ルモノトス

商法典第九十五條末項ノ法文ニ據レハ先取特權ハ獨リ賣主タル仲買人ニノミ屬スルカ如シト雖モ法律ノ精神ハ總テ商人ニ信用ヲ與ヘ商人ヲシテ其商品上ニ仲買人ノ立替金ヲ得セシムルニ在リ故ニ仲買人ニ引渡シタル商品ノ代價ヲ賣主タル第三者ニ立替金ヲナシタル仲買人ハ任用者ヨリ其立替金拂戻ノ抵當トシテ商品押置ノ權ヲ有スルヤ論テ俟タス然レモ其商品ヲ直ニ任用者ニ渡シ而シテ任用者ノ分散シタル時ハ仲買人ハ商法第五百七十六條ニ從ヒ任用者ヨリ其引渡シタル商品ノ取戻ヲナスコトヲ得可キヤ一般ノ說ニ據レハ商業上ノ習慣ニ基キ仲買人ニ取戻ノ權ヲ與ヘリ(ボワヌテール氏ノ說)

第三款 水陸運送仲買人

一 水陸運送仲買人ノ性質

第十八問

水陸運送仲買人トハ仲買料ヲ得テ送遣人ノ利益ノ爲メ運送人ノ手ヲ經テ商品ヲ此地ヨリ彼地ニ運送スルコトヲ擔當スル者ヲ云フ故ニ運送仲買人ハ荷物請取人ニ商品ヲ送達スル爲メ送遣人ト運送人トノ間ニ於テ事ヲ取扱フ者ナリ
運送仲買人設置ノ利益、遠隔ノ地方ヘ商品ヲ送遣スルニ當リ商品ノ運送引續テ數名ノ運送人ノ手ヲ經其運送ノ方法亦異ナルモ於テ著シク感スルモノナリ其他直接ニ運送人ニ運送ヲ依頼スルヨリモ仲買人ニ之ヲ依頼スレハ大ニ費用ヲ省クモノナリ何トナレハ凡ソ運送物取扱所就中鐵道會社ニ定ムル所ノ賃錢ハ荷物ノ量目ヲ以テセシメテ面積ニ因テ之ヲ定ムルモノナレハ仲買人ハ數個ノ荷物ヲ一纏メニナシテ賃錢ヲ減スルノ利益アレハナリ
運送仲買人ハ常ニ自己ノ姓名ヲ以テ運送人ト契約ヲ爲ス然レモ若シ送遣人ノ姓名ヲ以テ運送人ト契約スル時ハ仲買人ハ自ラ義務ヲ負ハサル名代人タルニ過キサルナリ
運送仲買人ハ送遣人ト請負ニテ荷物運送ノ契約ヲナスコト屢之アリ何トナレハ送遣人ハ即時ニ運送賃額ヲ知ラント欲スルコトアレハナリ此場合ニ於テ運送仲買人ハ運送企業者トナリ運送仲買人ノ職ヲ爲サスニテ寧ロ運送人ノ職ヲ執ルモノナリ而シテ運送仲買人其商品ヲ運送

スル爲メ其運送會社ノ役員ヲ用ユル時ハトランスポートボーロドローラー廻漕請負人ト稱スヘキナリトランスポートボーロドローラー〔商法典第六百三十二條、民法典第七百八十五條及ヒ第七百八十六條〕

眞正ナル運送仲買人ハ其任用者ノ爲メニ運送人ト契約ヲ爲ス者ナリ故ニ自己ノ爲メニ運送人ト契約ヲ爲ス運送企業者ハ其實大運送人ニ過キサルナリ然レモ眞正ナル運送仲買人ハ實際未タ其設ケナキヲ以テ運送請負人ニ於テ其職務ヲ代攝スルモノナリト謂フ可シ（原註）右ノ外ニ運送ノヲ取扱フ即チ此地ニ於テ荷物ヲ請取り彼地ヘ之ヲ運搬スルヲ掌ル居間ノ仲買人アリ（商法典第九十九條）又商品ヲ請取り之ヲ倉庫ニ入レ更ニ之ヲ他ヘ運送スル迄ノ時間其管守保存ヲ擔當スル倉庫荷預仲買人ト稱スルモノアリ

二 運送契約ノ證據

運送契約ハ商事三件ニ於テ許シタル總テノ方法ヲ以テ證スルヲ得可シ而シテ最モ屢々用ユル所ノ書類ハ之ヲ送り狀トナス

抑モ之ヲ送り狀ト稱スル所以ノモノハ送遺者又ハ其運送仲買人ヨリ荷物請取人ニ商品ヲ運送スルヲ報知スル書狀ノ体裁ヲ有スル書類ナルコ在リ

商法典第百二條ニ據レハ送り狀ニハ左ノ件々ヲ記載ス可シ

- 一 日附○送り狀ニ日附ヲ記スル所以ハ運送期限ハ送り狀ニ記シタル日ヨリ進行スレ

ハナリ然レモ送り狀ノ期限ハ此狀ヲ作りシ日ヲ算入セス

- 一 運送スヘキ物品ノ性質、量目、面積及ヒ欄外ニ物品ノ記號、番號○此記號及ヒ番號ハ其運送品ノ他ノ同一ナル物品ト間違ハサルヲ證明シ且其破損又ハ滅盡ヲ確知セシカ爲メナリ

運送期限

- 一 運送人ノ姓名住所及ヒ運送仲買人ヲ用ヒタル時ハ其仲買人ノ姓名住所○右姓名住所ヲ記スル所以ハ荷物請取人ヨリ右等ノ者ニ對シ訴訟ヲ起サントスル時又ハ彼等ニ就キ運送ニ關スル事實ヲ聞知セントスル時運送人又ハ運送仲買人ノ姓名住所ヲ

容易ニ知得センカ爲メナリ

- 一 荷物請取人ノ姓名（若シ住所ヲ記スルヲ必要ナル時ハ其住所）○荷物請取人ノ姓名及ヒ住所ヲ記スル所以ハ運送人ニ於テ何人ニ荷物ヲ引渡シ又何人ヨリ其運送賃ヲ請取ルヘキヤヲ知得センカ爲メナリ然レモ送り狀ハ積荷目錄ト同シク指圖及ヒ所持人拂ノ二種アルナリ（商法典第二百八十一條）

- 一 運送賃○運送賃ヲ記載スル所以ハ運送人ヨリ約束ノ運送賃ヨリ以上ノ運送賃ヲ受ケントスルヲアル時之ヲ防カンカ爲メナリ（原註）特權ヲ有シ公用ヲ行フ鐵道ニ付

テハ總テ運送賃ハ高等行政官ヨリ認可シタル賃錢目錄ヲ以テ定メタル運送賃ニ非サレハ之ヲ受クルヲ得ス故ニ目錄ニ反シテ賃錢ヲ定メタルハ鐵道會社ハ不足ヲ請求シ得ル如ク送遺者モ亦剩餘ノ返還ヲ求ムルヲ得可シ(千八百六十七年二月十三日、千八百七十一年十一月十五日、千八百七十二年七月十二日及ヒ十六日並ニ千八百七十四年七月二十七日ノ大審院判決)○鐵道會社ノ賃錢目錄ハ之ヲ下ノ四等ニ分ツ即チ第一定期則ナル一般ノ賃錢此賃錢ハ一キロメートル(按我三百二十九丈二尺九寸四分六釐七毛即チ、九十八間四尺餘ニ當ル)ニ付キ幾何壹人ニ付キ幾何一塊ニ付キ幾何一噸ニ付キ幾何トス而シテ運送ノ遲速及ヒ荷物ノ性質ニ從テ差異アリ第二例外ノ賃錢此賃錢ハ一般ノ賃錢ニ比スレハ高直ナリ何トナレハ運送スルニ付キ許多ノ取締費ヲ要シ且會社ノ責任ヲシテ重カラシムル荷物ニ適用スレハナリ第三不同ノ賃錢此賃錢ハ物品ヲ運送スヘキ場所柄又ハ其遠近ニ依テ一般ノ賃錢ヨリ下直ナルモノナリ第四特別又ハ條件付賃錢此賃錢モ亦一般ノ賃錢ヨリモ下直ナリ但シ會社ノ利益ニ於テ或ル條件例ヘハ損害ノ責ヲ免レ全車ヲ以テ荷物ヲ運送スル等ノ條件アルモノナリ)○此賃金高チ豫メ記シ置ク所以ハ若シ運送ノ延引シ運送延滞ニ因リ拂フ可キ賃金

タル時之カ爲メ生シタル損害ノ高チ判識スルニ付テノ訴訟ト困難トチ防カンカ爲メナリ而シテ其賃金ノ高ハ運送賃ノ三分一又ハ四分一ヲ減スルヲ通例トス

送り狀ニハ送遺人又ハ運送仲買人署名ス可シ而シテ運送人ハ多クハ其署名ヲナスヲ知ラサルカ故ニ法律ニ於テハ署名ヲ必要トセサレヒ積荷目錄ニナス船長ノ署名ハ之ヲ必要トナス(商法典第二百八十二條)

送り狀ハ番號ヲ附シ且花押ヲ畫シタル帳簿上ニ仲買人間隙ナク相連接シテ之ヲ寫ス可シ(商法典第二百二條末項)

送り狀ニハ印紙ヲ貼用ス可シ但シ土地ノ所有者其土地ヨリ產出スル所ノ收納物ヲ己レノ車馬ヲ用ヒ若クハ僕婢或ハ地借人ヲシテ運送セシムル場合ハ此例ニアラス(原註)送り狀ノ印紙稅ハ七十(サンチーム)トス但シ此内十(サンチーム)ノ郵稅ヲ含包ス(千八百七十二年二月二十八日ノ法律)又送り狀ニ代用スル請取證書ニ貼用ス可キ印紙稅モ又送り狀ノ印紙稅ニ同シ(千八百七十二年三月三十日ノ法律)

商法典第二百二條ニ列記シタル諸事項ハ之ヲ送り狀ニ記セサリシ時ト雖ヒ其送り狀ノ無効タルニ非ス故ニ右事項ヲ記セサル送り狀ト雖ヒ証書ト爲シ得可キヲ以テ均シク印紙ヲ貼用セサル可カラサルナリ(千八百六十七年一月三十日ノ大審院判決)

第十九問 商法典第一百一條ニ曰送り状ハ送遣人ト運送人トノ間又ハ送遣人、運送人及ヒ運送仲買人トノ間ニ於テ一箇ノ契約ヲナスモノナリト

然レ此第一百一條ノ意ハ運送契約ハ送り状ニ依ルニ非サレハナスヲ得サル正式契約ナリト爲スニ非サルナリ契約ヲナスモノハ送り状ニ非ス何トナレハ送り状ハ既ニ存セシ契約ヲ證スル一ノ方法ニ過キス故ニ一箇ノ契約ヲナスト云フ義ハ送り状ハ結約者雙方間ノ法律ニシテ諸人ノ間ニ權利ノ索繩ヲ設クルモノナリト爲スニ在リ

若シ送遣者直接ニ運送人ト契約ヲ爲シタル時ハ乃チ送り状ハ其間ノ契約ヲナスモノナリ若シ又運送仲買人アルキハ送り状ハ此仲買人ト運送人トノ間ノ契約ヲナスモノナリ然レモ商法典第一百一條ニハ送り状ハ一方ニ於テハ送遣人ト他ノ一方ニ於テハ運送仲買人及ヒ運送人トノ間ニ於テ亦契約ヲナスモノナリト附言セリ是ニ由テ之ヲ觀レハ運送人ハ送遣人ニ對シテ仲買人ノ一切ノ權利ヲ有シ又運送人ハ送遣人ニ對シテ仲買人ノ一切ノ權利ヲ有ス可キナリ法律ハ一言モ荷物請取人ノコニ及ハスト雖モ必ス請取人ハ商品ノ延着又ハ破損等ノ場合ニ於テハ直ニ運送人ニ對シテ訴ヲ爲スヲ得可キハ固ヨリ論ヲ俟タス何トナレハ送遣人ハ自己ノ爲メナルト同時ニ荷物請取人ノ爲メニ要約シタルカ故ニ送遣人ハ其荷物請取人ノ代人ナリト看做スヘケレハナリ(民法典第千二百二十一條及ヒ第千二百二十二條)

三 仲買人ノ責任

第二十問 水陸ノ運送ヲ擔當スル仲買人ハ其日用帳簿上ニ商品ノ性質ト其分量トヲ記入ス可ク又特ニ求メテ受ケタル時ハ其價額ヲモ記載ス可シ(商法典第九十六條)

水陸運送仲買人ハ左ノ二件ニ就キ擔保ノ責ニ任ス可シ

第一 送り状ニ定メタル期限内ニ商品ヲ送届グルヲ但シ法律上認メタル抗拒ス可カラサル場合ハ此限ニアラス(商法典第九十七條)

○若シ送り状ニ荷物ノ届ケ期限ヲ定メ置カサル時ハ其情狀ト習慣トニ依テ之ヲ定ムヘシ

○又荷物延着ノ場合ニ於テハ其償トシテ運送賃ノ三分一ヲ減スルヲ通例トナス旨ハ既ニ前文ニ述ヘタリ此事ヲ送り状ニ認メ置カサルキモ亦習慣ニ從ヒ此減額ヲナスヘシ○又裁判慣例ニ於テハ其時ノ情狀ニ因リ商品ヲ運送取扱人ノ計算ノ爲メニ委ヌルヲ得可キ旨ヲ決セリ

第二 商品及ヒ手形ノ破損又ハ滅盡但シ送り状ニ右ノ責ニ任セサル旨ヲ委約シアル時カ

又ハ抗拒ス可カラサル場合ハ此限ニアラス(商法典第九十八條)

水陸運送仲買人ハ右等ノ責任アリト雖モ明約ヲ以テ此責任ヲ免ル、ヲ得可シ然レモ運送

人ハ假令ヒ別段ノ契約アル時ト雖モ自ラ爲セシ事ニ付テハ責任ヲ免カル、トヲ得サル旨ハ載セテ商法典第百三條ニ在リ是レ則チ真正ノ運送仲買人ト運送人ニ過キサル運送又ハ廻漕企業者トチ區別スヘキ大利益ナリ
水陸運送仲買人ハ商品繼キ送リテ受クル居間ノ仲買人ノ所爲ノ擔保者ナリ〔商法典第九十九條〕

第四款 運送品ノ危險

第二十一 原則ニ於テハ危險即チ天災ノ場合ハ受取ル可キ特定物ノ所有者トナリタル權利者ノ擔當トナス〔民法典第千三百二十八條〕(原註) 未○必○條○件○ノ○賣○買○例○ハ○殊○ニ○待○望○ス○ル○着○荷○賣○買○ニ○於○テ○ハ○其○買○主○ハ○未○必○條○件○ノ○所○有○者○ニ○シ○テ○其○賣○主○分○散○ノ○場○合○ニ○於○テ○ハ○其○買○入○商○品○ヲ○取○戻○ス○ノ○權○アリ○ト○雖○モ○其○商○品○ノ○危○險○ハ○總○テ○賣○主○ノ○擔○當○ト○ナス○(民法典第千八百八十二條)〔
商法典第百條ニ賣主又ハ送遣人ノ倉庫ヨリ出テサル商品ハ反對契約アルニアラサレハ其所
有者ノ危險及ヒ損失ニテ運送スルモノトス但シ所有者ヨリ運送ヲ任セラレタル運送人及ヒ運送
仲買人ニ對シテ償還ノ訟求ヲ爲スコトヲ得可シトナセシハ即チ上ノ原則ノ適用ニ過キサルナリ
抑モ此第百條ハ商品ヲ員數、量目、又ハ寸尺ヲ以テ賣拂ヒ之ヲ囑託ニ依テ運送ス可キ場合ヲ
豫定セリ而シテ買主ニ商品ノ所有權及ヒ危險ノ移ルハ商品ノ員數ヲ數ヘ其重量ヲ計リ其寸

尺ヲ度リタルニ因ルニアラスシテ買主ノ名代人ト看做シタル運送人ニナス商品ノ引渡ニ因
ルモノナリ賣主ノ倉庫ヨリ出レハ商品ハ即チ特定物トナリ其所有權及ヒ危險ハ買主ニ移轉
スルモノナリ(但シ賣主其賣却シタル商品ノ取戻ヲ賣主ニ許ス所ノ商法典第五百七十六條
ノ適用ハ此限ニアラス)

故ニ賣主ノ倉庫ヨリ出テタル商品ノ危險ハ總テ其請取人ノ擔當トナス

第二十二 又賣主ノ倉庫ヨリ出テタル商品ト雖モ賣主ニ於テ其危險ヲ擔當スヘキ例外ノ場合アリ左ノ如シ
第一 賣主ニ於テ其賣却シタル商品ノ危險ヲ擔當スヘキ明約アル時

第二 運送ノ諸費用ヲ賣主負擔シ買主ノ許ニ於テ商法ヲ引渡スヘキ賣買ヲ爲シタル時
又商品ヲ寄托所ニ差送リタル時ハ其商品ノ所有者タル送遣人ニ於テ其危險ヲ擔當スルヤ言
チ俟タサルナリ

第四款 運送人

一 運送人ノ性質

第二十三 運送人トハ約束ノ賃錢ヲ得テ商品又ハ有價物若クハ旅客ヲ此地ヨリ彼地ニ運送スルコトヲ擔
當スル者ヲ云フ(原註)物品ノ運送ト旅客ノ運送トチ區別スルハ裁判管轄ノ件ニ付キ大ニ利
益アリ何トナレハ千八百三十八年五月二十五日ノ法律第二條ノ法文ニ據レハ治安裁判官ハ

運延、旅費及ヒ旅客ノ携帶スル手形ノ滅盡、破損等ニ付キ旅客ト運送人トノ間ニ起リシ争訟ノ裁判ヲナセハナリ

運送人ナル語ハ水陸ノ運送ヲ爲ス者ノ總稱ナレトモ陸路運送人ニ付テ用ヒ水路ノ運送ヲ爲ス者ハ之ヲ舟船運送人ト云フ

水陸運送人ハ偶然ノ所爲即チ運送ニ別離シタル所爲ヲ爲スコト得然ルキハ是純然タル民事ニ屬ス可キ勞力ノ賃貸ナリ而シテ或ハ仲間ヲ組ミ或ハ一人ニテ運送ノ業ヲ爲ス時ハ乃チ之ヲ商業トナス〔商法典第六百三十二條〕故ニ運送企業者鐵道會社又ハ海運會社等ハ廣博ノ意義ニ於テ運送人ト謂フ可キナリ

政府自ラ任スル所ノ郵便電信等ノ如キ公用ニ屬シ毫モ商業ニアラサル運送ハ玆ニ論セサルナリ

○唯此款ニ於テハ運送ヲ以テ商業ト爲ス所ノ運送人ノコトヲ述フルナリ
運送ノ業ハ勞力ノ賃貸ナリ其一般ノ規則ハ載テ民法典〔第七百七十九條及ヒ第七百八十二條以下〕ニアリ又其特別ナル規則ハ載セテ商法典〔第一百條乃至第百八條〕ニ在リ蓋シ商法典ニハ公業就中鐵道會社ニ關スル諸法律及ヒ省令ヲ附加セサル可ラス

二 運送人ノ義務

第二十四 水陸運送ノ企業者及ヒ廻漕企業者ハ運送ス可キ依頼ヲ受ケタル金高、有價物、荷物ノ帳簿ヲ設備ス可シ〔民法典第七百八十五條〕

水陸運送人ハ其運送スヘキ依頼ヲ受ケタル物件ノ管守保存ニ就テハ旅店ノ主人ニ等シキ義務ヲ負フヘキ者トス〔民法典第七百八十二條〕

水陸運送人ハ運送仲買人ト等シク左ノ件ニ付キ擔保者タルヘシ

- 第一 運送物件ノ滅盡但シ抗拒可スカラサル場合ハ之ヲ除ク
- 第二 運送物件ノ破損但シ物件ノ性質ノ不良又ハ抗拒ス可カラサル場合ハ之ヲ除ク〔商

法典第百三條〕

- 第三 旅客又ハ商品ノ延着〔商法典第百四條〕送り狀ニハ運送物件ノ延着シタル時ハ其價トシテ運送賃ノ三分ノ一ヲ減スル旨ヲ記シ置クヲ以テ通例トナスコトハ前既ニ説明シタリ而シテ此賠償ハ通常延着時ノミニ適用ス可ク而シテ之カ爲メニ損害ヲ生ゼンコトヲ證明スルノ條件ニ於テスルニ非サレハ賠償ヲ與フルニ及ハストハ一般ニ歸着スル所ノ說ナリ〔千八百六十七年八月八日ノ大審院判決〕〔原註〕鐵道會社ハ其特權ヲ有スルニ係ハラス像メ約定シタル損害ノ賠償ヲ承諾シ又ハ之カ請負ヲナサ、ル可ラサルノ義務ナシト大審院ニ於テ判決シタリ而シテ此賠償ノ請負ハ結約者雙

方ノ隨意ノ意志ニ因ルモノナリ豫シメ約束ヲナサス又ハ延着ノ賠償額ニ付キ
雙方ノ協議調ハサルキハ被害者ノ損害ノ多寡ニ從ヒ賠償額ヲ定ムルハ裁判所ノ全
權ニ在リコルマール控訴院フザムツン控訴院及ヒ巴里控訴院ノ判決ヲ破棄シタル
千八百六十二年一月二十七日ノ大審院判決

運送人ハ運送仲買人ト異ニシテ特別ノ契約ヲ以テ自己ノ責任ヲ免カル、トテ得ス蓋シ之ヲ
許サ、ルハ商法典第三百三條及ヒ第四百條ニ第九十八條ノ成規ヲ掲ケサルニ由ルナリ加之運
送人ハ自ラ取扱ヒシ事及ヒ其手代、傭人ヲシテ取扱ハシメタル事ヨリ生スル結果ヲ免ル、能
ハサルハ諸人ノ己ニ知ル所ナリ鐵道會社ハ若干ノ金高以外ハ損害賠償ノ責ニ任セサル旨ヲ
切符ニ記載シ置クト雖此之ヲ承諾スルト否トハ旅客ノ隨意タリ故ニ旅客ノ携帯スル物件滅
盡シタル時ハ其荷物中ニ幾干ノ物件入レアリシヤチ旅客ヲシテ証明セシメ通常旅客ノ携帯
スベキ丈ケノ物件ナル時ハ其代價ヲ償ハサル可カラサルナリ
然レ其滅盡シタル物件ハ高貴ノモノニシテ之ヲ運送スルニハ特別ノ運送賃ヲ拂フヘキモ
ノナルニ旅客ハ之ヲ自己ノ行李中ニ納メ以テ運送人ニ告ケサル時ハ會社ハ決シテ其代價ヲ
償フノ義務ナキモノトス若シ之ヲ償フモノトセハ是レ即チ會社ハ豫知セサル償ヲ出サ、ル
可ラスシテ民法典第千五百十條ニ反違スルモノナリ(千八百五十九年三月十六日及ヒ千八

百六十七年八月七日ノ大審院判決)但シ旅客一身ノ使用ニ供スヘキ編物類又ハ寶石ノ粧飾
物等ニ關スル時ハ此限ニアラス(千八百七十三年十二月十日ノ大審院棄却判決)(原註)時ト
シテハ鐵道會社ハ特別賃錢ノ條件トシテ送遣人ヲシテ無擔保ノ約款ニ署名セシムルコトアリ
然レ此約款ハ荷造ノ粗惡ヨリ生スル物件ノ破損ノ外會社ノ責ヲ免カレシムルコトナシ(千
八百七十二年八月十三日ノ大審院棄却判決)

三 運送人ノ權利

運送人ハ運送賃ノ仕拂並ニ立替金及ヒ諸費用(入市稅、海關稅、荷積荷卸等ノ諸入費)ノ返還ヲ
受クルノ權アリ

運送人ハ送遣人ニ對シテハ勿論荷物請取人ニ對シテモ訴ヲ爲スコトヲ得可シ
法律ハ左ノ二件ニ付テ運送人保護セリ

第一

商法典第百六條ハ運送賃ノ額ニ至ルマテ商品ヲ賣却スルノ或ル權能ヲ運送人ニ許
與セリ抑モ運送シタル物件ヲ受取ル可キ者之ヲ受取ルコトヲ肯セサルカ又ハ之ヲ受
取ルニ付キ爭論ヲ生シタル場合ニ於テハ運送人ハ公吏ノ間入ヲ要セス單純ナル願
書ヲ以テ其物件ノ形狀ノ證明ヲ擔任スル鑑定人ノ任命、其物件ヲ附託役所ニ商品
ノ運送及ヒ其賣却ノ命令ヲ得ル爲メ商事裁判所長ニ出願シ若シ商事裁判所アラサ

ル地方ニ於テハ治安裁判官ニ之ヲ出願スルヲ得可シ

第二 民法典第二百二條第六項ハ運送費用及ヒ附屬諸費用ヲ得ルカ爲メ運送人ニ其運送シタル物件上ニ先取特權ヲ許與セリ

第二十五 此先取特權ハ増價ニ基クモノトシテ運送物件ノ引渡後之ヲ保存シ得ル乎將タ寧ロ之ヲ默諾ノ質入ノ意ニ解シテ運送人カ其運送物件ヲ手放セサル間ニ非サレハ存セサルモノナル乎ト云フ疑問アリ

一般ノ理論及ヒ裁判慣例ニ於テハ先取特權ハ之ヲ民法典第二百二條第五項ニ記載スル旅店ノ主人ノ先取特權又ハ千八百六十三年五月二十三日法律ニ依テ改正セラレタル商法典第九十五條ニ記載スル仲買人ノ先取特權ニ准シテ質取權ノ結果ト看做セリ又増價ハ動産上ノ先取特權ノ原因トナルモノニアラス、先取特權ハ増價上ニ成立スルニアラスシテ物件ノ全額上ニ成立ツモノナリ、商法典第二百七條ニ於テ商品引渡シノ後十五日間運送シタル商品ニ就キ先取特權ヲ船長ニ許與スルモノハ則チ運送人ニ適用スルヲ得サル例外ノ成規ナリ、既ニ説明セシ如ク例外ノ體裁ニテ運送人ノ利益ニ於テ運送シタル商品ノ賣却ヲ許可スル商法典第六條ハ運送人未タ商品ヲ手放セサル場合ヲ見タルモノナリトノ件々ヲ注意セリ(サハレツ、マスセー、オーブリエロー、ドマンジャール諸氏ノ説及ヒ千八百四十年四月十三日

ノ大審院判決并ニ千八百五十五年八月二十九日巴里控訴院ノ判決)

第二十六 運送人其責任ヲ免カレントスルニハ必ス免カル可キ事實ヲ證セサル可カラス而シテ民法典

第一千三百二條ノ原則ニ從フ同第七百八十四條ハ明ニ之ヲ決定セリ故ニ運送人ニ於テ其責任ヲ免レントスルニ當リ事實ヲ證スルニ及ハスト裁判シタルモントベリエー控訴院ノ判決ヲ千八百五十八年八月二十三日ノ判決ヲ以テ大審院ニ於テ破毀シタルモノハ最モ道理ニ適シタリト謂フ可シ

若シ引續キ運送人二名ノ手ヲ經テ物件ヲ運送シタル場合ニ於テハ其責ニ任スル者ハ何人ナルヤ此疑問ニ付テハ頗ル讞難アリ第一ノ運送人ハ第二ノ運送人ニ對シテ送遣人ナルヲ以テ物品ノ破損滅盡シタル時ハ第二ノ運送人ノ過失ナリト看做サ、ル可ラスト主張スル者アリ然ルニ大審院ニ於テハ之ニ反シ運送物件ノ積替ハ太ク迅速ナルモノナルヲ以テ第二ノ運送人ハ荷物ノ模様ヲ検査スルノ暇ナキカ故ニ右場合ニ於テハ第一ノ運送人ノ過失ニ歸セサル可ラス但シ其荷物ノ破損タル容易ニ人目ニ觸ルヘキ時ハ此限ニアラス何トナレハ荷物ノ外部ニ損所アルヲ心附カサルハ畢竟第二ノ運送ノ過失ナレハナリト判決シタリ(千八百六十八年八月十九日及ヒ千八百七十三年十二月八日ノ大審院判決)

四 運送人及ヒ運送仲買人ノ利益ニ於テ定メタル不受理ノ理由及ヒ時効

運送人及ヒ運送仲買人ハ重大ナル責任ヲ負フモノナルニ因リ法律ハ此等ノ者ノ利益ニ於テ左ノ二個ノ保護法ヲ設ケタリ

第一 不受理ノ理由○此不受理ノ理由ニ依テ運送人及ヒ運送仲買人ハ商品ノ受取並ニ其運送賃ノ辨濟アルキハ乃チ荷物ノ事ニ付キ總テノ訴ヲ免ル可シ〔商法典第百五條〕此成規ハ商品ノ受取並ニ運送賃ノ辨濟前其受取人ニ荷物ノ内外ノ形狀ヲ檢査スルノ權能アルヲ指定スルモノナリ〔千八百六十一年八月十四日ノ大審院判決〕故ニ此不受理ノ理由ハ絶對ナルモノナリ〔千八百七十四年一月廿日ノ大審院判決〕故ニ此理由ハ運送物件ノ破損内部ニ在テ荷物ヲ解ク後ニアラサレハ之ヲ覺知スルヲ得サル時ト雖モ適用スルモノトス〔千八百七十四年二月四日ノ大審院判決〕然レモ不受理ノ理由ハ詐偽又ハ不誠實ノ場合〔千八百五十九年四月二十六日ノ大審院判決〕ニ於テハ其運送シタル物件ニ付キ何時ニテモ訴ヲ受クヘキヲ明ニ約シタル場合ニ適用スルヲナシ

第二 時効○内國運送ニ付テハ六ヶ月外國運送ニ付テハ一ケ年ノ時効ニ依テ運送仲買人及ヒ運送人ニ對スル訴訟ハ總テ消滅スルモノナリ〔商法典第百八條〕右時効ハ商品ノ滅盡シタル場合ニ於テハ其運送物達着ス可キ日ヨリ期限ヲ起算シ

第二十七

破損シタル時ハ商品引渡ノ日ヨリ之ヲ起算ス可シ但シ運送仲買人又ハ運送人ニ詐欺又ハ不誠實ノ所爲アル場合ト抵觸スルヲナカルヘシ

若シ運送人於テ六ヶ月又ハ一年ノ後ニ至テ始テ運送賃ヲ請求シタル時ハ荷物請取人ハ其仕拂フ可キ運送賃ノ内ヨリ破損ニ付テノ償金ヲ引去ルヲ得可シ何トナレハ荷物受取人ハ此場合ニ於テハ抗斥ヲ以テ對抗ス可ク且六ヶ月又ハ一年ヲ以テ時効トナルモノハ損害賠償ノ訴權ニ外ナラサレハナリ〔千八百五十八年六月七日ノ大審院棄却判決〕

右時効ハ即チ期滿得免ナリ故ニ一度ヒ紛失シタル荷物ヲ後ニ至テ發見シタル時ハ之ヲ取戻スニ於テ障礙トナルヘキモノニ非サルナリ
法律ニ於テハ荷物延着ノ場合ヲ規定セス故ニ此時効ハ例外ナルヲ以テ大審院ニ於テハ千八百五十九年七月二十六日ノ判決ニテ荷物ノ延着ニ適用ス可キモノニアラスト決定シタリ然レ學者一般ノ理論ニ據レハ荷物ノ滅盡又ハ破損ノ場合ト其延着ノ場合トヲ區別スルノ理アルヲナク商品請取人ハ約束シタル期限内ニ到着セサル荷物ハ之ヲ滅盡シタルモノト看做スヘク延着ハ滅盡ニ比スレハ事情較々輕キヲ以テ延着ノ訴訟ハ固ヨリ同一ノ期限内ニ起ス可キモノナリトナセリ

商法略論第七卷賣買ノ部問題

-
- 第一 問 商事上ノ賣買ノ種類如何
 - 第二 問 商事上ノ賣買ト民事上ノ賣買トノ重ナル差異如何
 - 第三 問 千八百六十六年ノ法律ヲ以テ民事上ノ賣買ニ設ケタル重ナル習慣如何
 - 第四 問 帳簿計算ノ特別ノ効トハ何ソヤ
 - 第五 問 商事々件ニ於テ許ス證據ノ方法如何
 - 第六 問 證人證據ノ特別ナル規則如何
 - 第七 問 商事裁判所ハ單純ナル推則ニ從ヒ裁定シ得ルヤ

第七卷 賣買 (第百九條)

此卷ノ題目ハ不精確且不完全ナリ其不精確ナル所以ハ此卷ニ於テ記スル所ノモノハ賣買並ニ賣買成立即チ其効ノ條件ニ非スシテ唯々賣買ノ證據ニ在リ又其不完全ナル所以ハ商法典第百九條ニ列記スル證據ノ方法ハ啻ニ賣買ニ適用スルノミナラス又一般ニ總テノ商業ノ所爲ニ適用スルニ在リ

第一問 商事々件ニ於ケル證據ノ諸種ノ方法ヲ講究スル前ニ當リ商事上ノ賣買並ニ帳簿計算ニ關スル二三ノ特別規則ヲ指示ス可キ者ナリト思考ス

一 商事上ノ賣買

凡ソ商事上ノ賣買ハ民法典ニ定メタル規則ニ從フチ原則トナス(民法典第千百七條、第千百五十三條及ヒ第千三百四十一條)(原註)然レモ商事上ノ賣買ハ茲ニ簡單ニ指示セント欲スル種々ノ變態即チ特種ヲ表彰スルモノナリ此賣買ヲ別テ單純ノ賣買又ハ有期ノ賣買、海關稅ヲ納ムベキ賣買又ハ稅關倉庫ニ於テノ賣買及ヒ連續賣買即チ是レナリ○第一單純ノ賣買及ヒ有期賣買、ハ物品ノ引渡即時ナルト猶豫アルトニ從テ單純ノモノトナリ又有期ノモノトナルナリ○單純ノ賣買ハ原則ニ於テハ通常ノ賣買ニシテ買主隨意ノ條件ニ屬ス可キモノニアラス但シ明約アルカ又ハ賣買ノ情狀ヨリ生スル默約アル場合ハ此限ニ在ラス○

賣主ノ有セサルカ又ハ現ニ之レナキ商品ヲ以テ目的トナル有期賣買ハ有効ナリトス但シ賣買ヲ假想スル賭○ニシテ相場ノ歩金ヲ仕拂フ可キ假想ノ取引ヲ構成スル場合ハ此限ニアラス○有期賣買ハ固定ナルヲアリ又ハ未必條件ナルヲアリ例ヘハ待○望スル着船ニ依テ引渡ス可キ賣買ノ場合ニ於テハ未必條件ノ賣買ナリ此場合ニ於テハ賣買ハ専ラ商品ノ到着ニ關スルカ故ニ危險ハ賣主ノ負擔タリ然レモ商品ハ既ニ特定物タルヲ以テ買主ハ未必條件ノ所有者ニシテ單ニ債主タルノミニ非ス故ニ賣主分散シタル場合ニ於テハ買主ハ商物ノ取戻ヲ爲スコトヲ得可シ通常此場合ニ於テハ船名及ヒ船長ノ姓名ヲ指定シ且精密ニ商品ノ品柄及ヒ到着ノ時日ヲ指定スルモノトス此種ノ賣買ハ保險契約ト同シク全ク善意ナルヲ要シ故ラニ右ノ件々ヲ指示セサレハ則チ賣買ノ取消ヲナスニ充分ナリトス○第二海關稅ヲ拂フヘキ賣買及ヒ稅關倉庫ニ於テノ賣買海關稅ヲ仕拂フ後ニ非サレハ稅關倉庫ニ預ケタル商品ヲ引渡サル、約務ヲ賣主ヨリナスルキ之ヲ海關稅ヲ拂フヘキ賣買ト云ヒ買主ニ海關稅ノ仕拂ヲ負擔セシメ稅關ニ運送シテ同關倉庫ニ於テ商品引渡ノ約務ヲナシタルキハ之ヲ稅關倉庫ニ於テノ賣買ト云フ○第一ノ場合ニ於テハ關稅ノ高下ハ賣主ノ益トナリ又損トナルモノニシテ第二ノ場合ニ於テハ買主ノ利トナリ又ハ損トナルモノナリ○又稅ヲ拂ヒ及ヒ稅關倉庫ニ於ケル權能ヲ以テ賣買ヲナスコトヲ得可シ此場合ニ於テハ賣主ハ海關稅ヲ仕拂フヘキ賣買及ヒ消

費物賣買ニ於ケル如ク關稅ノ高下ニ因リ利益ヲ受ケ又ハ損害ヲ蒙ルモノナリ然レモ買主ハ稅關倉庫ニ於ケル賣買ト同シク關稅ヲ仕拂ハスシテ更ニ商品ヲ輸出シ得ルノ利益ヲ有ス○第三連續賣買、商品稅關ノ倉庫又ハ船舶内ニ在ルキハ其商品ハ最終ノ買主總テノ賣主ノ義務者タル可キ方法ニテ引續キ數多ノ賣買ノ目的タルヲ得可シ例ヘハ甲者ヨリ乙者ニ百法ニテ商品ヲ賣拂ヒ乙者百五法ニテ丙者ニ賣拂ヒ丙者又之ヲ丁者ニ百十法ニテ賣却セリ此場合ニ於テ丁者ハ甲者ニ百法乙者ニ五法丙者ニ五法ヲ拂ハサル可ラス依テ一般ニ決スル所ニ據レハ最終ノ買主ハ總テノ賣主ノ債主ニシテ又其賣物ノ引渡ニ付テモ總テノ賣主ノ債主ナリ此賣買法ハ馬耳塞港ニ於テ最モ流行スルモノナリ○又商事上ノ賣買ニ於テ特別ナル引渡ノ方法アリ送り狀勘定書ト共ニスル積荷目錄〔商法典第九十二條及ヒ第五百七十六條〕共同倉庫ニ預ケタル商品ニ就テハ受取證書又ハ荷預切符、稅關ヘノ運搬是レナリ〔民事上ノ賣買ト商事上ノ賣買トハ其間大ナル差異アリ今茲ニ其重ナルモノヲ舉示セン〕

第一 商事上ノ賣買ノ目的物ハ動産ニ限ル○民事上ノ賣買ノ目的物ハ動産タリ不動産タルヲ得可シ

第二 商事々件ニ於テ賣品分散ニ陥リタル買主ニ於テ占有スルキハ賣主ハ其物品上ニ先取特權ヲ有スルヲナク又之レカ取戻ヲ爲スヲ得ス〔商法典第五百三十條〕○民事

々件ニ於テ動産ノ賣主ハ先取特權ヲ有シ而シテ有期賣買ニ非サル賣買ヲナセシキ
ハ引渡後八日內ニ取戻ヲ爲スヲ得ヘシ(民法典第二千二百二條第四項)

第三

賣買ノ登記又ハ一般ニ之ヲ言ヘハ商法典第六百三十二條、第六百三十三條及ヒ第
六百三十四條第一項ヲ以テ商業ノ所爲ト看做シタル契約及ヒ取引ノ登記(但シ双
務契約ノ私印証書ニ關スルキハ)ニ法ノ一定稅ヲ徵収スルノミ(千八百五十九年六
月十一日ノ法律第十一條)○之ニ反シテ通常ノ動産賣買ハ百法ニ付二法ノ比例稅
ナリ(共和七年癸月二十二日ノ法律第六十九條第五節(原註)然レモ商事々件ニ於テ
モ敗訴ノ裁判アルキハ比例稅ヲ科スト雖モ唯敗訴ノ裁判ノ金額上ニ賦課シ其爲シ
タル契約上ニ賦課スルコトナシ○其外証書稅アリ又法律ニ於テ讓渡ヲ證明スル各種
ノ證書外所有權又ハ他ノ權利ノ移轉ニ際シテ必要トナス所ノ移轉稅ニ付テハ死亡
ニ因ル移轉ノ外商業ノ元資又ハ主顧ノ株ノ賣買並ニ船舶ノ賣買ニ關スルニ非サレ
ハ賦課スルコトナシ(千八百七十二二年二月二十八日ノ法律)

第四

商事上ノ賣買ニ於テハ商事上ノ習慣ニ關スル千八百六十六年六月十三日ノ法律ヲ
以テ佛蘭西共和全國ニ此法律ノ附屬表ニ揭示スル條件、商品ノ減損及ヒ他ノ習慣
ヲ適用ス可キモノト爲セリ○民事上ノ賣買ニ於テハ一モ人民ノ義務タル習慣ヲ定

メシ法律アルコトナシ

第三間 今左ニ千八百六十六年六月十三日ノ法律中最モ一般ニ互ル規則ヲ掲出セン

第一

斤目ヲ以テ賣買ヲ爲ス各種ノ商品ハ風袋共ノ斤目ニテ賣買スルコトアリ風袋ヲ除キ
タル斤目ニテ賣買スルコトアリ風袋共ノ斤目ハ商品及ヒ其入物ヲ合セタル斤目ニシ
テ風袋ヲ除キタル斤目ハ其入物ノ斤目ヲ除キ商品ノ斤目ナリ商品ノ減損トハ
賣買ノ時ニ於テ入物ノ推測斤目ヲ表スルモノヲ云フ商品ノ減損ハ商業ノ輕便ヲ計
リ荷物ヲ開破セサルヲ習慣ト爲ス所ノ或ル商品ニ適用スルモノナリ

第二

表中ニ掲ケサルモノニシテ斤目ニテ賣買ヲナス總テノ事件ハ風袋ヲ加ヘサル斤目
ヲ以テ賣買スルモノトス

第三

買主ハ習慣ノ商品減損ニ付テノ權利ヲ拋棄シ引渡中ト雖モ風袋ヲ除キタル斤目ヲ
要求スルコトヲ得可シ

第四

風袋共ニ賣込ム商品ニ付テハ荷作りハ商業ノ習慣ニ從フ可シ

第五

上包(布巾、桶、大樽、箱ノ類)ハ表中ニ掲ケタル例外ヲ除キ買主ノ所得トス

第六

二箇ノ上包アルキハ中包ハ習慣ニ於テ商品ト看做シ而シテ商業上ノ仕來ニ適スル
ニ於テハ風袋ヲ除キタル斤目中ニ包含スルモノトス

第七 噸數千八百六十一年七月三日ノ法律第二條及ヒ第六條ノ執行ニ付キ規定セシ如ク
 貸貸ノ噸數ナリ(原註)噸ハ時トシテハ斤目ヲ以テシ時トシテハ容量ヲ以テス〇斤
 目ヲ以テスルキハ「メートル」ノ噸ノ斤目ハ千「キログラム」又ハ水ノ「メートル」
 「立方トス然レハ海上貿易ニ於テ噸又ハ貸貸噸ハ(船舶貸貸ニ關スルキ)必スシモ
 千「キログラム」ト一定セシモノニ非ス商品ノ積方ニ因テ面積ニ付テ算當チナス
 又輕荷ニ付テハ僅小ノ斤目ヲ許容セリ。〇容量トシテハ千六百八十一年ノ船舶ニ關
 スル勅令ヲ以テ衡量チ四十二尺立法ト定メシカ千八百七十二年十二月二十四日ノ
 布告以降從來適用シタル衡量ノ方法ヲ英吉利方法トナセリ(千八百七十三年五月
 二十四日ノ布告)

第八 表中ニ掲ケタル例外ヲ除キ「ドン」「シユールドン」又「トレランス」ヲ許與スルコトナシ
 (原註)「トン」トハ殆ント商品ニ付テ免カル可ラサル變更又ハ損失ニ付テノ減額(減價)
 ナ云ヒ、「シユールドン」トハ商品ノ不意ノ損傷又ハ濕潤ニ因リ買主ノ隨意ノ請負ヲ
 云ヒ一般ニ塵埃ト稱スル損傷ノ爲メニ許與スル「トレランス」トハ買主ヨリ賣主ニ
 對スル要求ノ區域ヲ制限スルヲ以テ目的トナスモノナニ云フ)

第九 港灣ニ於テ製造品以外ノ商品ハ總テ前拂百ニ付キ二割引ニテ現金賣買チナス而シ

テ賣主ニ於テ前拂ノ全部又ハ一部ヲ定期拂ニ更換セシコトヲ諾シタルキハ其前拂ハ
 一ヶ月二百分ノ一ノ割ニテ規定スベシ(原註)前拂ニ數多ノ意義アリ下ノ如シ第一
 代價ノ通常ノ引キ下ノ商品ヲ定價以下ニ賣拂フキ即チ是レナリ第二前拂ニ付テノ
 減價是即チ千八百六十六年ノ法律ノ成規ノ意義ナリ第三切手ノ仕拂期限前ニ仕拂
 チナス銀行營業人ノ代金即チ利益是レナリ

〇又確定習慣ニ依テ爲シタル商事上ノ賣買ニ於テハ民法典第千五百五十三條ノ變例ニ於テ辨
 濟ノ爲メ定メタル期限以後當然代金ノ利息ヲ生セシムルコトヲ是認セリ

〇其他ノ差異ニ至テハ後卷ニ説明スル裁判管轄及ヒ本卷ニ於テ講究スル所ノ證據ノ點ニ在
 ルナリ

二 帳簿取引(一ニ帳簿計算ニ作ル)

帳簿取引トハ商事上關係頻繁ニシテ互ニ其授受ス可キ金額又ハ有價物ニ付テ權利ヲ有シ又
 ハ義務ヲ負フ所ノ二人ノ間ニ存スル取引ヲ云フ但シ後日ニ至テ其貸借ノ全額ヲ比較シテ計
 算ヲ爲スハ勿論ナリ是即チ特定ノ期限アル計算即チ拂期限ヲ延展シ而シテ一事件毎ニ規定
 セサル計算トナス而シテ此取引ハ全ク不分ノモノトス

帳簿ノ取引ハ數回且續々ナス辨濟正金運搬ノ遲延其費用並ニ資本ノ無使用ヲ免レシムル

モノトス故ニ帳簿取引ハ金圓融通ノ一方法ナリ此契約ハ左ノ特別ナル効チ生スルモノトス

第四回 第一

帳簿取引ニ於テ交付シタル金額ハ民法典第千五百五十三條及ヒ第千五百五十四條ノ原則ニ反シ之ヲ交付シタル日ヨリ結算ニ至ルマテ當然利息チ生ス此規則ハ商事上ノ習慣及ヒ裁判慣例ヲ以テ之ヲ是認セリ(千八百五十三年三月八日ノ大審院判決)原註若干ノ日數間百ニ付キ六ノ割ニテ仕拂フ可キ利息チ計算スルニハ日數ヲ以テ此利息チ生スル資本ニ乘シ而シテ數ト稱スル利息チ六、〇八三チ以テ除スルモノトス○此計算ハ下ノ理ニ基ク者ナリ即チ十日間ノ利息附ノ二千法ノ資本ハ一日間ノ二萬法ノ資本ト同額ノ利息チ生ス可シ然ラハ則チ一年三百六十五法又ハ一日間一法ノ利息チ生スル資本ハ六千八十三法ナリ故ニ二萬法ノ資本ハ六千八十三法ノ資本毎ニ一日一法ノ利息チ生スル割合ニテ其利息チ生ス可キ者ナリ○商事上ノ習慣ニ於テ銀行營業人ハ商年トシテ一年チ三百六十日ノ計算トナセリ依テ分母ハ六千八十三法ニ非スシテ一日ノ利息一法又ハ一年ノ利息三百六十法チ生スル六千法ナリ
若干日間ノ百ニ付キ五ノ利息チ算スルニモ亦同一ノ方法ヲ以テス即チ三百六十五

日トスレハ七千三百法三百六十日トスレハ七千二百法ヲ以テ除ス可キナリ)帳簿取引ニ於テ交付シタル手形ノ收受チナス一方ノ者ハ此外ニ計算上ニ手数料チ加フルコトチ得可シ

第二

帳簿取引ノ不可分ニ依リ既ニ交付シタル金額ハ結算ノ時期ニ於テスルニ非サレハ精算ニ至ラス且要求ス可キモノトナラサルナリ是ニ由テ左ノ件々チ生ス
一 結約者ノ一方ヨリナシタル金圓ノ交付ハ指定ノ負債チ消滅セシム可キモノニ非ス又一定負債ニ抵擬スルコトチ得ス但シ明ニ特約アル場合ハ此限ニアラス(民法典第千二百五十三條乃至第千二百五十六條ノ反對)

一 利息、年金ノ利息並ニ毎年又ハ一年チ數回ニ分チ一定ノ時期ニ於テ仕拂フ可キモノニ關シテ民法典第千二百七十七條ニ定メタル五年ノ時効チ適用ス可キモノニ非ス

一 金圓交付ハ義務相殺チナスコトチ得ヌ何トナレハ此交付ハ確定規則ヲ以テスルニ非サレハ結了ニ至ラサル計算ノ元素タルニ過キサレバナリ

一 債主ハ其取引人ヨリ自己ノ負債主ニ拂フ可キモノ、仕拂差留チナヌコトチ得ス(共
和十一年萌芽月二十四日ノ法律及ヒ千八百五十五年一月二十七日ノ巴里控訴院判

決

第三 帳簿取引ニ更リタル債主權ハ更改ヲ以テ消滅ス商法典第五百七十五條、此規則ノ適用ヲ爲セリ蓋シ任用者ハ仲買人ノ分散ノ場合ニ於テ分散人ト買主トノ間賣買ノ代價ノ相殺ナキ即チ帳簿ノ取引ニ移ルキニ非サレハ仲買人ノ賣込ヲ擔當シタル商品ノ代價ヲ取戻スヲ得ス

三 商事々件ニ於テノ證據

第五問 商法ハ證據ヲ許スノ點及ヒ證據ノ方法ニ於テハ民法ニ比スレハ更ニ廣濶ナリ商法典第百九條ニ據レハ賣買及ヒ一般ニ商事上ノ約務ハ左ノ件々ヲ以テ證スルモノナリ

第一 公正證書 ○法典ニ於テハ重ニ公證人ノ作りタル證書ノヲ記セリ然レモ公證人ノ作りタル證書ヲ以テ賣買ヲナスヲ殆ント稀ナリ千八百六十七年ノ法律ノ頒布以前ニ在テハ無名會社ハ必ス公正證書ヲ以テ證ス可キモノトセシモ千八百六十七年ノ法律頒分以後ハ唯管理人又ハ株式會社ノ創立者ニ就テノ會社資本ノ加入及ヒ資本額ノ四分ノ一ノ拂込ニ付キ公證人ノ作りタル届書ヲ必要トセリ ○公證人ノ作りタル證書ハ書入質ノ設立ニ付テ必要タル可シ
外國在留佛蘭西人ハ或ハ佛國領事廳或ハ外國公吏ノ面前ニ於テ公正證書ノ体裁ニ

第二

テ其契約ヲ證スルヲ得可シ
私印證書 ○茲ニ一問題アリ即チ双務契約ニ於テノ各別ノ利益ヲ有スル契約者ノ數ニ應シテ原本四通ヲ作り及ヒ原本ノ數ノ記載ヲ必要トナス所ノ民法典第千三百二十五條ハ商事上ノ約務ニ適用ス可キヤ如何是レナリ裁判慣例及ヒ二三ノ著述家就中マスセー及ヒドマシャー二氏ハ民法典第千三百二十五條ハ商事々件ニ適用ス可キモノナリト主張スト雖モ其他ノ學者ハ概ネ該條ハ之ヲ適用ス可キモノニ非ストモ商人ヨリ發シタル證書ナルハ金額又ハ得代物ノ片務義務ヲ證スル證書ノ「ボ
ンエ、アブル、ウエー」(仕拂受諾ノ義)ノ必要ヲ省略セリ又私印證書ノ三者ニ對シテ確定日附ヲ有スルニ付テ要スル條件ヲ指定スル民法典第千三百二十八條ハ商事々件ニ適用ス可キモノニ非ストハ一般學者ノ決スル所ナリ(千八百六十九年八月二十一日ノ大審院判決)

○或場合ニ於テハ法律上證書ヲ必要トナスヲ注意セサル可ラス
例ハ共分結社ヲ除キ商事會社ハ證書ヲ作ルヲ必要トナセリ株式差金會社及ヒ

無名會社ニ付テハ千八百六十七年ノ法律以後私印證書ハ二通ノ原本ヲ作ルヲ以テ充分ナリトナセリ爲替手形ノ受諾モ亦證書ヲ以テ之ヲ爲サ、ル可ラス(商法典第百二十三條)又船舶ノ賣買又ハ貸貸契約(商法典第百九十五條及ヒ第二百七十三條)典船契約(同法典第三百十一條)及ヒ海上保險契約(同第三百三十二條)モ均シク證書ヲ作ルヲ必要トナス可シ

第三

關係各人ヨリ適法ニ署名シタル手形賣買世話人又ハ商業世話人ノ明細書又ハ計算表此明細書ハ公正證書ニ非サルヲ以テ贈與又ハ書入質ヲ之ニ記載スルヲ得ス又執行力ヲ有スルヲ得サルナリ然レモ亦何レノ場合ニ於テモ私印證書トハ異ナルモノナリ而シテ其異ナル所ノモノハ此明細書ハ二通ノ原書ヲ作ル法式ニ從ハス又「ボン、エ、アプルーウエ」ノ法式ニモ從フヲナク且虛偽ノ記入ノ證アルマテノ信用ニ非スシテ充分ニ其日附及ヒ署名ニ信憑力ヲ有セシムルニ在リ

第四

受諾シタル勘定書、勘定書トハ代價附ト共ニ賣拂フタル商品ノ明細表ヲ指シテ之ヲ云フ此勘定書ハ受諾アルニ非サレハ賣買ノ證據トナルモノニ非ス而シテ受諾ハ明諾又ハ黙諾タルヲ得可シ又勘定書ハ雙務契約ヲ證スルノ用ニ充ツ可キモノナリト雖モ原本ニ通テ作ルノ法式ニ從フモノニ非ス商事上ノ習慣ニ據レハ勘定書ハ

第五

或ハ記名タリ或ハ指圖タリ或ハ所持人拂グルヲ得ルモノナリ往復書東、往復書東中ニハ關係各人ノ互ニ贈答シタル書狀又ハ電信ヲ包含ス前文既ニ(商法典第八條)商人ハ其受取タル書狀ヲ一纏コナシ置キ先方へ差送りタル書狀ヲ帳簿ニ騰載ス可キ旨ヲ述ヘタリ

第六

關係各人ノ帳簿、帳簿ノ信憑力ニ關シテハ第二卷第八條乃至第十七條ヲ參看ス可シ裁判所ニ於テ人證ヲ許ス可キモノナリト思料スル場合ニ於テノ人證

第七

民法典第千三百四十一條ヲ調和シタル此成規ヨリ左ノ數箇ノ結果ヲ生ス

第一

商事々件ニ於テハ人證ハ書證ノ端緒ナクシテ百五十法以上ト雖モ之ヲ許ス(原註)然レモ百五十法以下ニ付テハ人證ハ民事々件ニ於ケル如ク當然之ヲ許スモノトス何トナレハ立法者ハ商事々件ニ於テ人証ヲ擴張スルヲ欲シ制限スルヲ欲セサレハナリ(ゴアステール氏ノ說)

第二

裁判所ハ證書ニ掲ケタル以外ノノ及之ニ反スルヲト雖モ人證ヲ許スヲ得但シ法律ニ於テ例へハ會社ニ關スルモ如ク專ラ書證ヲ要スル所爲ニ關スルモノハ此限ニ非サルハ勿論ナリトス(商法典第四十一條)何トナレハ變體ハ其因ル所ノ所爲ニ比シテ更ニ寛ナル取扱ヲ受クルヲ得サレハナリ(千八百六十年四月十日ノ大審

院判決

若シ一箇ノ所爲ニシテ關係人一方ノモノニ付テノニ商事上ノ所爲ナルキ例ヘハ一
個ノ土地ノ所有者、耕作人又ハ葡萄耕作人ヨリ其作物タル飲食物ヲ商業ノ爲メ買
入ヲナシタル商人ニ賣拂フタルキハ人證ハ之ヲ許スベキモノナルヤ如何此問題ハ
場合ヲ別テ之ヲ論定セサル可ラス即チ商業ヲ爲サ、リシ一方ノ者商業ヲナシタル
一方ノ者ニ對シテ契約ヲ證セント欲スルキハ證人ヲ以テ證スルヲ得之ニ反ノ契
約ノ證據ヲ立テント欲スル者商業ヲナシタル一方ノ者ナルキハ其證據ノ方法ハ民
法ノ規則ニ從フ可シ(オーブリエロー、ドマシヤー及ヒボアステール諸氏ノ說、千八
百六十二年十一月十九日ノ大審院判決)

第七問

第八

○商法典第九條ニ明文ナキニ係ハラヌ商事上ノ約務ハ猶ホ左ノ第八第九第十ノ
三件ヲ以テ證スルヲ得可シ
法律上ノ推測並ニ人爲ノ推測○商事上ノ約務ハ當ニ法律上ノ推測ノミナラス(例
ヘハ商人ノ振出シタル手形ハ其商業ニ付キ爲シタリト看做ス)(商法典第六百三十
八條)又人爲ノ推測ニ依テ證スルヲ得可シ何トナレハ人爲ノ推測ハ人證ヲ許ス
場合ニ於テハ必ラス證據ノ方法トナスヲ許スノ本則アレハナリ(民法典第千三

第九
第十

百五十三條)
關係人ノ自由(民法典第千三百五十四條乃至第千三百五十六條)
判定ノ宣誓又ハ補足ノ宣誓(民法典第千三百五十七條乃至第千三百六十九條及ヒ
商法典第十七條)

商法略論第八卷爲替手形、指圖手形、時効ノ部問題

- 第一問 爲替手形トハ何ソヤ
- 第二問 爲替手形ノ功用如何
- 第三問 兌換及ヒ兌換相場トハ何ソヤ
- 第四問 如何シテ通常爲替手形ノ取引ヲナスヤ
- 第五問 佛蘭西銀行ノ職掌如何
- 第六問 佛蘭西銀行ノ資本及ヒ負債如何
- 第七問 爲替手形ノ通常ノ法式如何
- 第八問 爲替手形ニ存ス可キ記載トハ何ソヤ
- 第九問 依頼手形トハ何ソヤ
- 第十問 住所拂手形トハ何ソヤ及ヒ其功用如何
- 第十一問 手形ハ振出人ノ指圖ニ依ルヲ得ルハ如何シテ了解スルカ
- 第十二問 此場合ニ於テ前問ノ手形ハ爲替手形ノ如ク直ニ完全ナルヤ
- 第十三問 計算ニ付テノ振出人トハ何ソヤ

- 第十四問 前問ノ功用如何
- 第十五問 隨意ノ重ナル記載如何
- 第十六問 手形ノ數多ノ証券ヲ振出スノ利益如何
- 第十七問 無費用送り戻ノ約款ノ効如何
- 第十八問 何ノ場合ニ於テ該約款ハ無効ナリヤ
- 第十九問 爲替手形ノ單純ナル約定書ト變スル場合如何
- 第二十問 婦女子ノ署名アル場合ニ於テ商事裁判所ハ管轄スルヤ
- 第二十一問 準備トハ何ソヤ
- 第二十二問 準備ヲナス可キ者ハ何人ナリヤ
- 第二十三問 手形ヲ他人ノ計算ノ爲メニ振出シタル場合ニ於テ準備ヲ爲ス可キ者ハ何人ナリヤ
- 第二十四問 千八百十七年ノ法律ヲ以テ更改シタル商法典第百十五條ノ意義如何
- 第二十五問 特ニ手形ノ所持人懈怠ナル場合ニ於テ準備存スルヤ否ヤヲ知ルニ付テ如何ナル利益アリヤ
- 第二十六問 商法典第百十七條ノ第一項ノ意義如何及ヒ如何ナル方法ニテ沿革上之

ヲ釋解スルカ

- 第二十七問 準備ノ所有權ハ何人ニ屬スルカ及ヒ特ニ振出人分散ノ場合ニ於テ問題ノ利益如何
- 第二十八問 例外トシテ如何ナル場合ニ於テ手形ノ所持人ハ仕拂人ニ受諾ヲ請求ス可キカ
- 第二十九問 受諾ハ別證書ヲ以テ爲スヲ得ルヤ
- 第三十問 受諾ノ効如何
- 第三十一問 受諾拒ノ場合ニ於テ所持人ノ權利如何
- 第三十二問 關涉ニ依テ受諾ヲナシ得ルモノハ何人ナルヤ
- 第三十三問 關涉ニ依テ受諾シ得ル仕拂人ノ有スル權利如何
- 第三十四問 爲替手形ノ諸拂期限如何
- 第三十五問 精密ニ拂期限ヲ知ルニ付テ如何ナル利益アリヤ

第三十六問 日附ヨリ數月後ニ仕拂フ可キ手形ニ付テハ如何

第三十七問 裏書トハ何ソヤ

第三十八問 指圖ノ約款ニ付テ生シ得可キ効如何

第三十九問 裏書ノ種類ヲ幾許ニ區別シ得ルヤ

第四十問 何レノ時ニ於テ裏書ハ適法即チ所有權移轉ノモノナルヤ

第四十一問 例外トシテ如何ナル場合ニ於テ裏書ノ場所ヲ指示ス可キカ

第四十二問 何故ニ法律ハ裏書ノ日附線上ヲ偽造ノ刑ヲ以テ論スルヤ

第四十三問 裏書ト債主權讓渡トノ間ニ如何ナル差異アリヤ

第四十四問 違法即チ委任裏書ノ効如何

○

第四十五問 違法ノ裏書ノ所持人ハ手形ノ所有權ヲ移轉シ得ルヤ

第四十六問 違法ノ裏書ハ委任ニ過キスト爲ス規則ハ反對ノ證據ヲ以テ之ヲ顛覆シ

得ルヤ

第四十七問 白紙裏書ノ特種ナルトハ何ソヤ

第四十八問 擔保ノ名義ニ於ケル裏書トハ何ソヤ

○

第四十九問 手形ノ署名人ニ對シ法律ヲ以テ定メタル連帶ハ完全ナル連帶ナリヤ

○

第五十問 手形ノ保證人トハ何ソヤ

第五十一問 如何ナル方法ニテ手形ノ保證チナスカ及ヒ如何ナル方法ニテ保證人ハ

拘束セラル、ヤ

第五十二問 爲替手形ハ動産質ヲ以テ擔保セラル、トチ得ルカ

第五十三問 荷爲替トハ何ソヤ

○

第五十四問 辨濟事件ニ於テ普通法ノ變例如何

第五十五問 爲替手形ノ仕拂ニ故障ヲ申立テ得ル二箇ノ場合如何

第五十六問 如何ナル方法ニテ所持人ハ其他ノ證券ヲ差出ストチ得ルト得サルトニ

從ヒ其紛失ノ場合ニ於テ辨濟チ得ルヤ

第五十七問 拒絶證書トハ何ソヤ

第五十八問 何人ヨリ且如何ナル方法ニテ關涉ニ依ル辨濟ハ之ヲ爲シ得ルヤ

第五十九問 何故ニ關涉ニ依ル仕拂人ハ所持人ノ權利ニ代位ス可キヲ法律ニ於テ明言スルノ要アリヤ

第六十問 何人ニ對シテ關涉ニ依ル支拂人ハ返還要求ヲナシ得ルヤ

第六十一問 所持人敏捷ナル爲メニハ如何ナルヲ爲サ、ル可ラサルカ

第六十二問 如何ナル場合ニ於テ拒ミ證書ヲ作ルコ及ハサルカ

第六十三問 仕拂人特ニ裏書人及ヒ振出人ニ對シテ所持人懈怠ノ効如何

第六十四問 何故ニ裏書人ハ振出人ニ比シテ善良ナル待遇ヲ受クルヤ

第六十五問 仕拂人仕拂期限ニ至テ分散ニ陷タルキハ準備成立スルヲ云フヲ得ルヤ

第六十六問 拒ミ證書ヲ幾種ニ區別スルヤ

第六十七問 如何ナル事件ヲ拒ミ證書ニ記載スルヤ

第六十八問 返シ爲替トハ何ソヤ

第六十九問 返シ計算トハ何ソヤ

第七十問 如何ナル時ヨリ手形ノ元金ノ利息生スルヤ

第七十一問 依任切手トハ何ソヤ

第七十二問 依任切手ノ功用如何

第七十三問 引出小切手ノ法式如何

第七十四問 引出小切手ヲ支配スルモノハ如何ナル法律ナリヤ

第七十五問 引出小切手ト爲替手形トノ差異如何

第七十六問 特ニ印紙税ノ點ニ於テ爲替手形ト引出小切手トノ差異如何

第七十七問 如何ナル方法ニテ他ノ場所ニ向ケ一ノ場所ヨリ振出シタル指圖引出小切手ト爲替手形トヲ區別スルヤ

第七十八問 受取引出小切手トハ何ソヤ及ヒ此小切手ハ依任切手ト如何ナル點ニ於テ區別スルヤ

テ區別スルヤ

第七十九問 指圖手形ノ法式如何

第八十問 指圖手形ト爲替手形トノ差異如何

第八十一問 住所拂手形トハ何ソヤ及ヒ住所拂手形ハ商事上ノ所爲ナルヤ

第八十二問 商業手形ニ付キ必要ナル印紙貼用義務ノ三箇ノ制裁如何

第八十三問 爲替手形及ヒ指圖手形ノ件ニ於テ設ケタル時効如何

第八十四問 時効ニ付キ爲替手形ト指圖手形トノ差異如何

第八十五問 如何ナル場合ニ於テ五年ノ時効ヲ容易ニ了解スルヤ

第八十六問 時効ハ裏書人又ハ準備ヲ爲シタル振出人ヨリ申立スルヲ得ルヤ

第八十七問 五年ノ時効ノ起算點如何

第八十八問 五年ノ時効ヲ中斷スル原因如何

第八十九問 遲延ノ拒ミ證書ハ時効中斷ノ一原因ナルヤ

第九十問 別證書ヲ以テ認知シタルトキハ如何

第九十一問 五年ノ時効ハ確乎ト負債上ノ義務免稅ヲ惹起スルヤ

第八卷 爲替手形、指圖手形及ヒ時効(自第一百十條至第一百八十九條)

本卷ヲ分テ三款トス其規定スル所第一款ニ於テハ爲替手形トシ第二款ニ於テハ指圖手形トシ第三款ニ於テハ時効トス爲替手形ノ事ヲ説クニ方リ大ニ之ト類似セル引出小切手ノ事ヲ論明セン此事タル千八百六十五年六月十四日ノ法律ヲ以テ之ヲ規定シタリシカ更ニ千八百七十四年二月十九日ノ法律ヲ以テ之ヲ改定シタリ又指圖手形ノ事ヲ述フルニ方リ其變體ニ過キサル住所拂手形ノ事ヲ論定セン

第一款 爲替手形

總論

一 爲替契約及爲替手形

第一問 爲替手形ハ爲替契約ニ因リ作ルモノニシテ該契約實行ノ通常ノ方法タルニ過キサルナリ爲替契約トハ一人カ他ノ一人ヨリ價格ヲ受取り又ハ受取ルヘキニ因リ之ヲシテ其契約ヲ締結シタル以外ノ場所ニ於テ或ル時期ニ若干ノ金額ヲ受取ルヲ得セシムヘキヲ約スル合意ナリ例ヘハ巴里ノ銀行營業人ナル甲者之ニ若干ノ金額又ハ有價物ヲ交付シタル乙者ニ向ヒ倫敦ニ於テ千法ノ金額ヲ受取ラシムヘキヲ約スルカ如キ是レナリ右例示ノ場合ニ於テ若シ甲者約定ノ時期ニ至リ倫敦ニ滞在スヘキトハ自カラ約束ノ金額ヲ

拂渡スヲ得ヘシ斯ノ如クスルキハ則チ第三者ノ間入ナクシテ爲替契約ヲ執行スヘシト雖モ
 多クハ該銀行營業人ヨリ其倫敦ノ取引人ニ書狀ヲ送り其乙者ヲシテ受取ラシムヘキノ約務ヲ
 負フタル金額ヲ乙者ニ拂渡スヲ之ニ依頼スヘキナリ而シテ其書狀ヲ乙者ニ交付スルキハ之
 ナ稱シテ爲替手形ト云フ但該狀ニ後段ニ陳述スル法式ノ條件ヲ具有シ就中指圖ノ條款アル
 ナ要ス(原註)又銀行營業人ハ乙者ニ交付スルニ倫敦銀行營業人ニ仕向ル信用手形ヲ以テシ
 該銀行營業人ヲシテ若干ノ金額ヲ限リ乙者ニ立替ヲ爲スヲ得セシメ又ハ單ニ書狀ノ方法ニ
 於ケル銀行囑託狀ヲ以テシ乙者ヲシテ自カラ若干ノ金額ヲ受取ルヲ得セシムルヲ得ヘシ
 此等種々ノ場合ニ於テハ爲替手形ニ依ラス他ノ方法ヲ以テ爲替契約ノ執行アルモノナリ
 是ヲ以テ爲替契約ニハ二人ノ關係アルノミナリト雖モ爲替手形ニ付テハ少クモ三人ノ關係
 アルモノナリ

爲替手形ハ之ヲ義解シテ書狀ノ体裁ニ成リタル正式證券ニシテ作爲人之ニ依リ第三者ニ依
 賴スルニ其價額ヲ受取リ又ハ之ヲ受取ルヘキ約ヲ得タルヲ以テ書狀ノ作爲ヲ受ケタル者又
 ハ其讓受人ニ若干ノ金額ヲ他ノ場所ニ於テ拂フヘキヲ以テスルモノナリト云フヲ得ヘシ
 證券ノ作爲人ヲ稱シテ振出人ト云ヒ書狀ノ作爲ヲ受ケタル者ヲ稱シテ受取人(又時トシテ
 ナル)ハ利益享受人又ハ有價物給與者ト稱ス又拂渡ノ差圖ヲ受ケル者ヲ支拂人ト稱ス

右三人ノ管掌スル所更ラニ繁キ加ヘ他ノ名稱ヲ來スヲアリ且爲替手形ニハ此他ノ人ノ關涉
 スルヲアリ左レハ第三者ノ計算ノ爲メニ爲替手形ヲ差立ツルヲアリ此第三者ヲ稱シテ指圖
 人ト云ヒ振出人ヲ稱シテ計算ノ爲メノ振出人ト云フ受取人其爲替手形ヲ讓渡スルハ其裏書
 人トナリ讓受人ヲ稱シテ所持人ト云フ

支拂人其支拂ノ指圖即チ依頼ヲ承諾シタルキハ之ヲ稱シテ受諾人ト云フ
 又支拂人ノ拂渡サ、ルキ第三者ニ於テ拂渡スカ爲メ之ヲ指示シタルキハ之ヲ「ブソアソ」ニ受
 托人ノ義ト稱ス而シテ其拂渡サ第三者ノ住居ニ於テスヘキハ之ヲ住居拂渡人ト稱ス
 又第三者關涉シテ受諾又ハ拂渡スヲ得之ヲ稱シテ關涉ニ依レル受諾人又ハ關涉ニ依レル
 拂渡人ト云フ又第三者ハ爲替手形ニ其保證ノ旨ヲ記載シ保證人トナルヲ得之ヲ稱シテ保
 證ノ給與者ト云フ

第二問 ○爲替手形ハ二ケノ功用ニ様ノ用務アリ或ハ融通ノ具トナリ或ハ信用ノ手段トナルモノナ
 リ

第一 融通ノ具トシテハ爲替手形ハ一ノ場所ヨリ他ノ場所ヘ費用少ナクシテ危險ナク金
 額ヲ送致スルヲ得セシムルヲ是レナリ蓋シ爲替手形ハ金額運送ノ不便ト危險トチ
 避クルヲ得セシムルモノナリ

例へハ在巴里ノ甲者在里昂ノ乙者ニ千法ノ商品ヲ賣渡シタルニ在里昂ノ丙者亦在巴里ノ丁者ニ千圓ノ商品ヲ賣渡シタリトセン
巴里ノ甲者ハ其負債主タル里昂ノ乙者ニ當テ爲替手形ヲ振出シ之ヲ巴里ノ丁者ニ賣渡スヘシ而シテ丁者ハ其債主タル里昂ノ丙者ニ之ヲ送付シ丙者ハ乙者ヨリ其金額ヲ受取ルヘシ斯クノ如クスルキハ則チ金額ノ運送ヲ爲サスシテ二箇ノ負債消滅スヘキナリ

第二

信用ノ手段トシテハ爲替手形ハ一種ノ紙幣ヲ爲シ貨幣ノ如ク金額ノ辨濟又ハ貸借ヲ實行スルノ用ヲ爲スヲ得ヘキナリ

例へハ前段ニ掲ケタル場合ニ於テ甲者亦巴里又ハ倫敦ノ商人ヨリ商品ヲ買受ケタルキハ之ニ其負債主タル里昂ノ乙者ニ當テタル爲替手形ヲ辨濟トシテ交付スヘシ又若シ甲者直チニ金額ヲ得ント欲セハ銀行營業人ノ爲メニ其負債主タル乙者ニ當テ爲替手形ヲ振出シ以テ該營業人ヨリ金額ヲ收受スヘシ
二、兌換及ヒ兌換相場

第三回

前篇手形賣買世話人ノ事ヲ説クニ方リ兌換ニ二種アルヲ述ヘタリ

第一

貨幣(金銀)ノ兌換此兌換ヲ稱シテ手授又ハ現地ノ兌換ト云フ蓋シ之ヲ手授ト稱ス

ル所以ハ其手ヨリ手ニ貨幣ヲ交換シテ實行スルカ故ナリ又之ヲ現地ト稱スル所以ハ唯一同所ニ於テ實行スルカ故ナリ此現場兌換タル兌換商其間ニ居テ之ヲ行フモノナリ其相場ハ之ヲ切賃ト稱シテ手形賣買世話人ノ定ムル所ニシテ兌換セントスル佛國貨幣又ハ外國貨幣ノ二種同價ナルト彼此ノ價額ニ高下アルトニ從ヒ其相場均一、騰貴又ハ低落スト謂フ

第二

爲替手形即チ其取引ノ場所ニアラサル所ニ於テ拂渡スヘキ證券ノ兌換之ヲ稱シテ振出シ兌換ト云フ蓋シ其一ノ場所ニ金額ヲ拂込ミ他ノ場所ニ於テ之ヲ受取ルヘキカ故ナリ

此兌換タル他ノ場所ニ於テ拂フヘキ手形ト正金トヲ交換スルニ在リ此一市場ト他ノ市場トノ間ニ行ハル、兌換ハ法律上手形賣買世話人ノ行フヘキモノナレト概テ銀行營業人其間ニ居テ之ヲ取引ス其相場ハ所謂兌換相場ニシテ手形賣買世話人之ヲ定ム

兌換相場即チ一ノ場所ト他ノ場所トノ間ニ行ハル、兌換ノ平均時價ハ手形ト正金トノ價格相均シキト其過不及アルトニ從ヒ均一、騰貴又ハ低落スト云フ
此兌換相場ノ變動ヲ致スモノハ即需用ト供給トノ法ナリトス

若シ其時ニ方リ巴里ノ里昂ニ對シ負債アルコ其里昂ニ對シ債主權アルト同一ナルキハ巴里ヨリ里昂ニ振出シタル爲替手形ヲ望ム者ト里昂ヨリ巴里ニ振出シタル爲替手形ヲ望ム者ト相均シク均一相場ヲ以テ取引ヲ爲スヘキナリ之ニ反シ巴里ヨリ里昂ニ賣渡シタルコ里昂ヨリ巴里ニ賣渡シタルニ比シ更ラニ多キキハ巴里ヨリ里昂ニ振出シタル爲替一層多ク隨テ里昂ヨリ巴里ニ振出シタル爲替ヨリモ望人少ク爲メニ其相場巴里ニ低ク里昂ニ貴カルヘキナリ

兌換ハ同國內ノ兩都府間ニ行ハル、ト其國ヲ異ニスル兩都府間ニ行ハル、トニ從ヒ内國兌換又ハ外國兌換ノ差アリ

兌換相場ハ商品ト看做シタル爲替手形ト其代金タル正金トノ差ヲ指示スルモノナリ
兌換相場ハ概テ低廉ナルモノナリ而シテ二個ノ地方間ノ兌換相場ノ變動ヲ致ス重ナル原因ハ其賣買、輸出入、兩地方間ニ行ハレタル運輸ノ差又ハ其地方ノ一ニ於テ博覽會ノ開設ヲ爲シタルキノ如キ臨時外國品ノ夥多ナルニ在リ〔原註〕又此他証券ヲ支拂フヘキ地ニ於テ貨幣ノ價位低廉ナルヨリ兌換相場ニ影響スルコアリ例ヘハ伊太利ノ如キ紙幣アル國ニ於テハ爲替手形ハ一割二分乃至一割五分ノ損失ヲ來スコトヲ注意スヘシ〕

二、爲替手形其他商業手形ノ取引

第四節 爲替手形其他商業手形ハ通例銀行營業人ノ取引スル所トス

例ヘハ巴里ノ甲者里昂ノ乙者ニ信用ヲ以テ商品ヲ賣渡シタルニ乙者之ニ其辨濟トシテ其義務者タル馬耳塞ノ丙者ニ當テタル爲替手形ヲ交付シ又ハ買取代金ノ金額ニ付キ指圖書形ヲ作ルコアリ

然ルニ甲者期限前ニ金額ノ入用アルキハ銀行營業人ニ其爲替手形又ハ指圖書形ヲ讓渡シ以テ若干ノ現金ヲ受取ルヘシ

又甲者ハ其買主タル乙者ヨリ辨濟トシテ何等ノ証券ヲモ受取ラサルキト雖モ其里昂ノ義務者ニ當テタル爲替手形ヲ作り銀行營業人ニ此爲替ヲ讓渡スコトヲ得ヘシ

銀行營業人ハ甲者ニ手形面ニ記載ノ金額ヲ拂ヒ以テ其手形ヲ讓受クヘシ但シ其金額中左ノ金額ヲ扣除スルモノナリ

第一 取引ヨリ期限ニ至ルマテニ經過スヘキ時間ニ應シ証書面記載ノ金額ノ年六分ノ利息ニ當ル割引

第二 手数料是レ多クハ四分即チ百法ニ付二十五〔サンチーム〕ノ割合ヲ以テス

第三 其證書ヲ他ノ場所ニ於テ支拂フヘキキハ其爲替料
割引ハ貸借規則ヲ以テ支配スヘキモノナルカ將テ債主權ノ賣買又ハ讓渡ヲ以テ支配スヘキ

モノナルカ裁判例ニ依レハ割引立替ハ貸借規則ニ從フヘキモノトシ立替商ニ許スニ千八百七年九月三日ノ利息制限法ニ依循シ六分ノ利息ヲ得ルノミヲ以テセリ(原註若シ非商人割引立替ヲ求メタルハ六分ノ利息ヲ拂フヘキカ將タ五分ノ利息ヲ拂フニ止マルヘキカ論者多クハ(就中ラトー氏講義ニ於テ)千八百七年ノ利息制限法ハ原ト借主ヲ保護スルヲ趣旨トスルモノナリ故ニ其利息ノ六分ノ割ナルヘキカ將タ五分ノ割タルヘキカヲ定ムルハ借主ノ商人タルト否トニ因ルヘキナリト云ヘリ他ノ論者ハ裁判例ニ從ヒ立替商人ナレハ則チ六分ノ利息ヲ請求スルノ權アリト云ヘリ(ボアステル氏ノ説及ヒ千八百七十年一月十日ノ大審院棄却判決)然レハ立替人ニ許與スルニ證書面記載ノ金額ヨリ之ヲ扣除スルノ權ヲ以テセリ故ニ九十日ノ後拂渡スヘキ百法ノ手形ニ就テハ一法五十「サンチーム」ノ利息ヲ引キ去リ九十八法五十「サンチーム」ノミヲ拂フニ止マルヲ得是レ法律語ニ於テ内割引立替ト稱シ算術上外割引立替ト稱スル所ナリ

第五問 ○佛蘭西銀行ハ本世紀ノ初メニ於テ創設ニ係ル所ノ特權ヲ得タル無名會社ニシテ商業手形割引立替ヲ爲スヲ以テ其主タル職任トス其立替ノ利息ノ割合ハ概チ低廉ニシテ現時ニ在テハ之ヲ四分トナス然レハ三名ノ確實ナル署名アル手形ニアラサレハ兌換セズ銀行營業人及ヒ千八百四十八年ノ創設セル「コントワール、デスコント」兌換銀行ハ之ト異ナリ唯二名ノ署名ヲ有スル手形ノ兌換ヲ爲ス

第六問 佛蘭西銀行ハ左ノ數多ノ資本ヲ有ス

第一 其株式ノ資本、此資本タル國家ニ對スル年金權ヲ以テ積立テ置キ流通資本ニアラズシテ擔保資本タルモノナリ

第二 當坐預リ金、此預リ金ニ對シテハ利息ヲ拂ハサルモノトス

第三 所持人拂手形、此手形タル獨リ該銀行ノミ之ヲ發行スルノ特權アルモノニシテ閱覽ノ上所持人ニ支拂フヘキモノトス此手形ヲ銀行券ト稱シ英吉利銀行券ト異ニシ

テ商業上一般ニ授受スルニ拘ハラズ強令通用ノモノニアラズ(原註千八百四十八年三月十六日ヨリ千八百五十年八月七日ニ至ルマテ佛蘭西銀行券ノ通用ヲ強令セリ又千八百七十年ニ於テモ八月十二日ノ法律ヲ以テ強令通用ノ旨ヲ公布シダリ該法ハ現時尙ホ行ハル、所ナリ大審院ニ於テ決スル所ハ此法タル治安靜謐ヲ旨トスル法律ニシテ爾後ノ約束ヲ以テ之ヲ破フルコト能ハストナスニ在リ(千八百七十二年二月十一日ノ大審院破毀)銀行ハ立替ノ申込ヲ受ケタル手形ノ割引立替ヲ爲スカ爲メニ之ヲ用フ斯クノ如クシテ該銀行ハ期限拂ノ手形ニ代フルニ呈示ノ時支拂フヘキ即時拂ノ手形ヲ以テシ之ヲ流通セシムルモノナリ而シテ該銀行券タル其正金

準備高ノ三倍ニ等シキ金額タケ之ヲ發行スルヲ得ルモノト又此機能アルカ故ニ佛蘭西銀行ニテハ低廉ナル割引ヲ以テ立替ヲ爲スヲ得ルモノナリ

佛蘭西銀行ノ負債ハ左ノ目的ヲ有ス

第一 預リ金ノ返還

第二 正金ヲ以テ其發行シタル證券ヲ償還スルヲ(但シ強令通用ヲ爲サシムル場合ニ於テハ此例ニ在ラス)

此負債ノ辨濟ヲ擔保スルモノ第一ヲ其立替ヲ爲シテ尙ホ庫中ニ留置セル爲替手形トシ第二ヲ其動産ヲ抵當トシテ貸付シタル金額(證券立替金)トシ

第三ヲ株主ノ資本トス

千八百五十七年六月九日ノ法律ニテ佛蘭西銀行ノ依遵スヘキ規則ニ數多ノ改正ヲ加ヘタリ第一其特權ヲ三十年間(千八百九十七年十二月三十一日マテ)増展シタリ又其擔保ノ資本ヲ増加シ一億八千二百五十万法トシ十八万二千五百株ヲ以テ之ニ充テ一株ヲ一法トセリ又其佛國國債、佛國鐵道ノ株式及ヒ義務、巴里ノ府債ヲ抵當トシテ貸金ヲ爲スノ機能アリシヲ更テ擴張シ佛蘭西土地抵當銀行ヨリ發行シタル義務ヲ抵當トシテ貸金ヲ爲スヲ得ヘシトセリ又其最少額ノ切手ヲ五十法ニ下スヲ許シ(原註)千八百七十一年十二月二十九日ノ

法律ハ佛蘭西銀行券發行高ヲ二十八億法ニ増加シ其切手ヲ當テ千八百七十年ニ於テ二十五法及ヒ二十法ニ下シタルニ更テ二十法及ヒ五法ニ下スヲ許シタリ此小切手タル千八百七十年ノ戰鬪並ニ普魯西ニ償金ヲ拂フタル後ニ發行シタルモノニシテ現時將サニ消滅セントス)且其割引立替ノ利息及ヒ其貸金ノ利息ヲ六分以上ニ約定スルヲ許シタリ故ニ該銀行ハ千八百七十年ノ利息制限法ニ從ハサルモノトス

以上總論ヲ述ヘ了リタルヲ以テ以下法典ノ順序ニ從ヒ法文ヲ考究セン

第一節 爲替手形ノ體裁

爲替手形ノ體裁及ヒ條件ハ商法典第百十條及ヒ第百十一條ニ之ヲ定メリ

第七問 商法典第百十條ニ據ルニ「爲替手形ハ一ノ地方ヨリ他ノ一地方ニ向テ振出スモノトス、爲替手形ニハ其日附ヲ記シ辨濟スヘキ金額、辨濟ヲ行フヘキ者ノ氏名、辨濟ヲ行フヘキ時期及ヒ場所貨幣商品、勘定又ハ其他ノ方法ヲ以テ供給シタル價額ヲ掲載スヘシ、爲替手形ハ第三者ノ指圖ニ於ケルモノアリ振出人自身ノ指圖ニ於ケルモノアリ若シ爲替手形カ第一番第二番第三番第四番ノモノタルキハ手形面ニ此旨ヲ記載スヘシトナセリ」又同第百十一條ニ曰「爲替手形ハ或ル一人ニ當テ之ヲ振出シ而シテ第三者ノ住所ニ於テ拂渡スヲ得ヘシ爲替手形ハ第三者ノ指圖ニ因リ且計算ノ爲メニ振出コトヲ得」ト此等種々ノ記載ヲ解説スルニ

先チ爲替手形ノ通例ノ書式ヲ示サン蓋シ余輩カ解釋ヲ了解セシムルノ用ヲ爲スヘキナリ
例〜ハ甲者巴里ニ於テ乙者ノ商品ヲ買受ケ之カ爲メ里昂ノ丙者ニ爲替ヲ振出サント欲スル
キハ丙者ニ宛テ左ノ如キ書狀ヲ送ルヘシ
千八百七十五年四月一日巴里ニ於テ金額千法「來ル七月一日乙者ノ指圖ニ依リ此爲替手形
引換ヘニ商品ヲ以テ受取リタル價額一千法ノ金額ヲ御拂渡有之度候

甲

在里昂商人丙殿

爲替手形ノ體裁ハ之ヲ作りタル所ノ法律ニ從フヘク其拂渡ヲ爲スヘキ所ノ法律ニ從フヘキ
モノニアラス

爲替手形ハ概ネ私印証書ニ過キサルモノナリ然レモ署名スルヲ能ハサル者爲替手形ヲ以テ
義務ヲ負ハント欲シ又ハ書入質權ヲ附與セント欲スルキハ公證人ノ作りタル證書ヲ以テス
ルヲ必要トス

第八問 或ル記載ハ義務的トス蓋シ其爲替手形ノ有効ノ爲メ緊要ナルカ故ナリ其他ハ隨意的トス
一、義務的記載

爲替手形ハ左ノ諸件ヲ掲載スルヲ必要ス

第一 一ノ場所ニ金額ヲ拂込ニ他ノ場所ニ於テ受取ルヲ佛國法律ニ依ルニ爲替手形ハ一
ノ場所ヨリ他ノ場所ニ向ケ振出スヲ必要ス引出小切手ニ至テハ之ヲ要セサルヲハ
後ニ至テ陳明セン爲替手形ハ其作爲ノ場所及ヒ手形支拂ノ場所ヲ記載セサルヘカ
ス然レモ此二箇ノ場所ハ商法典第六百三十二條ノ語辭アルニ拘ハラス必スシモ市
場タルヲ必要セス

第二 手形ヲ作りタル日ノ日附、日附ハ手形作爲ノ時振出人ノ能力ヲ具有シタルヤ否ヤ
ヲ認識スルカ爲メ殊ニ分産ノ場合ニ於テ有用ナリ(商法典第四百四十三條、第四百四
十六條及ヒ第四百四十七條)又其手形ノ日附ヨリ若干ノ期限ヲ經テ支拂フヘキキ
其満期ノ時日ヲ確定シ又ハ閱覽ノ上又ハ閱覽ノ上若干ノ期限ノ後支拂フヘキ手形
ニ付テハ所持人三ヶ月内ニ出頭スヘキヲ以テ其期限ヲ起算スルカ爲メ有用ナリ又
ハ一ノ場所ニ金額ヲ拂込ニ他ノ場所ニ於テ之ヲ受取ルヘキモノナルヤ否ヤノ調査
及ヒ其必要ノ制裁タルカ爲メ有用ナリ

日附虛偽ノ證據ヲ舉グルニハ如何ナル方法ニテモ之ヲ用フルヲ得敢テ偽造ノ訴
ヲ起スニ及ハス何トナレハ爲替手形ハ正式ニ從ヒ作ルモノナリト雖モ私印證書ニ

過キスシテ公正ノ證書ニアラサレハナリ商法典第三百二十九條ニ指圖即チ裏書ノ日附チ事實ヨリ前ニ繰上クルヲ禁シ背クハ偽造ノ刑ニ處スト定ムルモ其手形其物ニハ適用セサルモノナルヲ後段ニ説明スヘシ

第三

辨濟スヘキ金額ノ記載、負債ノ目的物ハ必ス金額タルヲ要ス法律ハ其金額ヲ記載スルニ悉ク文字ヲ用フルヲ要セス數字ヲ以テスルヲ得ヘシトセリ然レハ概シテ金額ハ爲替手形ノ文中文字ヲ以テ之ヲ記載シ併セテ手形ノ首又ハ尾ニ數字ヲ以テ之ヲ記載スルヲ通例トス又如何ナル貨幣ヲ以テ辨濟スヘキモノナルカヲ指示シ(商法典第四百四十三條)又其利息ヲ生スヘキヲ約束スルヲ得(千八百六十八年二月五日大審院上告取調局判決)

又爲替手形ヲ作ル者自カラ全部ヲ書セサルハ振出人ハ縦合ヒ商人ニアラサルモ其署名ノ後ニ民法第一千二百二十六條ニ規定セル若干ノ金額ノ爲メ(ボン、エ、アプル、ウエー)ノ語ヲ附記スルニ及ハス蓋シ爲替手形ハ特別ノ證券ニシテ民法第一千二百二十六條ニ依循スヘキモノニアラサルナリ

第九問

第四

辨濟スヘキ者ノ氏名ノ指示、爲替手形ニハ少クモ三人ノ關係ヲナスヲ前ニ述ヘタル所ナリ三人トハ振出人受取人及ヒ支拂人即チ是レナリ

手形ノ辨濟ヲ命セラル、モノハ概チ支拂人ナリ而シテ決シテ振出人ナルヘカラス否スシテ甲者巴里ニ在テ乙者ニ里昂ニ於テ辨濟スヘキ約束ヲ結ヒタルハ爲替契約即チ一ノ場合ニ金額ヲ拂込ニ他ノ場所ニ於テ受取ル契約アリト雖ヒ所謂フル爲替手形ナルモノアラス且此手形タルヤ指圖手形ノ變體ナル住所拂手形ナリトス其性質ノ如キハ後段ニ講究スヘシ

支拂人ノ管掌スル所チ他ニ分擔スルモノアルヲアリ即チ支拂人ノ兩個ノ補員即チ受取人及ヒ住所拂人是レナリ

受取人トハ手形中ニ指示セラレタル第三者ニシテ支拂人ノ辨濟ヲ爲サ、ル代テ支拂フヘキ依頼ヲ受ケタル者ヲ謂フ一ニ之ヲ稱シテ「ブヅワント」云フ蓋シ其已ムヲ得サル場合ニ於テ支拂ヲ爲スカ爲メニ指示セラレタルカ故ナリ(商法典第七十三條)即チ支配人ノ補助タルモノナリ佛語「ブヅワント」ハ必要ノ義ナリ

住所拂人トハ其住所ニ於テ手形ヲ支拂フヘキ第三者ヲ謂フ(商法典第一百一條)英國ニ於テハ商人其居常取引ヲ爲ス銀行營業人ナシテ支拂ヲ爲サシムルヨリ住所拂

第十問

人ヲ定ムルヲ甚ダ多シト云フ

住所拂人ノ功用ハ左ノ場合ニ於テ之レ有ルヲ得ベシ

巴里ノ乙者里昂近傍ノ一小村落ニ若干ノ金額ヲ辨濟スヘキハ其平常取引スル巴里ノ銀行營業人ニ請ヒ該小村落ニ於テ支拂フヘキ爲替手形ヲ振出サシムヘシ巴里ノ銀行營業人甲者ハ其里昂ノ取引人ナル丙者ニ當テ爲替手形ヲ振出シ之ニ依頼スルニ其該小村落ニ關係アルヲ以テ第三者ノ住所ニ金額ヲ廻送スヘキヲ以テシ丙者ハ其手形ヲ受諾ノ爲メ呈示セラレタルキニ其第三者ヲ指定スルモノナリ

是レ商法典第百二十三條ニ規定セル場合ナリ
又里昂ノ負債主或ル日ウィールフランシユニ行キ金額ヲ受取ルヘキハ其巴里ノ債主甲者ニ請ヒ自己ニ當テウィールフランシユニ向ケ其訪フヘキ人ノ住居ニ於テ支拂フヘキ爲替手形ヲ振出サシムヘシ

又支拂人其受諾ノ時ニ手形ヲ支拂フヘキ銀行營業人ヲ指示スルヲ得(其受諾ヲ住所拂ニスル此慣習ハ英吉利ニ於テ大ヒニ行ハル、所ナリ)

第五

支拂ノ時期及ヒ場所辨濟ノ時期ハ以下ニ述フルカ如ク種々ノ方法ヲ以テ之ヲ定ムルヲ得蓋シ手形ハ閱覽ノ上定マリタル日市場又ハ日附若クハ閱覽ヨリ若干ノ期限ニ支拂フヘキモノトス

時期ノ指定ナキハ其手形タル最早爲替手形ニアラス單純ノ依頼ニ過キスシテ裁

判官ヨリ猶豫ノ期限ヲ與フルヲ得ヘシ

時期ハ精確ナルヲ必要トシテ未必條件又ハ不精確ナル時期ノ到着(例ヘハ某ノ死去ト云フカ如シ)ニ關セシムルヲ能ハス蓋シ爲替手形ノ信用ヲ鞏固ニシ之ヲシテ貨幣ノ代用ヲ爲サシムルニハ斯クノ如クナルヲ要スルモノナリ抑々爲替手形ノ所持人ハ期限ノ翌日拒ミ證書ヲ作ラサルヘカラス若シ之ヲ作ラサルハ裏書人ニ對シ又時トシテハ振出人ニ對シ其權ヲ失フヘキモノニシテ後段之ヲ説カン然ルニ其手形ノ不精確ナルキニ支拂フヘキモノナルキハ此義務ヲ履行スルヲ能ハサルヘシ辨濟ノ場所ハ通常支拂人ノ住所トナス然レモ手形ハ住所拂人ト稱シ仕拂人住所々在ノ地又ハ其他ノ地ニ居ル第三者ノ住所ニ於テ支拂フコアリ

第六

供給シタル價額ノ表告 爲替手形ニハ有價物ノ供給アリタルヲ並ニ其如何ノ物ルナリシカチ記載スルヲ要ス故ニ振出人ハ正金ヲ以テ受取リタル價額、商品ヲテ以受取リタル價額、計算ニ於ケル價額(又手数料又ハ周旋料トシテ渡スヘキ價額若クハ舊手形償還トシテ渡スヘキ價額ト言フヲ得ヘシ)ナル旨ヲ記述シ以テ其若干ノ金額ヲ支拂フヘキ義務ヲ負フルノ原因ヲ記載スヘキモノナリ然リ而シテ法律ニ此條件ヲ要シタルハ即チ民法第千三百三十二條ノ變例ヲ設ケタルモノナリ該條ニ曰約

東ハ其原因ヲ記述セサルモ無効ニアラスト此例タル法律ノ「計算ニ於ケル價額」ナル頗ル汎博ナル記載ヲ以テ足レリトシタルニ因リ愈々其當チ得ルモノトス蓋シ此語タル受取人カ爲替手形ノ金額ノ其計算ニ於テ振出人ニ對シ負擔スルヲ示スモノナリ且「此計算ニ於ケル價額」ノ語ハ眞ノ原因ヲ秘スルヲ得セシムルカ故ニ頗ル便利ナルモノナリ（原註）白耳義商法典ニ於テハ供給シタル價額ノ指示ヲ必要トスルヲ廢止シタリ

第十一問

第七

手形ヲ支拂フヘキノ指圖ヲ爲ス者ノ氏名手形ハ通例第三者ノ指圖ニ於テ支拂フヘキモノニ振出人ノ指圖ニ於テ支拂フハ例外ナリトス其第三者ノ指圖ニ於テ支拂フキハ受取人タル此第三者ノ氏名ヲ記載シ且指圖ノ約款即チ受取人ヲシテ裏書ヲ爲シ第三者タル所持人ニ手形ヲ讓渡スヲ得セシメ此第三者タル所持人ヨリ支拂人ニ支拂ヲ要求スルヲ得ヘキノ約款ヲ記載スルモノナリ例ヘハ甲者丙者ニ對シテ乙者又ハ其指圖ニ於テ支拂有リタシト曰フカ如シ又爲替手形ハ指名ノ人ニ支拂フヘク其指圖ニ於テ支拂フヘキモノニアラサルハ乃チ此爲替手形ハ爲替手形ト謂フヘカラス其所持人ニ支拂フヘキキ亦同シ是レ單ニ代理委任狀ニ過キスシテ指圖ニ於テ支拂フヘキノ約款ハ爲替手形ノ成立ニ緊切ナル條件アルモノナリ

爲替手形支拂ノ指圖ヲ爲スヘキ受取人ハ有價物ノ給與者タルヲ最モ多シトス例ヘハ里昂ノ乙者巴里ニ於テ其朋友ノ一人ニ其金額ノ領收ヲ依頼スルヲ得ベシ此友人ハ之ヲ受取リタル後巴里ノ銀行營業人甲者ニ乙者ヘ金額ノ渡方ヲ托シ銀行營業人ハ乙者ノ爲メニ其取引人ナル里昂ノ丙者ニ當テタル爲替手形ヲ振出スヘキナリ
○前段ニ言ヘル如ク爲替手形ハ振出人自身ノ指圖ニ於テ支拂フヘキモノトスルヲ得例ヘハ巴里ノ商人甲者其義務者タル里昂ノ乙者ニ向ヒ余ノ指圖ニ於テ余ニ屬スル一千法ノ金額ヲ支拂有リタシト云フヲ得ルカ如シ

抑モ斯クノ如キ手形ハ如何ナル功用アルカ何ヲ以テ甲者ハ其價額ヲ受取ルヲ待テ之ヲ作ラサルカ蓋シ甲者ノ名廣ク人ノ知ル所トナラス巴里ニ於テ信用アラサルカ故ニ其義務者タル里昂ノ丙者顯然タル資力ヲ有スルモ之ニ當テタル手形ノ割引前拂ヲ爲サント欲スル銀行營業人ヲ得ルヲ難カルヘシ此クノ如キ時ニ於テハ甲者其指圖ニ於テ支拂フヘキ手形ヲ作り之ヲ里昂ノ丙者ニ送り之ヲシテ其受諾ヲ爲サシメ且之ヲ自己ニ送還セシムヘシ斯クノ如クスルハ則チ巴里ノ銀行營業人タル乙者ニ宛テ裏書シ以テ容易ニ之レカ取引ヲナスヲ得ヘキナリ
又巴里ノ甲者ハ「ブル」ニ行キ商品ヲ買入レ其賣主ニ爲替手形ヲ以テ支拂ハント欲

スルキハ發途前其指圖ニ於テ支拂フヘキ爲替手形ヲ作り其平常取引ヲナス所ノ巴里ノ銀行營業人乙者ヲシテ之ヲ受諾署名セシメハ一ブルノ賣主ニ當テ斯クノ如ク受諾セラレ且銀行營業人ノ署名アルカ爲メ信用アル手形ノ裏書ヲナスヘシ〔原註〕受取人ノ氏名ハ之ヲ記セス空白ヲ存スルヲ得ヘキモ紛失ノ際頗ル危険アルヘシ何トナレハ之ヲ盜取シタル者證書ヲ偽造セスシテ空白ノ處ニ其氏名ヲ記入シ以テ之ヲ自己ノ有トスルヲ得ヘケレハナリ〕

夫レ斯クノ如ク振出人自身ノ指圖ニ於テ手形支拂フヘキ場合ニ於テハ其手形ハ完全ナル爲替手形タルヤ否ヤニ付キ疑問ヲ生セリ

塞納商事裁判所及ヒ數多ノ學者ノ採用シタル說ニ曰右ノ手形ハ爲替手形ナリ其故ハ商法典第百十條ニ爲替手形ハ振出人ノ指圖ニ於テ支拂フヲ得ト明ニ記載シアレハナリト又學說及ヒ裁判慣例千八百七十一年八月二日大審院棄却判決ニ於テ一般ニ取ル所ノ說ニ據レハ左ノ如ク決定セリ

第一 振出人ノ指圖ニ於ケル手形ハ裏書即チ受取人タル第三者ニ爲シタル讓渡ニ依ルニアラサレハ爲替手形トナラス何ントナレハ爲替手形ニハ三人ノ關涉ヲ要スルモノナレハナリ三人トハ振出人受取人及ヒ支拂人即チ是レナリ

第二

此場合ニ於テハ手形ヲ支拂フヘキ場所ニアラサレ他ノ場所ニ於テ裏書ヲ爲スヲ要ス何トナレハ此裏書ハ爲替手形ヲ成スヲ以テ一ノ場處ニ拂込ミ他ノ場處ニ於テ受取ルヘキノ條件ヲ實行スルモノハ此裏書ナレハナリ而シテ裏書ニハ之ヲ爲シタル場所ヲ記載シ並ニ供給シタル有價物ヲ指示セサルヘカラス何トナレハ手形中余ニ屬スル價額ト云フ語ヲ記載スルモ未ダ以テ足レリトナサレバナリ〔千八百七十年一月三十一日大審院棄却判決〔原註〕ラウウ氏ハ以爲ラク支拂人ニ於テ受諾スルキハ手形ハ完全ナリト〔駁論雜誌第二十八卷第四百八十一頁以下〕此振出人ノ指圖ニ於ケル手形ハ直ニ爲替手形トシテ完全ノモノナルヤ否ヤヲ知ルハ巨大ノ實益アルモノナリ何トナレハ若シ其作爲ノ時乃チ爲替手形ヲ成スルハ此手形ハ其性質商業手形ニシテ商事裁判所ノ管轄スル所タルヘケレハナリ〔又往時ハ民事禁錮ヲ來スルアルヘキモノナリ〕

例ヘハ甲者巴里ニ於テ里昂ノ丙者ニ當テ其指圖ニ於ケル手形ヲ振出シタルニ其後甲者里昂ニ在テ金額ノ入用ヲ生シ其友人乙者ヨリ若干ノ金額ヲ借入レ里昂ニ於テ丙者ニ當タル手形裏書ヲナシテ乙者ニ讓渡シタリ然ルニ丙者ヨリ支拂ヲ爲サ、ル所ハ甲者ニ金額ヲ貸與シタルヨリ民事上ノ債主トナリタル乙者ハ甲者ヲ商事裁判

所ニ召喚スルヲ得ルカ若シ此手形ニシテ一ノ場所ニ振出シ他ノ場所ニ於テ之ヲ支拂フノ一事ヲ以テ其作為ノ時ヨリ直ニ完全ナル爲替手形ナリトスルハ商業手形タルヲ以テ商事裁判所ニ之ヲ召喚スルヲ得ヘシ又若シ甲者ハ原ト純然タル民事、上ノ原因ノ爲メ里昂ニ於テ裏書ヲ爲シタルモノニシテ商業手形ヲ作りタルニアラサルカ故ニ此手形ハ之ヲ支拂フ可キ場所外ニ於テナシタル裏書ニ因ルニ非サレハ爲替手形タルヲ得スト決セハ商事裁判所ニ召喚スルヲ得ス

第八

振出人ノ署名商法典第百十條ニハ此事ヲ舉示セスト雖ヒ公証人ノ作りタル證書ヲ以テセサル以上ハ振出人ノ署名ヲ必要トスルヤ明カナリ

手形ノ振出人ハ通例自己ノ名義ヲ以テ自己ノ計算ノ爲メニ之ヲ振出スト雖ヒ支拂人ノ如ク其職掌ヲ分轄スルヲ得即チ振出人ニハ二ケノ補員アルヲ得代理人及仲買人即チ是レナリ代理人ハ委任者ノ姓名ヲ以テ手形ヲ振出シ自ラ義務ヲ負フヲナク委任者ヲシテ義務ヲ負ハシムル者ナリ蓋シ代理人ノ事ハ商法典ノ特ニ規定スル所ニアラス(民法典第千九百八十四條及ヒ商法典第九十二條)銀行營業人ハ其手代ニ代理ヲ命スルヲ往々之アリ

第十三間

仲買人ハ自己ノ名ヲ以テ任用者ノ指圖ニ依リ其計算ニ於テ手形ヲ振出スモノナリ(商法典第九十一條)之ヲ稱シテ計算ノ爲メノ振出人ト云ヒ任用者ヲ稱シテ指圖人ト云フ商法典第

百十一條ノ末項ニ此場合ヲ明ニ規定セリ

第四間

計算ノ爲メノ振出人ニ依頼スルノ利益ハ數多ノ場合ニ於テ之アリ左ニ其重ナルモノヲ指示セン

第一

買主ニシテ其賣主ノ信用ヲ受クヘキ知己ニアラサルハ之ニ受諾ヲ約スル銀行營業人ニ當テ手形ヲ振出スヘキノ指圖ヲ爲スヘキナリ
例ヘハ賣主甲買主乙ノ指圖ニ依リ其計算ノ爲メニ銀行營業人丙ニ當テ手形ヲ振出シ賣主ハ其手形ヲ割引商ポールノ利益ニ於テ取引ヲナスヘシ其手形ノ體裁ヲ左ニ示サン

千八百七十五年四月一日巴里ニ於テ「來ル六月一日現金ニテ受取リタル價額何法何「サマナム」ヲポールノ指圖ニ於テ御支拂相成乙者ノ負債ト御看做シ有之度候(原註)指圖人ハ手形面ニ其氏名ヲ表記セス唯支拂人ニ其取引人ノ一人ヲシテ之ニ當テ振出方ヲ委任スル旨ヲ通知スヘシ或ハ時宜ニ依リテハ手形面ニ持圖人ノ氏名ノ首字又ハ其他支拂人ト豫メ約定シタル標識ヲ指示スルニ止マルヘシ例ヘハ「アリミユス」ニ於テ「スコンデユス」ノ指圖ニ依リ其計算ニ於テ「テルシユス」ニ當テ手形ヲ振出スルハ其手形面ニ指圖ニ依リ且ツ計算ノ爲メニ又ハ「ス」ノ指圖ニ依リ且計

算ノ爲メ又ハ茲ニ例示セル場合ニ於テハ何法何「サンチーム」ノ金額ヲ支拂ヒ「ス」ノ負債ト御着做シ有之度ト書スヘナリ

プリミユス 手署

ハール銀行營業人テルシユス殿

斯クノ如ク計算ノ爲メノ振出人アル場合ハ實際ニ於テ少シトセサル所ナリ

第二 計算ノ爲メノ振出人ノ關涉ハ二个ノ負債ヲ消滅スル爲メ單簡ナル一手段ナリ例ヘハ巴里ノ甲者ヨリ里昂ノ乙者ニ商品ヲ賣渡シ乙者更ニ之ヲ馬耳塞ノ丙者ニ賣渡シタリ此場合ニ於テハ甲者乙者ニ手形ヲ振出シ乙者モ亦更ニ丙者ニ之ヲ振出スヲ得ヘキナリ然レヒ他ニ極メテ單簡ナル手段アリ即チ里昂ノ乙者巴里ノ甲者ニ其指圖ニ依リ其計算ノ爲メ馬耳塞ノ丙者ニ當テ手形ヲ振出スヘキヲ依賴スヘシ此際ニ於テ支拂丙者ヨリ手形ノ辨濟ヲ爲スルハ乙者ハ甲者ニ對シ其義務ヲ免カレ丙者ハ乙者ニ對シ其義務ヲ免カルヘシ

第三 計算ノ爲メノ振出人ニ依賴シ爲替相場ノ變動ニ付テ射利ヲ計ルヲ得例ヘハ巴里ヨリハンプールニ當テタル爲替相場低落シテ倫敦ヨリハンプールニ當テタル爲替相場騰貴シタルハハンプールニ於テ金額ヲ受取ルヘキ巴里ノ銀行營業人ハ其倫

敦ノ取引人ニ依賴シ自己ノ計算ノ爲メハンプールニ當テ手形ヲ振出サシムヘシ然ルルハ即チ巴里ノ銀行營業人ハ直接ニハンプールニ當テ手形ヲ振出スルハ損失ヲ被フルヘキヲ却テハンプールニ當テ倫敦ヨリ手形ヲ振出サシメタルヨリ利益ヲ收得スヘキナリ

計算ノ爲メノ振出人ハ其受取人及ヒ受取人ノ讓受人ニ對シテハ仲買人ナリ是ヲ以テ仲買人ハ此等ノ人ニ對シ自カラ義務ヲ負擔シ爲替手形ノ支拂ヲ擔保スルモノナリ然レヒ支拂人ニ對シテハ指圖人ノ代理者ナルカ故ニ支拂人指圖人ノ負債者タルヲナク準備ナクシテ支拂ヲ爲シタルハ即チ指圖人ノ事務ヲ幹旋シタルニ過キス之ニ對シテハ其償還ヲ求ムルヲ得ルノミ此事タル商法典第百十五條ニ記載シタル所ノモノヲ千八百十七年ノ法律ヲ以テ變更シタルニ因リ定マリタルモノナリ準備ノ事ヲ論定スルニ方リ複説スル所アルヘキナリ

二 隨意的記載

第十五問 隨意的ノ記載ハ關係人ノ自由ノ意思ニ放任スルモノトス其重ナルモノヲ舉ケレハ証券ノ數多ナルヲ無費用送り戻シノ約款通知ニ從フヘキ他ノ約款通知ナキ約款無擔保ノ約款ニ關スルモノトス

○ 證券數通ナルヲ

證券ノ數通ナル場合ハ商法典第百十條末文ニ之ヲ規定シタリ曰「若シ手形第一第二第三第四ノモノタルキハ其旨ヲ記載スヘシ」ト證券ヲ數通作ルハ固ヨリ隨意的ナリト雖モ其記載ハ義務的ナリトス蓋シ第三者ヲシテ此數通ノ證券カ唯一ノ手形ヲ代表スルノミニシテ數箇別異ノ手形ヲ表示スルモノニアラサルヲ知ラシムヘキカ故ナリ商法典第百四十七條ノ意ハ手形ニハ何番例ヘハ〔第二番〕ノ手形ニ據リ爲シタル辨濟ハ自餘例ヘハ第一番及ヒ第三番ノ効ヲ消滅スル旨ヲ記載スヘシトナスニ在リ
證券數通ノ巧用ハ左ノ如シ

第十六問

第一 殊ニ手形ノ遠隔ノ地ニ於テ支拂フヘキキ安全ノ點、如斯場合ニ於テハ數通ヲ送ルニ其送致ノ方法ヲ異ニス例ヘハ別異ナル船舶ニ托シテ之ヲ送致セシムルカ如シ斯クノ如クニシテ則チ手形ノ紛失又ハ延着ヲ防クヲ得ヘシ
第二 手形ノ取引ヲシテ容易ナラシムル簡便ノ點例ヘハ振出人ノ指圖ニ於テ其手形ヲ支拂フヘキキハ振出人ハ手形二通ヲ作り其一ヲ支拂人ニ送致シ以テ之ニ其受諾ヲ記入セシメ其一ハ機會アルヲ待チ取引ヲ爲サンカ爲メニ之ヲ保有スヘキナリ然リ而シテ受諾ヲ爲サシムルカ爲メニ作りタル證券ハ通例之ヲ支拂人住居ノ地ニ在ル第三者ニ送致シ之ニ依頼シテ支拂人ノ受諾ヲ求メシメ受諾セブレタル手形又ハ受諾ナ

キキハ其拒ミ證書ヲ曩キニ取引ヲナシタル手形ノ所持人ニ交付セシムルモノナリ故ニ取引アリタル手形ハ受諾セラレタル手形ヲ第三者ヨリ受取ルヲ得ルヲ認ムルノ證券タルニ過キサルナリ

○無費用送り戻シノ約款

第十七問

此約款タル實際ニ行ハル、ト勘シトセサル所ニシテ辨濟ヲ受ケサル所持人ヲシテ拒ミ證書ヲ作り其結果タル訴訟ノ所爲ヲ爲スヲ避ケシメ〔原註〕千八百五十三年六月六日大審院ノ判決ニハ無費用送り戻シノ約款ハ受諾ナキキ所持人ニ拒ミ證書ヲ作ルヲ禁スルモノニアラストセリ然レモ「ドマンシア」氏此說ヲ反擊セリ且之ヲシテ費用ナク手形ヲ其讓渡人ニ送り戻スノ義務ヲ負ハシムルモノナリ
振出人ハ其支拂フヘキ金額ノ寡少ナルカ又ハ其支拂人ノ支拂ヲ爲サヌ又ハ其自カラ期限ニ至リ準備ヲ爲サルヲ慮リ又ハ其手形ヲ當テタル義務者ヲシテ不平ヲ抱クヲナカラシメント欲スル場合ニ於テ費用ヲ省カン爲メ此約款ヲ記入スルモノナリ
裏書人モ亦其裏書ニ此約款ヲ記入スルヲ得而ノ所持人ハ之ニ對シ此記入ヲ守ルノ義務アルモノトス

第十八問

此無費用送り戻シノ約款カ商業手形ニ印紙ノ貼用ヲ命スルノ規則ニ背反スルノ手段トナル

トナ慮リ千八百五十年六月五日ノ法律第八條ヲ以テ証券中ニ於テスルト證券外ニ於テスルトナ問ハス無費用送り戻シノ記載即チ約束ハ若シ印紙ヲ貼用セス又ハ印紙ト認メラレサル手形ニ關スルモハ無効ナリトセリ

○通知ニ從フヘキ約款又ハ他ノ通知ナキノ約款

通知ニ從フヘキ約款トハ支拂人ニ於テ期限前ニ通知ノ日附並ニ金額及ヒ辨濟ノ時期ヲ告知スヘキ通知狀ヲ受取ルヲ謂フ他ノ通知ナキノ約款トハ支拂人ニ於テ受諾ヲ爲シ又支拂ヲ爲ス爲メ別ニ通知狀ヲ待ツニ及ハサルモノヲ謂フ

右第一ノ場合ニ於テハ通知狀ヲ受取ラズシテ支拂ヒタル支拂人又第二ノ場合ニ於テ支拂ヲ否拒スル所ノ支拂人ハ與ニ其責ニ任スヘキモノトス

○無擔保ノ約款

此約款ハ支拂ナキモ振出人ノ責ニ任セス而シテ所持人ハ振出人ヨリ準備金ヲ給與シタル支拂人ニ對シ取戻ヲ訴フル權アルニ止マルモノヲ謂フ此約款タル爲替手形ヲシテ其信用ヲ失ハシムルカ故ニ實際甚ク稀ナリトス

三爲替手形ノ單純ナル約定書ニ變スル場合

爲替手形有効ニ付テ法律上必要トシタル記載ニ關スル成規ハ遺漏又ハ假設ニ由テ違犯セラ

ルハトアルモシ

其遺漏ハ爲替手形ヲシテ不完全ナラシメ假設ハ之ヲシテ虛偽ナラシムルモノナリ法律ニ於テハ特ニ遺漏ノ瑕瑾ニ付テ制裁ヲ設ケスト雖モ爲替手形ニ必要ナル記載ニ遺漏アルモハ此正式証券ハ其性質ヲ失ヒ爲替手形トシテ其効アラサルヤ言テ俟スシテ明カナリ是ヲ以テ其証券ハ之ヲ作りタル原因如何ニ從ヒ商事上又ハ民事上タル通常ノ義務ヲ證明スルヲ得ルニ過キサルナリ

假設ノ瑕瑾ニ至テハ法律ニ於テ明ニ之ヲ規定シタリ即チ此場合ニ於テハ後段ニ述フル如ク商法典第百十二條ヲ以テ其手形ハ單純ナル約定書タルニ止マルトナセリ

然リ而シテ遺漏ト假設トノ間ニハ下ノ如キ差異ノ存スルアリ即チ遺漏ハ人目ニ觸ル、瑕瑾タルヲ以テ何人タルヲ問ハス手形ヲ徵スル者ニ對抗スルヲ得ヘキモノ之ニ反シ假設ハ人目ニ觸レサル瑕瑾タルヲ以テ善意ノ所持人ニ對抗スルヲ得ヘカラサルヲ是レナリ

法律ハ爲替手形ノ單純ナル豫定書タルニ止マルニケノ場合ヲ特ニ豫定セリ即チ

第一 假設ノ場合(商法典第百十二條)

第二 非商人タル婦又ハ女子ノ署名アル場合(商法典第百十三條)

○商法典第百十二條ニ據レハ總テ氏名、身分、住所又ハ手形ヲ振出シタル場所若クハ之ヲ支

拂フヘキ場所ノ仮設ヲ記シタル爲替手形ハ單純ナル約定書ト看做スヘシトセリ〔原註〕法律ニハ日附又ハ供給シタル價額ノ仮設ノ事ヲ記セス蓋シ此二个ノ點ニ付テノ虛偽ハ遺漏ト異ニシテ爲替手形ノ無効ヲ惹起スモノニアラサルナリ〕
仮設ヲ記スル手形ヲ以テ單純ナル約定書ト看做スヲヨリ爲替手形ニ屬スル特種ノ効ヲ生セサルナリ故ニ左ノ件々アリ〕

第一 此手形ハ其性質ヨリシテ商業ノ所爲ニアラス從テ非商人タル被告人ハ商事裁判所ニ召喚セラル、キハ民事裁判所ニ管轄替ヲ請求スルヲ得ベシ〔商法典第六百三十六條〕但手形面ニ商人ノ署名アルキハ此例ニアラサルナリ〔商法典第六百三十七條〕

第二 振出人ハ受取人ノ爲メニ支拂人ヲシテ受諾ヲ爲サシムルノ義務ナシ故ニ其受諾ナキモ保證人ヲ差出ス及ハサルナリ

此單純ナル約定書タルニ過キサル手形ヨリ生スヘキ効ニ至テハ全ク情狀ニ屬スルモノナリ若シ振出人ニシテ現實支拂ヲ爲スヘキモノナルキハ指圖手形ノ効アルヘク又其拂込ト支拂トノ場所異ナラサルキハ單純ナル委任狀ノ効アルヘシ又或ハ引出小切手ノ効ヲ有シ或ハ商事若クハ民事上ノ單純ナル義務ヲ組成スルニ止マルヲアルヘシ是レ連帶、所持人ノ失權、時

効並ニ民法典第一千二百二十六條ニ命シタル〔ボン、エ、アブル、ウエ〕記載ノ點ニ付キ差異アルヲ以テ重要ナリトスル所ナリ

○商法典第百十三條ノ法文ニ據レハ商人又ハ公ケノ商賈ニアラサル婦及ヒ女子ノ署名ハ之ニ對シ單純ナル約定書ノ効アルニ過キストナセリ

此條ニ商人タラサル婦及ヒ女子ト言ヘルハ其能力ヲ具有シタル者ナルヲ即チ既婚ノ婦ハ其夫ノ許可ヲ要スル場合ニ於テハ之ヲ受ケ又ハ女子丁年ニ達シタル場合ヲ見タルモノナルヤ勿論ナリ

此婦又ハ女子ハ適法ニ義務ヲ約シタルモノナレヒ其性ノ爲メニ享受スル特權ニ因リ爲替手形ノ嚴格ナル効ヲ受ケスシテ其義務ハ唯單純ナル約定書ノ効アルニ止マルモノナリ

此場合ニ於テハ其爲替手形タル少クモ指圖手形ノ効ヲ生シ從テ裏書及ヒ署名人ノ連帶ノ能的制規ノ時期ニ拒ミ證書ヲ作り及ヒ出訴スルヲチ懈怠アリタル所持人ノ失權ハ五年ノ時効ニ於テスヘキナリ

第二十問 然リ而シテ商人タラサル婦又ハ女子等ハ仮設ノ場合ニ於ケル如ク商事裁判所ノ管轄ヲ拒ミ民事裁判所ニ移送アラントチ請求シ得ヘキヤ否ヤニ付キ問題ヲ生セリ
一說ニ曰商法典第百十三條モ亦第百十二條ト同様ナル語辭ヲ用ヒ單純ナル約定書ト云フ語

ハ此二條共ニ同一ノ意義及ヒ區域ヲ有スヘク是故ニ商人ニアラサル婦又ハ女子商事裁判所ニ召喚セラレタルキハ仮設ノ場合ニ於ケルカ如ク其管轄替ヲ請求スルコトヲ得ヘシトドマンシ
イヤ氏ノ説ヲ大審院ニ取ル所ノ他ノ一説ニ於テハ左ノ如ク主張セリ

第一 商法典第六百三十六條ニ民事裁判所ニ管轄替ヲ請求スルコトヲ被告人ニ許可スルハ唯第百十二條即チ仮設ノ場合ヲ觀察シタルモノナリ

第二 婦女ノ署名ノ場合ニ於テハ商事裁判所ノ管轄ハ之ヲ否拒スルヲ得サルモノナリ何トナレハ婦女ノ署名ニ係ルモ其手形タル爲替手形ヲ成シ商業手形タルニ必要ナル諸元素ヲ具有スルモノナレハナリ(千八百六十九年四月二十一日大審院判決)而シテ商法典第百十三條ハ殊ニ婦女ヲシテ民事禁錮ヲ免カレシムルヲ以テ目的トナスモノナリ(ボアステル氏ノ説)

○商法典第百十三條ノ反對論法ニヨリ商人タル婦又ハ女子ニシテ爲替手形ニ署名シタルキハ總テ爲替手形ノ効ヲ蒙ル可キ結果ヲ生ス

又商人タル幼者ニ至テモ其商業ニ關スル所爲ニ付テハ之ヲ丁年者ト看做スノ原則ノ適用ニ因リ前段ニ述フル所ト同一ナリ(商法典第二條)

○男女ヲ問ハス商人タル幼者及ヒ既婚ノ婦ニシテ商人トラス且夫ノ許可ナキ者ニ就テ

ハ其商人タルコトヲ得ヘキモノト雖ヒ爲替手形ニ由ルモ其他ノ方法ニ由ルモ等シク能力ナク其作リタル爲替手形ハ之ニ對シ無効ニシテ單純ナル約定書ノ効ト雖ヒ猶ホ之ヲ有セサルナリ唯其利得ノ爲メニ用ヒタル丈ケノモノヲ負擔スヘシト云ヘル民法典第千三百十二條ヲ適用スヘシ

商法典第百十四條ノ決スル所ハ幼者ニ付テモ前文ト同一ニシテ禁治產者及ヒ裁判上ノ補佐人ヲ附セラレタル者ニ付テモ亦同一ナリト謂ハサルベカラス

第二節 準備

振出人ハ爲替手形ノ所持人ヲシテ其支拂ヲ受ケシムヘキノ義務ヲ負擔スルヲ以テ此義務ヲ履行スルノ方法ヲ支拂人ニ供與セサルヘカラス此方法ハ即チ準備ヲ爲スニ在リ

一 準備トハ何ソヤ

第二十二問

準備トハ廣博ノ意義ニ於テハ爲替手形ノ支拂ヲ豫備スルノ方法ヲ謂フ
凡ソ準備ハ或ハ支拂人ニ交付シタル金額或ハ支拂人ヲシテ辨濟ヲ受ケシムルカ爲メ之ニ交付シタル商業手形或ハ之ヲシテ賣却セシムルカ爲メ之ニ送致シタル商品又或ハ支拂人ノ負擔スル所ノ商品ノ賣渡代金或ハ之ニ對スル或ル債主權タルヲ以テ通例トス
商法典第百十六條ノ法文ニ曰若シ爲替手形ノ支拂期限ニ至リ其手形ヲ差立ラレタル者カ振

出。人。ニ。對。シ。又。ハ。自。己。ノ。計。算。ノ。為。メ。手。形。ヲ。振。出。サ。シ。メ。タ。ル。者。ニ。對。シ。少。ク。モ。為。替。手。形。ノ。金。高。ニ。等。シ。キ。金。額。ヲ。負。擔。ス。ル。キ。ハ。準。備。ア。リ。ト。ス。ト

二 準備ヲ爲スヘキ者ハ何人ナルヤ

第二十二問

支拂人ニ支拂ノ方法ヲ給與スヘキ者ハ之ニ支拂ヲ依頼スル者ナリ是ヲ以テ準備ヲ爲スヘキモノハ振出人タルヲ以テ原則トナス然レモ他人ノ計算ノ爲メ爲替手形ヲ振出シタルキハ其準備ヲ爲スヘキ者自己ノ計算ノ爲メニ手形ヲ振出サシメタル者即チ指圖人ニシテ計算ノ爲メノ振出人ニアラサルナリ

第二十三問

他人ノ計算ノ爲メニ手形ヲ振出シタル場合ニ於テハ準備ヲ爲スヘキ者指圖人ナリト雖モ亦計算ノ爲メノ振出人ハ唯裏書人及ヒ所持人ノミニ對シ自カラ義務ヲ負ハサルヘカラス唯裏書人及ヒ所持人ノミニ對シテト云フ語ハ千八百十七年三月十九日ノ法律ヲ以テ第百十五條ニ追加シタルモノニシテ依テ以テ控訴院ノ採用シタル論決ヲ採リ大審院ト控訴院トノ間ニ起リタル異論ヲ止息セシメタリ

第二十四問

此改定セラレタル商法典第百十五條ニ據レハ計算ノ爲メノ振出人ハ唯裏書人及ヒ所持人ニ對シテ義務ヲ負フニ過キサレハ支拂人ニ對シテハ義務ヲ負ハサルモノトス蓋シ支拂人ニ對シテハ計算ノ爲メノ振出人ハ指圖人ノ代理人ニ過キスシテ自カラ義務ヲ負フモノニアラス

其委任者ヲシテ之ヲ負ハシムルノミナリ是ヲ以テ支拂人準備ヲ享受セスシテ支拂ヲ爲シタルキハ其委任者タル指圖人ニ對シ認求ヲ爲スヲ得ルノミニシテ之ニ指圖人ノ委任ヲ傳ヘタルニ過キササル計算ノ爲メノ振出人ニ對シ認求スルヲ得サルナリ

然レモ計算ノ爲メノ振出人ハ裏書人及ヒ所持人ニ對シ義務ヲ負フモノナリ何トナレハ之ニ對シテハ仲買人ノ位置ヲ有シ自カラ義務ヲ負ヒ直接ニ其依頼人ヲシテ義務ヲ負ハシムルモノニアラサレハナリ蓋シ自己ノ爲メニ手形ノ振出アリタル受取人ハ其與ニ結約シタル計算ノ爲メノ振出人ニ信用ヲ措クモ指圖人ニ信用ヲ措カサレハナリ是ヲ以テ若シ支拂人ニ於テ支拂ヲ爲サ、ルキハ所持人及ヒ裏書人ハ計算ノ爲メノ振出人ニ對シ認求ヲ爲スヲ得ルモ指圖人ニ對シテハ其義務者タル計算ノ爲メノ振出人ノ權利ヲ行フヲ得ルノミナリ

三 準備ノ有無ヲ知ルノ利益

準備ノ存在スルト否トニ付テハ振出人又ハ指圖人ト支拂人トノ關係又ハ其所持人トノ關係上利益アルモノトス

第一 振出人又ハ指圖人ト支拂人トノ關係

準備アルキニシテ支拂人ヨリ支拂ヲ爲スニ於テハ振出人又ハ指圖人ニ對シテ償還要求ヲ爲スヲ得ス何トナレハ支拂人ハ其委任者ノ金額ヲ以テ其代理ヲ行フタルノミニシテ自己ノ金

額ヲ以テ支拂ヲナシタルコトアラサレハナリ若シ其支拂ヲ爲サ、ルキハ其代理ノ執行ヲ缺ク
モノニシテ振出人又ハ指圖人ニ對シ其責ニ任セラルヘカラス之ニ反シ準備アラサルコト支拂
人支拂フタルキハ其自己ニ屬スル金額ヲ以テ支拂ヲ爲シタルモノナレハ振出人又ハ指圖人
ニ對シ其立替金ノ返還ヲ請求スルコトヲ得又其支拂ヲ爲サ、ルモ振出人又ハ指圖人ニ對シ毫
モ責任ヲ負フコトナシ何トナレハ自己ノ金額ヲ以テ支拂フヘキコト明ニ約セサル以上ハ其義
務ヲ負フコトナケレハナリ〔原註〕或ハ支拂人ノ準備ヲ受取ラスシテ支拂フヘキ旨ヲ約スルコ
トアリ是レ銀行營業人カ一商人ニ信用貸ヲ爲スヘキヲ約シ自己ニ當テタル爲替手形ヲ支拂フ
ヘキノ義務ヲ負擔シタル如キ場合ニ於テ行ハル、所ナリ〕

第二 振出人又ハ指圖人ト所持人トノ關係

第二十五

支拂人手形ノ支拂ヲ爲サ、ルキハ所持人ハ支拂期日ノ翌日拒ミ證書ヲ作り十五日ノ期限ニ
於テ爲ス招喚狀ト共ニ諸署名人ニ通知スヘシ若シ所持人之ヲ怠リタルキ即チ右ノ法式ヲ履
行セサルキハ準備ノ有無ヲ問ハス何レノ場合ニ於テモ裏書人ニ對シ其權ヲ失フヘシ之ニ反
シ振出人又ハ指圖人ニ對シテハ支拂人ノ準備ヲ有シタルキニアラサレハ其權ヲ失フモノニ
アラス〔商法典第百六十八條及第百七十條〕
右ノ決定ハ之ヲ証明スルコト容易ナリ蓋シ準備ノ存スルキハ爲替手形ノ金額ヲ受取リタル所

ノ振出人又ハ指圖人ハ嘗テ其對價ヲ供給シタルモノナレハ敢テ原因ナクシテ之ヲ受取リタ
ルモノニアラス故ニ所持人其懈怠ノ結果ヲ被ルヘキヤ固ヨリ至當ナリ之ニ反シテ準備ナキ
キハ振出人又ハ指圖人ハ原因ナクシテ爲替手形ノ金額ヲ受取リタルモノナレハ所持人縱令
ヒ懈怠ナリシニモセヨ之ニ損害ヲ加ヘテ以テ己チ利ス可カラス

四 準備ノ證據

準備ノ有無知ルノ利益アルニ因リ立法者ハ準備ノ證據ヲ規定スルヲ要スト思考シ第百十七
條ノ法則ヲ設ケタリ曰受諾ハ爲替金ノ準備ヲ推測スルモノトス○受諾ハ裏書人ニ對シテ準
備ノ證據ヲ爲スモノトス○受諾ノ有無ヲ問ハス振出人ノミニ限リ其排斥ノ場合ニ於テハ爲
替手形ヲ差立ラレタル者支拂期限ニ於テ準備ヲ有シタルコトヲ証セサルヘカラス否サレハ假
令ヒ成規ノ期限ニ拒ミ證書ヲ作りタルキト雖ヒ其手形ヲ擔保スヘキモノトス

本條ハ數多ノ難問及ヒ種々ノ解釋ヲ來セリ蓋シ振出人又ハ指圖人ハ準備ヲ爲スノ義務アル
ヲ以テ其義務ノ執行ヲ證明スルノ責アリ隨テ準備アル旨ヲ證明スルノ責アルヤ確乎トシテ
動カス可ラサルノ法則ナリ是レ商法典第百十七條ノ末項ニ明言スル所ナリ若シ振出人〔又
ハ指圖人〕此證據ヲ舉ケサルキハ縱令ヒ所持人ニ於テ懈怠アルキト雖ヒ猶ホ之ニ對シ其責
ニ任セサルヘカラス何トナレハ原因ナクシテ爲替手形ノ金額ヲ受取リ所持人ニ損害ヲ加ヘ

テ已ノ利得トスルヲ能ハサレハナリ支拂人カ受諾シタルノ事實ハ之ヲシテ右ノ証據ヲ舉グ
ルノ責ヲ免カレシムルヲ能ハス蓋シ受取人即チ其最終ノ讓受人タル所持人ハ振出人ト支拂
人トノ間ニ存スル關係ニ干涉スヘキモノニアラサルナリ〔商法典第百七十條〕

其レ然リ而シテ商法典第百十七條ノ第一項ニ據レハ受諾ハ準備ヲ推測ストナスト雖此法則
タルヤ一般ノ論定ニ據ルニ振出人ト支拂人トノ關係ニノミ適用スヘキモノニシテ振出人ト
所持人トノ關係ニ適用スヘキモノニアラサルナリ蓋シ其意支拂人ノ受諾ハ其準備アルヲ推
測セシムルモノナレハ若シ支拂人支拂ヲ爲シタル後振出人又ハ指圖人ニ對シ其返還ヲ求メ
ント欲スルキハ之ニ對シ存スル所ノ推測ヲ破フリ其準備ヲ受取ラスシテ支拂ヲナシタル旨
ヲ證明セサルヘカラスト云フニ在リ

第二十六
問

商法典第百十七條ノ第二項ニ於テハ受諾ハ裏書人ニ對シ準備ノ證據ヲ爲スモノトストナセ
是レ同第百六十條乃至第百七十條ニ對照スルキハ實ニ了解シ難キ法文ナリ蓋シ裏書人ハ所
持人トノ關係ニ於テハ所持人懈怠ナリシ一事ニ因リ其義務ヲ免カレ同第百六十八條末文又
相互間ノ關係ニ於テハ讓渡人其讓受人タル者ノ懈怠ナリシ一事ニ因リ之ニ對シ其義務ヲ免
カレ〔同第百六十九條〕又其振出人〔又ハ指圖人〕トノ關係ニ於テハ振出人カ自己ニ對シ恰モ所
持人ニ對スルカ如ク準備アリタル旨ヲ證明シタルキニアラサレハ自己ノ懈怠ノ責ヲ被ル

ナシ〔同第百七十條〕是ニ由テ之ヲ觀レハ裏書人ハ決シテ準備存在ノ證據ヲ舉グルニ及ハス
隨テ之ニ其證據ヲ舉グルノ手段ヲ與ヘ而シテ之ニ因テ支拂人ノ受諾ヨリ該手段ヲ生セシム
ルハ無益ノ舉ト謂フヘキナリ

右ノ評タル甚ダ至當ニシテ商法典第百十七條第二項ノ駁論ハ頗ル其當ヲ得タルモノナリ然
レ此條項ノ編纂ハ沿革上解説スルヲ得ルモノナリ請フ之ヲ左ニ陳明セン

千六百七十三年ノ勅令ニ據レハ裏書人モ亦振出人ト同シク爲替金ノ準備ヲ證明セサル可カ
ラサリキ

ボチエー氏ハ其著書中爲替契約篇中ニ説ク所ハ較々裏書人ニ利益アリテ支拂人ノ受諾ハ之
ヲシテ準備アル旨ヲ證明スルノ責ヲ免カレシムルモノトナセリ其理由ハ該受諾ハ裏書人ノ
爲メニ準備アルノ證據ナリトナスニ在リ商法典ノ編纂者ハ當初其第百十七條第二項ニボチ
エー氏ノ意見ヲ掲出セリ然レ此同第百六十八條乃至第百七十條ニ至リ受諾ノ有無ヲ問ハス
裏書人ハ所持人〔同第百六十八條〕又ハ其讓受人〔同第百六十九條〕ノ懈怠ナル一事ヲ以テ義務
ヲ免ガル、モノト定メタリ而シテ此法則ト第百十七條トチシテ抵觸セサラシメンカ爲メ該條
ノ第三項ヲ改メ振出人ノミ獨リ受諾ノ有無ニ拘ハラズ準備ヲ證明スルノ義務アリトナシ其
用ナキ第二項ヲ削除スルヲ遺忘シタリ

其レ然リ而ノ第六十八條乃至第七十條ニ於テ裏書人ノ位置ヲシテ振出人ノ位置ト同様ナラシメサルハ固ヨリ至當トナスナリ蓋シ裏書人ハ爲替手形ヲ讓渡ス前已ニ其讓渡人ニ手形ノ價額ヲ給付シタルモノナレハ所持人ト同シク保護ヲ受クヘキナリ故ニ解怠ナル所持人ハ之ニ對スル償還ヲ要求スルノ權ヲ失ヒ其解怠ノ責ヲ免カルヘキハ當然ナリ之ニ反シ振出人ハ爲替手形ヲ作ルニ方リ毫モ給付スル所ナクシテ手形ノ價額ヲ受取リタルモノナリ故ニ若シ其受取リタル所ノ對價ヲ供給シテ支拂期限ニ至リ準備ヲ爲シタル旨ヲ解怠ナル所持人ニ向ヒ証明スルノ責ナシトセハ手形ノ金額ヲ原因ナク受取リ所持人ニ損害ヲ加ヘ己ノ利得ト爲シテ所持人ノ解怠ニ付キ利ヲ射ルニ外ナラサルヘシ

五 準備ノ所有權

準備ノ所有權ハ何人ニ屬スルカト云フ問題ハ二个ノ相異ナル場合ニ於テ利益アルモノナリ二ケノ場合トハ即チ振出人分散ノ場合及ヒ支拂人分散ノ場合はレナリ

○第一ノ場合

振出人準備ヲ爲シタル後ニ分散ニ陥リタル場合ニ於テハ準備ノ目的物タル有價物ハ振出人ノ分散管財人ヨリ取戻スヲ得ヘキヤ將タ手形所持人ノ所有タルヘキヤ又ハ少クモ手形所持人特占ノ引當タルヘキヤ

第一ニ若シ支拂人カ爲替手形ヲ受諾シタリトセハ之ニ準備ヲ奪フヲ能ハサルヤ毫モ疑フ所ナシ何トナレハ支拂人ノ受諾シタルハ專ラ其支拂ヲ爲スノ方法ヲ有セシニ因レハナリ故ニ其義務ノ辨濟ニ供シタル準備ハ之ニ奪フヘカラス此準備ハ殆ント其抵當ト一般ニシテ支拂人ハ其約束ニ違ハサルカ爲メ之ヲ恃ミタルモノナリ

然レモ若シ支拂人受諾ヲ爲サハリシキハ手形ノ所持人ハ準備ヲ特占スルノ權利アリヤ將タ唯々分散シタル振出人ノ債主ト相抗競セサル可ラサルカ

此問題ハ難問中ノ一二居ルモノナリ

一説ニ曰準備ハ振出人ノ所有ナリト而シテ其理由トスル所ヲ觀ルニ振出人ハ受取人ニ對シテ應爲ノ義務即チ支拂人ヲシテ若干ノ金額ヲ之ニ支拂ハシムルノ義務ヲ締結シタルニ過キス準備ハ約束物件ニアラスシテ唯約定實行ノ方法即チ支拂人カ振出人ヨリ委任ヲ受ケタル代理ヲ執行スル爲メ該支拂人ニ與ヘタル手段ニ過キス爲替手形ノ辨濟ニ供シタル金額ハ支拂人ノ受諾セサル間ハ振出人ノ所有ナリ加之ナラス其準備ハ支拂期限ニ至ラサレハ存セサルコトアルヘシ所持人カ振出人ノ債主ヲ排シ準備ヲ以テ自己ノ辨濟ヲ受ケンヲ要求スルコトハ更ニ法律ニ之ヲ認定スルノ明條ナキ特權ヲ得ント欲スルモノナリトナスニ在リ(此説タル數多ノ法律家ノ唱道スル所ニシテ諸外國法典ノ過半ハ之ヲ採用セリ)

他ノ一説ニ曰所持人ハ準備ヲ特占スル權利アリト而シテ其理由トスル所ヲ觀ルニ振出人ハ爲替手形ヲ作ルニ方リ現ニ存在シ又ハ期限ニ至リ存スヘキ準備ヲ所持人ニ陰然ニ讓渡シタルモノナリ振出人カ支拂人ニ支拂フヘキ指圖ヲ爲シタルキニ方リテハ其現時又ハ將來ニ於テ未定ノ義務者タル支拂人ニ對スル自己ノ權利ヲ所持人ニ移轉セント欲シタルモノナリ其準備ハ之ヲ支拂ノ擔保ト看做シ支拂人ハ交付シタル一種ノ抵當ニシテ支拂人ハ所持人ヨリ其手放ノ禁ヲ受クルヲアルカ故ニ所持人ニ代リ之ヲ握持スルモノナリ且商法典第四百九條ハ此説ヲ維持スルニ頗ル力アル論據ヲ供セリ蓋シ該條ノ法文ニ於テ爲替手形ノ支拂ニ故障ヲ申立ツルヲ得ルハ手形ノ紛失又ハ所持人分散ノ場合ニ限ルトナセリ是ニ由テ之ヲ觀レハ振出人分散ノ場合ニ於テハ故障ヲ申立ツルヲ得サルモノナリ而ルニ若シ分散シタル振出人ノ債主ヲシテ準備ノ分配ヲ要求スルヲ得セシメハ即チ間接ニ故障ヲ申立ツルヲ許スニ外ナラサルナリトスルニ在リ

此説ハ爲替手形ノ信用ヲ鞏固ナラシムルモノニシテ大審院(千八百七十三年八月二日破毀裁決)及ヒ數多ノ學者ノ採用シタル所ノモノナリ(就中ブラバルド氏ノ著書商法中ドマンシヤー氏ノ註ヲ看ルヘシ)千八百七十二二年ノ白耳義法亦之ヲ採用セリ
此第二説ニ據レハ左ノ數多ノ結果ヲ生スベシ

第一 手形ノ所持人ハ分散シタル振出人ノ債主ト共ニ準備ヲ分配スルニ及ハス該債主ハ

支拂人ニ向ヒ支拂差留ヲ爲スヲ能ハス所持人ノ單純ナル禁止ハ以テ支拂人ノ準備ノ手放ヲナスヲ防止スルニ足ルベシ(千八百五十八年六月一日大審院破毀判決)

第二 例ヘハ賣買ノ代金ナル準備ノ目的物ノ義務者ニシテ振出人ノ權利者タル支拂人ハ其準備カ特別ニ爲替手形支拂ノ用ニ供セラレタル以上ハ所持人ニ相殺ヲ申立テ對抗ヲナスヲ得ス

第三 數多ノ爲替手形ヲ振出し準備ノ不足スル場合ニ於テハ諸手形ノ所持人ハ日附ノ順序ニ從ヒ支拂ヲ受ケ共ニ抗競スルモノニアラス

○第二ノ場合

支拂人準備ヲ受取りタル後分散シタル場合ニ於テハ所持人ハ準備ヲ特占スルノ權利アルカ將テ支拂人ノ債主相抗競セサルヘカラサカ此問題ニ付テハ左ノ區別ヲ爲スヲ必要トス

若シ其準備ノ目的物商品ニシテ賣却スル爲メ支拂人ニ送附シタルモ尙ホ現物ノ儘存スルカ又ハ其收受ノ爲メ商業手形ヲ交付シタルモ尙ホ現物ノ儘ニテ分散人ノ囊底ニ存スルキハ其準備ハ分散人ノ資産中ニ入ルモノアラサレハ分散人ノ債主ハ其所有者タル所持人ト相抗競スルヲ得ス所持人ハ之レカ取戻ヲナスノ權利ヲ有ス

ルモノトス〔商法典第五百七十四條第五百七十五條〕

若シ之ニ反シテ其準備タル振出人ニ對スル支拂人ノ負債ナルキ例ヘハ支拂人既ニ賣却ノ爲メニ送付ヲ受ケタル商品ノ代金ヲ受取リ又ハ支拂ヲ受クヘキヲ任セラレタル證券ノ金額ヲ受取リタルキハ分散シタル支拂人ノ債主ハ單純ナル債主ニ過キサル所持人ト相抗競スヘキナリ

第三節 受諾

受諾トハ支拂人カ爲替手形ノ金額ヲ拂渡スヘキ一身上ノ約務ヲ謂フ第三者モ亦支拂人受諾ヲ拒シ拒ミ證書ヲ以テ之ヲ證明シタル後關涉ニ依テ受諾ヲ爲スヲ得ルコトハ次節ニ至リ之ヲ述フ可シ

振出人及ヒ裏書人ハ支拂ヲ擔保スルト同シク連帶シテ受諾ヲ擔保スルモノナリ〔商法典第百十八條〕振出人ニ於テ其爲替手形受諾スヘキモノニアラサル旨ヲ約シタルキノ外受諾ヲ請求スルハ所持人ノ權利トナス〔原註振出人其手形ノ受諾スヘキモノニアラサル旨ヲ約スルハ支拂期限ニ至リ準備ヲ爲サ、ルコトヲ慮リ受諾ナキキ拒ミ證書ノ費用ヲ省クカ爲メニスルモノナリ〕○裁判慣例ニ據レハ受諾ヲ爲スヘキモノニアラサルノ記載ハ振出人ノ意所持人ニ準備ノ所有權ヲ移轉セサルニ在ルコトヲ示スナリ故ニ振出人同一ノ支拂人ニ當テ二個ノ爲替

第二十八問

手形ヲ振出シタルキ第一ノ手形ニ受諾スヘキモノニアラサル旨ヲ記載シ第二ノ手形ニ此記載ナキキハ第二ノ所持人第一ノ所持人ニ先チ準備ヲ得ルノ權アリトス千八百五十七年三月二日大審院判決及ヒ千八百五十五年四月十八日ノニーム控訴院判決

然レ此權利タル手形所持人ノ爲メニハ一般ニ純然タル權能ナリ唯左ノ場合ニ於テノミ例外トシテ受諾ヲ要求スルノ義務アリトス

第一 振出人ヨリ之ヲ求メタルキ振出人ハ若干ノ期限内ニ支拂人ヨリ其義務者タル旨ヲ自認シタルヤ否ヤヲ知ルノ利益ヲ有スルコトアリ

第二 手形ノ閱覽後或ル期限ニ至リ支拂フヘキモノナルキ此場合ニ於テハ後ニ至リ陳述スル如ク通常三ヶ月ノ期限内ニ手形ヲ呈示スヘキモノトス〔商法典第百六十條〕而シテ其支拂期限ハ手形呈示ノ日ヨリ起算スルモノナリ尤モ此場合ニ於テ所持人ノ要求スヘキモノハ受諾ト謂ハンヨリモ寧ロ檢閲ト謂フシ

第三 住所人ト稱スル第三者ノ住所ニ於テ其手形ヲ支拂フヘキキ〔商法典第百二十三條〕此場合ニ於テハ所持人ヨリ支拂人ニ手形ヲ呈示シ以テ支拂人ヲシテ之ニ其手形ヲ支拂フヘキ住所ヲ指示セシムヘシ

其手形閱覽拂ナルキハ受諾ヲ請求スルノ權ハ辨濟ヲ請求スルノ權ト混交同一スヘシ

一 受諾ノ法式

受諾ハ手形呈示ノ上支拂人ノ住所ニ於テ之ヲ請求スヘキモノトス支拂人ハ遅クモ其呈示ヨリ二十四時間内ニ受諾ヲナスヘク且事宜ニ依リテハ手形ノ受取書ヲ與フヘキモノトス右二十四時間ヲ経過スルモ其手形ヲ受諾シ又ハ否拒シテ返還ヲナサ、ルモハ之ヲ留置キタル者所持人ニ對シ損害賠償ノ責ヲ負フ可シ〔商法典第二百二十五條〕

爲替手形ノ受諾ハ之ニ署名シ受諾ノ字ヲ以テ之ヲ示スヘシ法律ニ於テハ手形ノ閱覽拂ナル場合ニ於テノミ日附ヲ要セリ是レ則チ此場合ニ於テハ其支拂期限起算ノ點タルヘケレハナリ若シ此場合ニ於テ日附ナキモハ手形ノ日附ヨリ起算シテ手形面ニ記載セル期限ニ至リ支拂ヲ請求スルヲ得ルモノトス〔商法典第二百二十二條〕

第二十九問

茲ニ論議一定セサル問題アリ即チ受諾ハ別證書ニテ之ヲ爲スヲ得ルカ將タ手形面ニ爲スヲ必要トスルカノ疑問是ナリ

一說ニ曰受諾ハ別書就中信書中ニ之ヲ爲スヲ得ヘシ蓋シ法律ニ於テハ明カニ爲替手形面ニ受諾ヲ爲スヲ必要ナリトセス彼ノ保證ノ如キ別書ヲ以テ之ヲ約スルヲ得ルモノニシテ第四百二十二條受諾ニ於ケルモ亦同一ナルヘシト〔此節ハ大審院ニ於テ千八百六十二年五月十四日千八百六十二年六月三十日千八百六十三年三月十一日判決ニ採用セシ所ナリ又ラタウ

及ボアステル兩氏モ此說ニ從ヘリ

他ノ一說ニ曰〔商法典第二百二十二條ニ受諾ハ手形面ニ之ヲ爲スヘキモノトナセリ蓋シ本條ニ於テハ受諾ハ之ニ署名シ而シテ受諾ノ文字ヲ以テ之ヲ示スヘシト云ヘリ而ルニ斯クノ如ク單簡ニ受諾ト記載シ支拂人ノ署名ヲ之ニ附スルハ信書中ニ爲シ得ヘキ所ニアラス彼ノ保證ヲ約スルニ別紙ヲ以テスルヲ得ルハ法律ニ之ヲ明言シ且ツ署名人中保證ノ保證ヲ受クルニ因リ世上ニ信用ヲ失ハントナ恐レ自己ノ利益ノ爲メ其保證ヲ手形面ニ記載セサルヲ望ムヲアルヘキナリト〔ブラバール及「ドコンシア」二氏ノ說〕

二 受諾ノ効

第三十問 支拂人ノ受諾ノ効ハ左ノ如シ

第一 支拂人ナシテ所持人ノ主タル直接ノ義務者タラシムルコト古語ニ曰ク「受諾スル者支拂フノ義務アリ」ト

第二 支拂人ナシテ所持人ノ懈怠ヲ申立ツルコトヲ得セシメス且之ニ對シ五年ノ時効ニ依ルニアラサレハ義務ヲ免カレシメサルコト

第三 前ニ陳述シタル如ク其振出人ノ關係ニ於テハ準備ヲ受取リタルコトヲ推測セシムルコト〔商法典第一百七條第一項〕

加フルニ前文ニ述ヘタル如ク受諾ハ所持人ナシテ準備ヲ得ルノ權ヲ享受セシムルカ故ニ之ヲ奪ヒ以テ所持人ニ損失ヲ及ホスヘカラス又受諾若クハ單純ノ檢閱ハ閱覽拂ノ期限ノ起算ノ點ナルモノナリ

○支拂人ハ其受諾ヲ爲ス前其知ラサル間ニ振出人分散シタルキト雖モ其受諾ヲ取消ス可能ハス〔商法典第百二十一條〕然レモ若シ不能力又ハ暴行ニ因リ受諾シタルキハ之ヲ取消ス可ト得ヘキヤ明カナリ

若シ詐欺ニ罹リ受諾ヲ爲シタルキハ支拂人其詐欺ノ本人ニ對シテ受諾ヲ取消ス可ト得ルモ善意ノ第三者ニ對シテ之ヲ取消ス可能ハサルモノトス

三 受諾ノ拒絕

左ノ場合ニ於テハ支拂人受諾ノ否拒ヲ爲シタルモノトス

支拂人單純ニ否拒スルキ又ハ條件ヲ設ケ就中所持人ニ對シ相殺ヲ申立ル權ヲ保有シテ受諾シタルキ〔商法典第百十九條及第百二十四條第一項〕

第三十一 問

右二個ノ場合ニ於テハ所持人ハ受諾ナキ拒ミ證書ヲ以テ其否拒ヲ證明セシムヘシ
受諾ナキ拒ミ證書ノ送達ヲ受ケタルキハ裏書人及ヒ振出人ハ期限ニ至リ手形ノ支拂ヲ確保スルカ爲メ保証人ヲ立テ又ハ拒ミ證書及ヒ返シ爲替ノ費用ト供ニ手形ノ償還ヲ實行スルノ

義務ヲ相共ニ負擔スルモノトス保証人ハ其保証セラレタル者ト連帶スルニ止マルモノナリ

〔商法典第百二十條〕

相共ノ語ノ意義ハ保証人ヲ立テ又ハ償還ヲ爲シタル各署名人更ニ其讓渡人ニ要求スルニ保証人ヲ立テ又ハ償還ヲ爲スヘキヲ以テスルヲ示スモノナリ〔原註〕受諾スヘカラサル約款ノ目的ハ則チ拒ミ證書ノ費用及ヒ此等種々ノ訟求ヲ省察スルニ在リ

受諾ハ受諾シタル金額ヲ限り之ヲ爲ス可ト得此場合ニ於テハ所持人ハ殘額ニ付キ其爲替手形ノ拒ミ證書ヲ作ラシムヘシ〔商法典第百二十四條〕

第四節 關涉ニ依ル受諾

關涉ニ依ル受諾トハ支拂人カ受諾スルヲ否拒シタル手形ヲ第三者ヨリ支拂フ所ノ約務ヲ云フ一ニ之ヲ稱シテ名譽ニ依ル受諾ト云ヒ又拒ミ證書ニ關スル受諾ト云フ蓋シ其受諾タル署名者ノ名譽ヲ毀損セサルカ爲メ行フモノニシテ且拒ミ證書ヲ作りタル後ニアラサレハ行フ可能ハサルカ故ナリ

一 關涉ニ依ル受諾ノ法式及ヒ條件

關涉ニ依ル受諾ハ下ノ法式及ヒ條件ニ從フヘキモノトス

第一 受諾ナキカ爲メ拒ミ證書ヲ作りタル時ニ之アルベキモノトス抑モ第三者ハ支拂人

ノ受諾否拒ノ適法ニ證明セラレタル時ニアラサレハ關涉スヘカラサルナリ其未タ拒ミ證書
アラサルニ關涉シタルモ亦猶其關涉ハ之ヲ拘束スヘキヤ疑フ所ニ非スト雖モ其之ヲ拘束ス
ルハ保證人ノ資格ヲ以テスルモノニシテ受諾人ノ資格ヲ以テスルモノニアラサルナリ、第
二拒ミ證書中ニ之ヲ記載スルヲ要ス、第三關涉人之ニ署名スルヲ要ス此署名ハ一般ノ說ニ
據ルニ手形面ニ於テスルヲ要シ別書ニ於テスヘカラサルモノトス、第四關涉人ヨリ其關涉
ヲ受ケタル署名人ノ一人ニ速カニ其關涉ノ通知ヲ爲スヲ要ス〔商法典第二百二十六條及ヒ第
百二十七條〕

第三十二 凡ソ能力ヲ有シ而シテ未タ其手形ノ爲メニ義務ヲ負ヒシコトナキ者ハ關涉ニ依ル受諾ヲ爲ス
コトヲ得ヘシ支拂人モ亦其支拂人ノ資格ヲ以テ單純ニ受諾ヲ拒シ以テ關涉ニ依ル受諾ヲ爲
スコトヲ得ルモノトス其單純ニ受諾ヲ拒シ關涉ニ依ル受諾人ノ資格ヲ取ルモノハ左ノ數多
ノ場合ニ於テ利益アルナリ

第三十三 第一 支拂人準備ヲ受取ラス且振出人ヲ信用セサルモハ受諾ヲ拒スルコトアルモ裏書人
ノ資力アルコトヲ知り且其署名ノ名譽ヲ毀損セサランコトヲ欲シ之カ爲メ關涉ニ依ル
受諾ヲ爲スコトアルヘシ
第二 甲者乙者ノ指圖ニ依リ丙者ニ當テ手形ヲ振出シタルモ丙者指圖人ナル乙者ノ依頼

ヲ受諾スルヲ欲セサルモ甲者ト相識ナルカ故ニ甲者ノ爲メ關涉ニ依ル受諾ヲ爲ス
コトアルヘシ

第三 單純ニ受諾スルモハ支拂人ハ振出人ヨリ準備ヲ受取リタリト看做サル、モノトス
〔商法典第一百七條第一項〕然ルニ關涉ニ依リ受諾スルモハ最早之ニ對シ此推測ヲ
爲スコト能ハサルナリ

二 關涉ニ依ル受諾ノ効
關涉ニ依ル受諾ハ受諾人タル第三者ヲシテ自餘ノ手形ノ署名人ト與ニ連帶シテ所持人ノ義
務者タラシムベシ

關涉ニ依ル受諾人ハ支拂人以外ノ第三者タルモ所持人ハ其約定ヲ受ケタルモノ即チ支拂人
ノ受諾モ之ヲ得サルカ故ニ振出人及ヒ裏書人ニ對シテ其權利ヲ保存シ且之ニ對シテ保證人
又ハ償還ヲ要求スルコトヲ得ベシ然レモ受諾人ニシテ資方アルモ所持人ハ其受諾ヲ以テ自
カラ満足スヘキナリ何トナレハ受諾人タル第三者ハ之カ保證人ニ等シケレハナリ〔商法典
第二百二十八條〕

支拂人ノ受諾シタル場合ニ於テモ亦關涉ニ依リ受諾シタルニ過キサルモハ其受諾ニ加ヘタ
ル制限ハ所持人ヲシテ擔保ノ訟求ヲ爲スヲ得セシムルモノトス

第五節 支拂期限

爲替手形及ヒ商業手形ニ屬ス可キ信用ハ其支拂ヲ未必條件即チ不定ノ事件ノ到着(例ヘハ某船ノ亞細亞ヨリ復歸スレバ云々ト云フカ如シ)ニ關セシムルヲ許サス又之ヲ不定ノ期限即チ指定スルヲ得サル時期(例ヘハ或ル人ノ死去)ニ關セシムルヲ許サス

第三十四

故ニ爲替手形ノ支拂期限ハ所持人ノ爲メニ確定精確ナラサルヘカラス然レハ其期限ノ時ハ特定又ハ不特定タルヲ得ルモノトス(商法典第百二十九條)

○爲替手形ノ定リタル日又ハ日附後一定ノ期限ニ至リ支拂フヘキハ支拂期限ハ特定ナリ定リタル日ニ支拂フヘキ手形トハ指示セラレタル日(例ヘハ四月一日)ニ支拂フヘキモノナシ云フ然レハ若シ其期日法律ニ定メタル祭日ニ相當スルキハ(原註)祭日ハ日曜日ノ外第一耶蘇降誕ノ祭日第二耶蘇昇天ノ祭日第三聖母昇天ノ祭日第四諸聖人ノ祭日(共和九年萌芽月二十九日決定)第五、一月一日(千八百十年三月二十日參事院ノ意見)ナリトス其翌日支拂フヘキモノトス(商法典第百二十四條)而シテ其拒ミ證書ハ後段ニ陳述スルカ如ク祭日ノ翌日ニ作ルヘキモノトス(同第百六十二條)若シ其手形ノ市場ニ於テ支拂フヘキモノナルキハ市場一日ニ限ルモノナレハ其日又數日繼續スルモノナレハ其閉場ノ翌日ヲ以テ支拂期日トス(同第百三十三條)日附後一定ノ期限ニ至リ支拂フヘキ手形トハ其日附ヨリ一日又ハ數日或

ハ一月又ハ數月或ハ一習慣期又ハ數習慣期ニ至リ支拂フヘキモノヲ謂フ

一月ハ(グレゴリアン)曆ニ從ヒ○習慣期ハ三十日ノ期限ヲ云フ(商法典第百三十二條)

○支拂期限ノ不特定トハ其手形ノ閱覽拂又ハ閱覽ヨリ或ル期限ニ至リ支拂フヘキヲ云フ

閱覽拂ノ手形トハ其呈示次第支拂フヘキモノヲ云フ(商法典第百三十條)閱覽ヨリ或ル期限

ニ至リ支拂フヘキ手形トハ閱覽ヨリ一日又ハ數日或ハ一月又ハ數月或ハ一習慣期又ハ數習

慣期ニ支拂フヘキモノヲ謂フ此場合ニ於テハ受諾ノ日又ハ受諾ナキ爲メ拒ミ證書ヲ作りタ

ル日(商法典第百三十一條)又ハ手形面ニ檢印シタル日ヲ以テ支拂期限ト爲ス

手形ノ閱覽拂又ハ閱覽ヨリ或ル期限ニ至リ支拂ヘキモノナルキ閱覽拂ナレハ其支拂ヲ求ム

ル爲メ又閱覽ヨリ或ル期限ニ至リ支拂フヘキモノナレハ其支拂期限ヲシテ經過セシムルカ

爲メ概ネ其手形ノ日附ヨリ三ヶ月内ニ所持人ヨリ之ヲ呈示スヘキモノトス(商法典第百六

十條)

第三十五 支拂期限ヲ詳知スルニ付テハ大ナル利益アリ何トナレハ支拂ヲ受ケサル所持人ハ期限ノ翌

日支拂ナキニ付テノ拒ミ證書ヲ作ラサルヘカラス否サレハ特定ノ失權アルヘケレハナリ

第三十六 手形ノ日附ヨリ一習慣期又ハ數習慣期ニ於テ支拂フヘキモノナルキハ支拂期日ヲ定ムルニ

付キ毫モ困難ヲ見ス何トナレハ習慣期ナル語ハ手形ノ日附ノ翌日ヨリ起算シテ三十日ノ期

限ナルヲ示スモノナレハナリ然レモ其手形ノ日附ヨリ一月又ハ數月ニ於テ支拂フヘキモノナルキハ支拂期日ヲ詳密ニ定ムルニ付テ困難アリ論者概テ支拂期中其手形ヲ振出シタル月ノ日ニ相當スル所ノ日ニ支拂フヘシトナセリ故ニ二月二十八日ニ拂出シ日附ヨリ三ヶ月ノ後ニ至リ支拂フヘキ手形ハ五月二十八日ニ支拂フヘキモノトス又期中手形振出ノ月ノ日ニ相當スルモノナキ例ヘハ一月三十一日ニ振出シ一ヶ月ノ後ニ支拂フヘキハ二月二十八日アルト二十九日アルトニ從ヒ或ハ二十八日或ハ二十九日ニ支拂フヘシト決定スヘキナリ○蓋シ月内日ヲ虧ク所ノ日數ハ之ヲ祭日ト看做スヘキナリ(千八百十八年二月十日大審院判決)

○立法者ハ爲替手形支拂ニ付キ宥恕、恩惠、地方ノ習慣、仕來リノ期限ヲ悉ク廢止シタリ(商法典第百三十五條)

第六節 裏書

第三十七問 裏書ハ爲替手形及ヒ指圖手形讓渡ノ一方法ナリ之ヲ裏書ト稱スル所以ハ證券ノ裏面ニ記載スルカ故ナリ(原註)指圖ノ約款ハ特リ爲替手形ノミニ限ルモノニアラス指圖手形、住所拂第三十八問 手形引出小切手ニモ亦適用スルモノナリ嘗テ受取證書及ヒ荷預リ切符ノ事ヲ說クニ方リ此約款アルヲ述ヘタリ又海上貿易ニ關シ積荷目錄(商法典第二百八十一條)及ヒ典船證書(同

第三百十三條)中此約款アルコアリ又慣習ニテ積荷目錄、保險證書、勘定書會社ノ株式及ヒ義務ニ此約款ヲ記入スルニ至レリ指圖ナル語ハ裏書ニ依リ證券ヲ讓渡シ得ヘキヲ示定セシメ時トシテハ直ニ裏書ヲ指定ス(商法典第百三十九條)

第三十九問 法律ニ於テハ裏書ヲ別テ二種トナシ一ヲ適法ノ裏書トシ或ル法式ノ條件ヲ具ヘ爲替手形ノ所有權ヲ移轉スルモノナリ一ヲ違法ノ裏書トナシ其適法ノ裏法ノ爲メ必要ナル條件ヲ具備セシテ唯代理委任狀ノ効アルノミノモノナリ茲ニ裏書ノ目的ニ從ヒ一層精確ニ三種ノ裏書ヲ區別スヘシ

- 第一 所有權移轉(即チ適法)裏書
- 第二 代理委任(即チ適法)ノ裏書
- 第三 抵當即チ質入、擔保ノ名義ナル裏書(商法典第九十一條)
 - 一 適法ノ裏書即チ所有權移轉ノ裏書

第四十問 裏書ハ日附ヲ記シ供給セラレタル價額ヲ載セ其所有權ヲ移轉セラレタル者ノ氏名ヲ表示スルキ(商法典第百三十七條)並ニ法律ニ定メナキモ裏書人即チ讓渡人ノ署名アルキハ適法ノモノトス

例ヘハ甲者乙者ノ爲メ丙者ニ當テ爲替手形ヲ振出シタルキ受取人ナル乙者ハ其手形ノ裏

面ニ左ノ如ク記載シ以テ適法ノ裏書ヲ丁者ニ爲スヘキモノトス

商品(又ハ現金又ハ計算ニ於ケル有價物)ニテ受取リタル價額ヲ丁者ノ指圖ニ於テ支拂アルヘシ

千八百七十五年四月一日

乙

裏書ノ法式ハ之ヲ行フ地ノ法律ニ從フヘキモノトス

○茲ニ注意ス可キモノアリ即チ法律ニ於テ裏書ノ日附ヲ必要トシ之ニ重要ヲ附シ犯者ヲ偽造ノ刑ニ處シテ以テ指圖ノ日附線上ケテ禁シタルコト是レナリ(商法典第百二十九條)裏書ノ日附ハ左ノ件々ニ付功用アリトス

第一 裏書ノ順序ヲ定ムルコト付キ蓋シ各裏書人ハ已レヨリ後ニナシタル署名人ニ對シ擔保ノ義務アリ又已レヨリ前ニ爲シタル裏書人ヨリ擔保セラル、モノナリ故ニ各裏書人ノ何人ニ對シ訟求スルコト得ルヤヲ詳知セサルベカラス

第二 裏書人ノ裏書ヲ爲シタル時能力者タリシヤ否ヤ又其裏書ハ分散前ナルヤ將タ後ニナシタルカヲ認知スルニ付キ蓋シ分散人ハ其財産ノ管理ヲ爲スノ權ヲ拋棄スルカ故ニ爲替手形ノ裏書ヲ爲スモ其効アルコトナシ(商法典第四百四十三條)加之分散ノ公告裁判前ト雖モ法律ニ於テハ辨濟ノ息止以來又ハ其前十日以内ニナシタル期限

ニ至ラサル所ノ總テノ負債ノ辨濟ヲ無効トナセリ又既ニ期限ニ至リタル負債ト雖モ辨濟息止ノ後金額又ハ商業手形ヲ以テ之ヲ辨濟シ而シテ第三者ニ於テ辨濟ノ息止ヲ知了シタルトハ之ヲ取消シ得ヘキモノトセリ(商法典第四百四十六條及第四百四十七條)此裏書ノ日附ハ即チ裏書人カ他ノ債主ニ損害ヲ加ヘ一人ノ債主ニ利益ヲ與ヘントシタルヤ否ヤヲ知ルヲ得セシムベキモノナリ

法律ニ於テ裏書ノ日附線上ケテ偽造罪ヲ以テ論スレハ即チ右ノ詐欺ヲ豫防スルノ目的ナリ加之ナラス其日附ノ線上チナストハ依テ以テ裏書人カ其證券ヲ通謀者ニ讓渡シ後日ニ至リ之ヨリ金額ヲ受取ルコト得ヘキナリ

又立法者カ特ニ此事ヲ記載シタルハ誠ニ事理ニ適シタリト云フヘシ何トナレハ日附ノ線上ハ刑法典第百四十七條ニ定メタル場合ニ入ラサルモノト認ムヘケレハナリ日附ノ事ニ關シテハ裏書ハ證券ノ作爲ト二個ノ點ニ於テ異ナル所アリ

第一 法律ハ手形ノ作爲ニ就テハ場所ヲ指示スルヲ必要トシタルモ裏書ニ就テハ之ヲ必要トナサス何トナレハ手形ハ一ノ場所ヨリ他ノ場所ニ當テ之ヲ作ルヲ要スルモ裏書ハ手形ヲ支拂フヘキ所ニテモ猶ホ之ヲ爲スコト得レハナリ然レモ例外トシテ其手形ノ振出人ノ指圖ニ於テ支拂フヘキ所ハ裏書ヲ爲シタル場所ヲ指示セサルヘカ

第四十一

ラス何トナレハ前文ニ於テ述ヘタル如ク此場合ニ於テ爲替契約ヲ實行シ一ノ場所ヨリ他ノ場所ニ送付ナスモノハ裏書ナレハナリ

第四十二問

第二

裏書ノ日附繰上ヲナスルハ法律ニ於テ偽造ノ刑ニ處スルアレモ手形作爲ノ時ノ日附繰上ニ之ヲ適用スヘカラス蓋シ刑罰ハ比附援引シテ以テ適用スヘキモノニ非ス且手形ニ日附ノ繰上ケテナスモ裏書ニ日附ノ繰上ヲナスカ如キ甚クシキ憂アラス何トナレハ無資力ナル振出人手形ヲ作り日附ノ繰上ヲナスモ受取人ヲラント欲スル者之ナカルヘシ之ニ反シテ既ニ資力アル者ノ署名シタル手形ハ容易ニ無資力ナル所持人ニ於テ裏書スルコトアルヘケレハナリ

○裏書ハ支拂期限ノ後ト雖モ之ヲ爲スコト得ヘシ何トナレハ爲替手形ニ其指圖ノ約款アルルハ其支拂期限アルニ係ハラス其性質及ヒ其効力ヲ失フモノニ非サレハナリ(千八百五十六年八月十八日大審院判決)

○適法ノ裏書ノ効ハ左ノ如シ

第一 爲替手形ノ所有權ヲ移轉スルコト(商法典第百三十六條)

第二 裏書人ヲシテ支拂期限ニ至リ手形支拂ノ連帶擔保者タラシムルコト(商法典第百十八條)

○通常ノ債主權ノ讓渡ト指圖手形ノ適法ノ裏書トノ差異

第四十三問

第一通常債主權即チ記名債主權ノ讓渡ハ公正證書ヲ以テ被讓人タル義務者ニ移轉ノ通知ヲ爲スカ又ハ公正證書ヲ以テ被讓人受諾ヲ爲シタルルルニアラサレハ第三者ニ對シテ讓受人ニ債主權ヲ移轉セス(民法典第千六百九十條)○適法ノ裏書ハ直ニ爲替手形又ハ其他ノ指圖手形ノ所有權ヲ移轉シ公正證書ヲ以テスル通知又ハ受諾ヲ要スルコトナシ指圖ノ約款ニ依リ爲替手形ノ受諾人又ハ指圖手形ノ作爲人ハ何人タリトモ手形ノ所持人ニ支拂ヲ爲スヘキコトヲ豫メ約スルモノナリ即チ期限ニ至リ顯出スル面識ナク氏名ヲ知ラサル債主ニ對シ義務ヲ負フモノトス

第二通常債主權ノ讓渡ニ關スルルルハ被讓人タル義務者ハ其讓渡人ニ對抗スルコト得ヘカリ

シ辨護ノ方法即チ抗辨法ヲ以テ其承權者タルニ外ナラサル讓受人ニ對抗スルコト得ヘシ何トナレハ讓渡人ハ已レニ有スル以外ノ權利ヲ讓渡スルコト能ハサルヲ以テ原則トスレハナリ○裏書ノ場合ニ於テハ受諾人タル支拂人ハ讓渡人タル裏書人ニ對抗スルコト得ヘカリシ辨護ノ方法即チ抗辨法ヲ以テ所持人ニ對抗スルコト能ハス蓋シ支拂人ハ指圖ノ約款ニ因リ初メヨリ直接ニ現所持人ニ對シ義務ヲ負擔シタルモノト看做サルモノナリ(千八百五十年三月十八日大審院判決)

此差異ヨリシテ受諾人タル支拂人(又ハ指圖手形ノ總テノ負債主)ハ左ノ諸件ヲ以テ所持人ニ對抗スルヲ能ハサル結果ヲ生ス

一讓渡人タル裏書人ニ對抗スルヲ得ヘカリシ相殺(民法典第一千二百九十四條)

一裏書人カ之ニ對シテ行ヒ而シテ其本犯ノミ責ニ任スヘキ所ノ詐欺(民法典第千百十六條)

一自己ノ外國人タルノ名義ヲ以テ外國人タル裏書人ニ對抗スルヲ得ヘカリシモ佛人タル

所持人ニ對抗スルヲ能ハサル管轄^{エンコンダンス}ノ抗辨(民法典第十四條)(原註)民事禁錮ノ廢止アル

以前ニ在テハ佛人タル所持人モ亦外國人タル支拂人ニ對シテ民事禁錮ヲ行ヒ加之其假捕

縛ヲ請求スルヲ得タリシ然レハ此權利ハ其讓渡人タル外國人ニ屬セサリキ蓋シ爲替手

形ノ支拂期限後ニ至リ往々佛國人ノ爲メニ裏書ヲ爲スモノハ外國人ニ對シテ佛國人ニ此

恩典ヲ與ヘタリシモノナルカ故ナリ)

一所持人善意ナルキハ賭博原因ノ虧缺(例ヘハ金額ヲ拂込マサルノ抗辨)又ハ押印白紙ノ妄

用ニ出ツル無効

然リト雖^ト暴行不能力詐欺ニ基因セル無効ニ至テハ善意ノ所持人ニ對スルモ猶ホ受諾シ

タル支拂人之ヲ申立ツルヲ得ヘシ何トナレハ此場合ニ於テハ毫モ支拂人ヲ責ムヘキノ過

失ナキヲ以テ其約束ハ無効即チ成立セサルモノナレハナリ

第三、通常債主權ノ讓渡ニ係ルキハ讓渡人債主權ノ成立ヲ擔保スルニ止マルヲ以テ原則ト

爲ス而シテ偶々現時ノ資力又ハ將來ノ資力ヲ擔保スルヲアルモ此擔保ハ之ヲシテ其受取リタ

ル金額補賠ヲスルノ義務ヲ負ハシムルニ止マルモノトス(民法典第千六百九十三條及第千

六百九十四條)○裏書ノ場合ニ於テハ之ニ反シテ裏書人ハ啻ニ其債主權ノ成立ヲ擔保スルノ

ミナラス又支拂人ノ資力並ニ期限ニ至リ全額ノ支拂ヲ當然擔保スルモノトス(商法典第百

十八條)但無擔保ノ特約アルキハ此限ニ在ラス(原註)買主ニシテ其賣主ノ相識者ニアラサ

ル者代價辨濟ノ爲メ之ニ商業手形ヲ交付シ同時ニ此手形ヲ請負及ヒ無擔保ニテ前拂スヘキ

其銀行營業人ヲ指示シタリ此場合ニ於テ銀行營業人ハ買主ノ無資力ノ危險ヲ冒シ手形ヲ前

拂シテ一分以上二分以下ノ保險料ヲ收受スヘシ左レハ賣主無擔保ノ手形ヲ裏書スルキハ即

チ銀行營業人ト保險契約ヲ結ヒタルモノナリ此契約タル海上保險ノ事ヲ論スルニ至テ説明

スル如ク最モ誠意ヲ以テ行フヘキモノナリ故ニ讓渡人ハ其緘黙シテ銀行營業人ヲシテ之ニ

及ホシタル危險ヲ知ルヲ得サラシメタルキハ其責ニ任スヘキモノトス此無擔保ノ約款タル

馬耳塞ニ於テ大ニ行ハル、所ノモノナリ

第四、債主權ノ讓渡ハ百ニ付一ノ准等(此例)登記稅ヲ課セラル、モノトス共和七年霜月二十

二日法律第六十九條第三節第三號)○裏書ハ登記ノ法式及ヒ登記ノ稅ヲ要セサルモノトス

〔同法律第七十條第三節第十五號〕

二 違法ノ裏書即チ委任裏書

第四十四問

適法ノ裏書ニ必要ナル事項ヲ記載セサルキハ手形ノ移轉行ハレス委任狀ニ過キサルモノトス〔商法典第百三十八條〕

法律ハ之ヲ違法ト云フト雖此語タル其當チ得タリト謂フヘカラス何トナレハ委任ヲ與フルニハ毫モ違法ナルコアラサレハナリ是レ則チ之ヲ稱シテ所有權移轉ノ裏書及ヒ委任裏書ト爲スチ以テ妥當ナリトナス所以ナリ

裏書ハ違法ノモノ即チ委任ノ裏書ト雖凡必ス裏書人ノ署名アルヲ要ス

裏書ノ日附、供給シタル價額、讓受人ノ氏名及ヒ指圖ノ約款ヲ記載セサルモノハ手形ノ所有權ヲ移轉セスシテ委任狀ノ効アルニ過キサルノ法則ヨリ下ノ諸結果ヲ生ス即チ第一ニ其手形ハ尙ホ裏書人ノ所有ニシテ其債主ノ抵當タリ故ニ裏書人分散ノ場合ニ於テハ支拂人ハ分散人ノ債主ニ損害ヲ加ヘ所持人ニ支拂ヲ爲シテ以テ適法ニ義務ヲ免カル、コ能ハサルコ蓋シ所持人ノ委任ハ代理人ノ分散ニ因リ止息シタルモノトス〔民法典第二二三條〕第二ニ支拂人ハ單ニ代理人タル所持人ニ對抗スルコ能ハサルコ蓋シ所持人ノ分散ノ場合ニ於テハ裏書人ハ分散抗辨法ヲ以テスルコ能ルコ第三ニ代理人タル所持人ノ分散ノ場合ニ於テハ裏書人ハ分散

中其嘗テ所持人ヲシテ支拂ヲ受ケシメシカ爲メ之ニ交付シタル手形ヲ取戻スコト得ルコト

〔商法典第五百七十四條〕

適法ノ裏書ハ所持人ニ代理權ヲ與フルヲ以テ亦之ニ附與スルニ支拂人ニ手形ノ受諾及ヒ支拂ヲ要求シ其支拂ヲ受取り其領收證ヲ交付スルノ權ヲ以テス但其委任者タル裏書人ニ計算ヲ爲スヘキナリ

第四十五問

其レ然リ而シテ違法ノ裏書ノ所持人ハ適法ノ裏書ヲ以テ手形ヲ賣渡シ第三者ニ其所有權ヲ移轉シ得ルヤ如何

ボチエー及ヒリウアリー二氏ハ違法ノ裏書ノ所持人ハ其所有主ニアラサルカ故ニ其有セサル權利ヲ移轉スルコ能ハス他ノ代理人ヲ撰テ自己ニ代ラシムルヲ得ルモ手形所有權ノ移轉ヲ行フコ能ハスト云ヘリ

然レ近時論者ノ定論ハ商業ノ實際及ヒ裁判慣例ニ從ヒ違法ノ裏書ノ所持人モ手形ノ所有權ヲ移轉スルコト得ヘシト爲セリ蓋シ該所持人ハ其爲替手形ノ金額ヲ受取ルノ權アルモノニシテ此權利ハ即チ證書ヲ賣渡スノ權ヲ自カラ包含スルモノナリ何トナレハ賣渡ハ支拂受取ノ一方法タルニ過キサレナリ又所持人ノ所有權ヲ移轉スルハ其所有主タルカ故ニアラスシテ所有主タル裏書人ヨリ之ヲ讓渡スヘキノ委任ヲ受ケタルカ故ナリ〔千八百四十五年一

月六日及ヒ千八百七十三年一月十四日大審院判決

違法ノ裏書ノ所持人ニシテ適法ノ裏書ニ依リ手形ヲ讓渡シタル者ハ讓受人ニ對シテ直接ニ自カラ義務ヲ負フモノナリ何トナレハ該所持人ハ仲買人ノ職務ヲ行フダレハナリ
違法ノ裏書ノ効ニ關スル法律ノ理論ハ既ニ陳腐ニ屬シ英吉利、日耳曼其他全歐洲ニ於テハ單ニ裏書人ノ署名ノミニシテ指圖手形ノ所有權ヲ移轉スルニ足レリトナセリ〔原註〕指圖ノ約款未ダ行ハレサル時ニ在テハ證券ノ所有主其所有權ヲ移轉セント欲スルキハ其證券ニ償却濟ノ旨ヲ記シ之ヲ讓受人ニ交付シ所持人ハ讓受人ナルモ其實自己ノ利益ノ爲メノ代理人タルニ過キサリキ而ルニ立法者裏書ノ法式ヲ定ムルニ方リ成規ノ法式ニ從ハサル裏書ハ委任狀ノ効アルニ過キスト云ヒシハ古法ノ規則ヲ再ヒ用ヒタルモノナリ〕引出小切手ニ至テハ千八百六十五年ノ法律ヲ以テ之ト同様ニ定メタルノ後ニ至リ説明スル所アルヘシ
是ヲ以テ商法典第百三十八條ニ「第百二十七條ノ成規ニ適セサル裏書ハ委任狀ニ過キスト云フ法則ヲ設ケタルモ其果ノ純全タル命令法ナルヤ否ヤハ之ヲ疑フ者ナキニ非ス殆ント左袒者ナキニ至リタル一説ニ據レハ法律ノ文辭明瞭ニシテ違法ノ裏書ハ所持人ナシテ代理人タラシムルノ外効ナク其効ハ体裁ニ關シ体裁ハ事實ニ勝ルト云ヘリ
他ノ一説ニ據レハ商法典第百三十八條ノ規則ハ推測ニ過キスシテ反對ノ證據ヲ以テ之ヲ擊

第四十六問

破スルヲ得ルモノナリト爲セリ

第三説ニ據レハ所持人ト裏書人トノ關係ト所持人ト第三者トノ關係ノ別ヲ立テサルベカラストナセリ是レ裁判慣例及ヒ多數論者ノ採用シタル所ノモノナリ
其裏書人トノ關係ニ於テハ違法ノ裏書アル手形ノ所持人ニ於テ法律ノ推測ヲ平翻シ其金額ヲ供給シタルノ故ヲ以テ眞ニ手形ノ所有主ニシテ其裏書人ト自己トノ間ニハ眞ニ讓渡アリテ委任アリタルニアラサル旨ヲ證明スルヲ得ルナリ是ヲ以テ所持人ハ其受取リタル金額ヲ其讓渡人又ハ其分散ニ還付スルニ及ハス加之其支拂人ヨリ支拂ヲ受ケサリシキハ亦讓渡人ニ對シ擔保ノ訴權ヲ行フヲ得ベシ
其第三者トノ關係ニ於テハ所持人ハ前ニ反シテ法律ノ推測ヲ覆轉スル能ハス第三者ニ對シテハ裏書人ノ代理人タルニ過キサルモノナリ蓋シ第三者ハ手形ニ記載シタル項目ノミヲ信スルモノナルヲ以テナリ是ヲ以テ支拂人ハ裏書人タル其讓渡人ニ對抗スルヲ得ヘカリシ一切ノ抗辨法ヲ以テ所持人ニ對抗スルヲ得ヘシ〔千八百六十七年八月七日大審院判決〕千八百六十九年一月十二日上告取調局判決
○又一種特別ナル違法ノ裏書アリ白紙裏書即チ是レナリ白紙裏書トハ証券ノ裏面ニ裏書人ノ署名ヲ附スルニ止マルモノヲ謂フ此白紙裏書ナルモノハ体裁ニ於テ違法ノモノナリト雖

凡容易ニ所有權ヲ移轉スル適法ノ裏書ニ變スルヲ得ルモノナリ蓋シ此証券タル一種ノ白紙証券ニシテ所持人ヲシテ之ニ必要ノ項目ヲ記入補填シ以テ其所有權ヲ獲得スルヲ得セシムルモノナリ然レモ之ヲ記入スルノ權能ハ裏書人ノ死去又ハ分散ノ後ニアラサレハ之ヲ行フヲ能ハス何トナレハ此等ノ事件タル違法ノ裏書ヨリ生スル委任ヲ終了スレハナリ

白紙裏書ハ証券ノ移轉ヲ行フニハ單ニ引渡ヲ爲スヲ以テ足レリトナシ其拂渡ヲ容易ニスルノ利益アリト雖モ亦所持人ハ證券面ニ順次ノ讓渡人ノ署名アラサルヲ以テ其擔保ヲ得ル能ハス且此裏書ハ紛失又ハ盜難ノ際ニ危險アルモノナリ何トナレハ不良ノ所持人ハ自己ノ爲メニ空白ニ記入ヲ爲シ偽造ヲ爲サシテ所有權ヲ獲得スルノ道ヲ得レハナリ

此白紙裏書ハ一種ノ所持人拂證券タリト雖モ亦敢テ銀行ノ特權ヲ侵スモノニアラス何トナレハ該裏書ハ特定ノ場合ニ於テ作りタルモノニシテ支拂期限アリ且五年ノ時効ニ從フモノナレハナリ

其レ然リ而シテ此暗黙委任裏書ノ外明白ノ委任ヲ爲スヲ得此際ニ於テハ其證券ノ裏面ニ丁者ノ指圖ニ於テ余ノ計算ノ爲メニ支拂フヘシト記シ又丁者ノ指圖ニ於テ收受ノ價額ヲ支拂フヘシト記スルモノナリ委任裏書ハ殊ニ銀行營業人ニシテ其主顧ノ爲メ手形金額ノ收受ヲ任セラレタル者ノ爲メニ爲スモノトス

三 抵當裏書即チ擔保ノ名義ヲ以テスル裏書

第四十八問

抵當裏書トハ質入ノ名義ヲ以テ擔保ノ爲メ爲替手形ヲ移轉スルヲ目的トスル裏書ヲ謂フ此點ニ付テハ商事上ノ動産質ノ事ヲ論スルニ當リ既ニ説述シタレハ茲ニ之ヲ贅セス動産質ニ關スル(千八百六十三年ノ法律ヲ以テ改正シタル商法典第九十一條)

此裏書ニハ其裏書人ノ負擔スル若干ノ金額ノ擔保ノ名義ヲ以テ爲シタルモノナルヲ記載シ以テ所持人ヲシテ証券ノ所有主ナリト自稱セシメサルヲ要ス然レモ此裏書ハ實際ニ於テ甚タ稀ナリトス何トナレハ手形ヲ前拂セシムルヲ以テ一層單便ナリトスレハナリ

第七節 連帶

爲替手形ノ流通ヲ容易ニシ信用ヲ鞏固ナラシムル爲メ立法者ハ爲替手形ノ署名人ハ其所持人ニ對シ連帶擔保ノ義務ヲ負フモノト定メタリ(商法典第四百十條)

此點ニ付キ左ノ諸件ニ注意セサルヘカラス

- 第一 手形所持人ハ最初支拂人ニ對シテ支拂ヲ請求シ支拂人ヨリ支拂ヲナサ、ルキ署名人全体ニ對シ或ハ各別ニ或ハ一同ニ相手取り訟求ヲ爲ス
- 第二 署名人ノ一人支拂ヲ爲スルハ其負債ハ署名人ノ間ニ分擔スルモノニアラス各自更ニ其以前ノ署名人ニ對シ全部ノ償還ヲ要求シ遂ニ總テノ署名人ノ擔保者タル振出

第四十九問

人ヲシテ支拂ヲ爲サシムルヲ

第三 法律ニ連帶ヲ定ムルト雖モ署名人原ト相識者ニ非サルカ故ニ其一人ニ對シテ行フ

タル訴訟ハ自餘ノ署名人ニ對シ時効ヲ中斷セサルヲ以テ其連帶不完全ハナルモノ

ナリ(商法典第六十七條及ヒ民法典第一千二百六條)

第八節 手形ノ保證

第五十問

手形ノ保證(價值ヲ附スルノ義ナリ)トハ第三者ヨリ爲替手形ノ支拂ヲ擔保スル一種ノ保證

契約ナリ此第三者ヲ爲シテ手形保證人ト云フ

手形保證ハ何人ニテモ義務ヲ負フノ能力ヲ有シ而シテ他ノ名義ヲ以テ手形支拂ノ義務ヲ負

ハサル者ハ之ヲ約スルヲ得

又此保證ハ手形支拂ノ義務ヲ負フ者即チ振出人裏書人又ハ受諾人中何人ノ爲メニモ之ヲ約

スルヲ得

第五十二問

○手形保證ハ手形面又ハ別紙上ニ書證ヲ以テ約スヘキモノトス蓋シ手形保證ヲ別紙ニテ約

スルハ保證セラル、者ノ資力ニ付キ他人ノ信用ヲ損セザラシメンカ爲メナリ例ヘハ銀行營

業人甲者ニ信用貸ヲ約スルニ方リ之ニ保證人ヲ立テテ求メ該保證人ヲシテ甲者ニ於テ

振出スヲアルヘキ手形ノ支拂ヲ豫メ擔保セシムルトノ如シ

手形保證ハ舊法ニ於ケルト異ニシテ別紙ヲ以テ約スルモ亦商事上ノ所爲ナリトス

○手形保證人ハ振出人及ヒ裏書人ト同シク連帶ニテ且同一ノ方法ヲ以テ義務ヲ負フモノト

ス但シ双方間特別ノ合意アル場合ハ此限ニアラス(商法典第四百二十二條)

手形保證人ハ連帶ニテ義務ヲ負擔スルヲヨリシテ通常ノ保證人ト異ニシテ負債主ノ財產取

調及ヒ分割ノ利益ヲ徵求スルヲ得サル結果ヲ生ス

又振出人及ヒ裏書人ト同一ノ方法ヲ以テ義務ヲ負擔スルカ故ニ商事上ノ義務ヲ負ヒ商事裁

判所ニ訴ヘラル、トヲ得ベシ(舊法ノ時代ニ在テハ民事禁錮ヲ受クヘキモノナリキ)

然レモ法律ハ之ヲシテ特別ノ約束ニ依リ其義務ノ區域ヲ狹隘ナラシメ連帶又ハ商事裁判所

ニ訴ヘラル、義務ヲ免カル、トヲ得セシム

手形保證人ハ其保證シタル者ニ屬シ及ヒ負債ニ附着セル一切ノ抗辨法ヲ以テ債主ニ對抗ス

ルヲ得(民法典第二千三十六條)

其支拂ヲ爲シタルトキハ其保證シタル者及ヒ其以前ノ署名人ニ對シ償還要求ヲ爲スヲ得ベ

シ

○

以上陳辨シタル連帶及ヒ手形ノ保證ハ前文ニ説述シタル準備及ヒ受諾ト同シク爲替手形ノ

支拂ヲ確保スルヲ目的トナス方法ナリ

第五十三問

此等ノ方法ノ外尙ホ爲替手形ハ書入質ヲ以テ擔保トナスヲ得例ヘハ銀行營業人ノ信用貸ヲ約シタル場合ニ於テ之レ有ルモノトス又殊ニ荷爲替ノ場合ニ於テハ動産質ヲ以テ之カ擔保ト爲スヲアリ(原註)荷爲替ヲ作ルハ下ノ場合ニ於テスルモノナリヲデッサノ商人馬耳塞ノ商人ニ麥ヲ賣渡シ船ニ搭載シテ之ヲ送附スルキハ船長ヨリ積荷目録ト稱スル受取證書ヲ領收スルモノトス此證書ニ依リ船長ハ馬耳塞ニ於テ賣主ノ指圖人即チ積荷目録ノ所持人ニ麥ヲ引渡スヘキノ義務ヲ負フモノナリ船長ハ積荷目録所持人ノ爲メニ商品ヲ預ル所ノ假占有者ニシテ眞ノ占有者ハ積荷目録ノ所持人ナリトス何トナレハ積荷目録ハ商品ヲ代表スルモノナレハナリ○右ノ代金辨濟ノ爲メ賣主ハ買主ニ當テ閱覽ヨリ三ヶ月ノ後ニ拂渡スヘキ爲替手形ヲ振出し之ヲデッサノ銀行營業人ニ讓渡シ其擔保トシテ積荷目録ヲ裏書スヘシ此積荷目録ヲ附シタル手形ヲ稱シテ荷爲替ト云フ此爲替ノ所持人ハ併セテ積荷目録ノ所持人ナルカ故ニ商品ヲ以テ抵當トスルモノナリ故ニ支拂人ハ積荷目録ヲ受取ルカ爲メ爲替ヲ支拂フタ後ニアラサレハ其商品ノ引渡ヲ受ルヲ能ハス○若シ其商品保險附ナルキハ尙ホ爲替ニ附スルニ保險證書ヲ以テスベシ是レ亦所持人ノ爲メニハ重ネテ擔保ヲナスモノナリ蓋シ商品滅尽ノ際ニ於テハ所持人ハ保險人ヲシテ支拂ヲ爲サシムルヲ得ヘケレハナリ

第九款 支拂

爲替手形ヨリ生スル義務ハ義務消滅ノ諸方法ノ過半ニ因リ消滅スルヲ得ルモノナリ(民法典第千二百三十四條)

商法典ノ特ニ規定スル所ハ支拂辨濟及ヒ時効ノ二者ニ過キスト雖モ更改、負債、釋放、相殺、混同並ニ無効訴權モ亦爲替手形ニ適用スルヲ得若シ夫レ方法者辨濟及ヒ時効ノミヲ規定シタルハ此二个ノ義務消滅ノ方法ニ付キ特別ノ規則ヲ定メタルカ故ナリ

時効ハ暫ク後款ニ讓リ下文ニ支拂規則ヲ講究ス可シ

一 支拂ニ關スル總則

支拂(辨濟)ハ負擔シタル所ノ物ヲ供給スルニ在ルヲ以テ義務消滅最モ當然ナル方法ナリトス若シ權利者負擔物件ニアラサルモノヲ受取ルヲ承諾スルキハ交物辨濟ナルモノアリトス爲替手形ハ必ス金額ヲ以テ目的トスルヲハ既ニ之ヲ述ヘタルカ如シ商法典第四百十三條ニ據レハ支拂ハ手形ニ指示スル貨幣ヲ以テナスヘキナリ是レ權利者ハ目的物以外ノモノヲ受取ルノ義務ナシトナス原則ノ適用ニ外ナラス故ニ其手形外國ノ貨幣ヲ以テ支拂フヘシト定メタルキハ亦指示シタル貨幣ヲ以テ支拂ハサルヘカラス(原註)或ル論者ハ支拂人其支拂ノ地ニ於テ通用シ手形面ニ指示セル貨幣ノ價額ヲ代表スル貨幣ヲ以テ支拂フヲ得ヘシト

云へり是レ(商法典第三百二十八條ノ推論ニシテドマンシアーベダリード及ヒマッセル諸氏ノ説ナリ)

若シ手形面ニ計算スヘキ貨幣ノ性質ニ付テ何等ノ約束モ之ナキハ通用金貨又ハ銀貨ヲ以テ其支拂ヲ爲スコト得然レハ銅貨ニ至テハ權利者ヲシテ五法以下ノ端數即四法九十五(サントーム)マテノ外強テ之ヲ受取ラシムルコト能ハス(千八百十年八月十八日ノ勅令)

所持人ハ貨幣ヲ以テ支拂ヲ受タルノ權アルカ故ニ強テ之ニ銀行券ヲ附與スルコト能ハス(千八百五年十二月二十一日參事院ノ意見及千八百五十六年四月七日大審院判決)(原註)千八百七十年八月十二日ノ法律ニ據リ現時銀行券ノ通用ヲ強令スルカ如キ時ニ在テハ銀行券ヲ以テ手形ノ支拂ヲ爲スコト得然レハ此法律アルコト拘ハラス金貨又ハ銀貨ヲ以テスルニアラサレハ支拂ヲ爲ス能ハスト約スルコト得ヘキヤ如何大審院(千八百七十三年二月十一日破毀判決)該約束ヲ無効ナリト決シタリボアステル氏ハ其反對説ヲ唱道シタリ

千八百九年七月一日ノシエンブルンニ於テノ勅令(此勅令ハ拿破翁第一世ノ普魯士國シエンブルン)府駐輦ノ際公布セラレタルモノニシテ有名ナル勅令ナリト云フ)國庫ヨリノ支拂及ヒ商事上ノ支拂ニ付キ其金額五百法以下上ニシテ且銀貨ヲ以テ爲スヘキハ義務者ハ囊及ヒ索ヲ供給セサルベカラサル旨ヲ決シタリ而シテ其囊ハ少クモ各千法ヲ容入ルノ容量アルヲ

要ス又義務者ハ囊代ト稱シ金額ノ扣除ヲ爲スコト得ルモノトス此扣除金ハ初メ每囊十五(サントーム)ナリシヲ千八百五十二年十一月十七日ノ勅令ヲ以テ十(サントーム)ニ改メタリ(原註)囊ノ儘量目ヲ計リ支拂ヲ爲シタルキニ於テモ之ヲ受取ル者支拂人ノ面前ニ於テ囊ヲ開キ貨幣檢査計算スルノ權アリ(千八百九年勅令第四條)支拂ハ手形呈示ノ時ニ於テ實行スヘキモノトス若シ其手形ノ副券數通アルキハ何レノ副券モ未ダ受諾ヲ經サリシキカ將タ其一受諾ヲ經タルカチ區別セサルベカラス

何レノ副券モ未ダ受諾ヲ經サキハ第二番第三番、第四番等ノ手形ニ據リ爲シタル支拂ヲ以テ有効ナリトス但シ其第二番、第三番、第四番等ノ支拂ニ因リ自餘ノ手形ヲ無効トスル旨ヲ之ニ記載スルヲ必要トス

若シ既ニ一ノ副券ノ受諾アリタルキハ支拂人ハ其署名シタル約ヲ守ルヘシ其受諾シタル手形ヲ受取ラスシテ第二番第三番第四番等ニ據リ支拂ヲ爲スモ其受諾シタル手形ノ所持人タル第三者ニ對シ義務ヲ免カル、コト能ハス(商法典第四百四十八條)

○支拂ハ權利者自身又ハ其契約上、法律上又ハ裁判上ノ代理人ニ爲スヘキモノトス又支拂ヲ爲ス者ハ支拂人又ハ時宜ニ依リ即チ支拂人ヨリ支拂ヲナサ、ルキ之ニ代テ支拂ヲ爲スカ爲メ手形面ニ指名セラレタル人一切ノ署名入、裏書人、關涉ニ依ル受諾人又ハ手形保

證人若クハ支拂ニ付キ利害ナキ第三者ニシテ次節ニ述フルカ如ク關涉ニ依ル支拂人ト稱スル者タルコアリ

法律ハ力ヲ爲替手形其他指圖手形ノ支拂ノ獎勵ニ尽シ辨濟息止ノ景狀ニ陷リタル負債主ヨリ其分散公告前ニ支拂ヲ受取リタル所持人ハ其負債主ノ辨濟息止ノ情ヲ知リテ受取リタルキト雖モ猶ホ其受取リタル金額ヲ分散中ニ還付スルニ及ハストナセリ〔第四百四十九條〕

二 支拂ノ事件ニ關シ普通法ノ變則

第五十四 爲替手形其他指圖手形ノ流通ヲ容易ニシ且信用ヲ鞏固ニセンカ爲メ法律ハ支拂ニ付キ普通法ニ左ノ數多ノ變例ヲ設ケタリ

第一 普通法ニ據レハ債主ハ期限到着後何時ニテモ隨意ニ辨濟ヲ要求スルコトヲ得○爲替手形ニ關シテハ所持人期限ノ日ニ支拂ヲ請求シ支拂ナキ場合ニ於テハ期日ノ翌日其手形ノ拒ミ證書ヲ作ラシメサルヘカラス否サルモハ或ル失權ヲ被ルヘシ〔商法典第六十一條、第六十二條〕又其手形ノ閱覽拂又ハ閱覽後若干ノ期限ニ至リ拂フヘキモノナルモ所持人ハ三ヶ月内ニ其支拂又ハ受諾ヲ請求セサルヘカラス否サレハ亦同様ノ失權ヲ被ルヘシ〔同第六十條〕

第二 普通法ニ於テハ期限ハ義務者ノ利益ノ爲メニ約シタルモノト推測シ義務者ハ期限

前ニ辨濟スルコトヲ得ルモノトス〔民法典第一千八百七十七條〕○爲替手形ニ關シテハ期限ハ權利者ト義務者トノ利益ノ爲メニ約シタルモノト看做スカ故ニ權利者タル所持人ハ期限前ニ支拂ヲ受取ルノ義務ナシ〔商法典第四百四十六條〕且支拂人ニ於テ未ク支拂期限ノ到ラサル負債ヲ其辨濟息止後又ハ其前十日以内ニ支拂フタルモハ其支拂無効ナリトス〔同第四百四十六條〕又期限前ニ支拂フ者ハ支拂ノ効ニ付キ其責ニ任スヘキモノトス〔同第四百四十四條〕是レ蓋シ其手形ノ紛失又ハ盜難ニ罹リ其支拂ハ所有主ノ損害トナリ又ハ所持人カ支拂ト其約束期限トノ間ニ分散シ其支拂債主ノ損害トナルコトアルカ故ナリ

第三

普通法ニ於テハ期限ニ至リ辨濟スル者ハ適法ニ辨濟シ受取ルノ能力アル真正ノ權利者又ハ其代理人若クハ債主權ヲ占有セシ者ニ辨濟シタル旨ヲ證明セサルヘカラス〔民法典第一千二百三十九條乃至第一千二百四十一條〕○爲替手形ニ關シテハ期限ニ至リ他ニ故障ナクシテ支拂フタル者ハ適法ニ義務ヲ免カレタルモノト推測セラルヘシ〔商法典第四百四十五條〕是レ蓋シ支拂人ハ指圖ノ約款アルカ故ニ其知ラサル人ニテモ手形ノ所持人タル者ニ支拂フヘキコトヲ約シ且支拂人ハ遲滯ナク支拂フヘク否サレハ拒ミ證書ヲ作ラル、モノナルヲ以テ受取人ノ格及ヒ能力ヲ査定スルノ暇

ナキカ故ナリ支拂人ハ不注意ノ責アリト證明セラレ、ニアラサレハ更ニ支拂フノ義務ナシ是ヲ以テ支拂人ハ或ル注意ヲ施シタル後ニアラサレハ支拂ヲ爲スヘカラス即チ第一證券ヲ示サシメ裏書ノ指圖ヲ査定シ第二證券ヲ己レニ交付セシメ以テ其流通ヲ止メ第三裏書ノ受取人ノ委任ヲラサルキハ其委任狀ヲ己レニ渡サシムヘキモノトス

第四 普通法ニ於テハ權利者ハ一部分ノ辨濟ヲ受取ルノ義務ナシ(民法典第一千二百四十四條第一項)○爲替手形ニ關シテハ論者概シ受取人ハ一部辨濟ヲ受取ラサルヘカラスト決シタリ何トナレハ其辨濟ハ其金額ニ付キ振出人裏書人其他手形ノ署名人ナシテ義務ヲ免カレシムルモノナレハナリ但シ所持人殘餘ノ額ニ付キ拒ミ證書ヲ作ルコトヲ得(商法典第三百三十四條及第三百五十六條)

第五 普通法ニ於テハ裁判官ハ辨濟ノ爲メ相當ノ期限ヲ義務者ニ許與スルコトヲ認可スルヲ得(民法典第一千二百四十四條)○爲替手形ニ關シテハ裁判官決シテ猶豫期限ヲ與フルコト能ハス(商法典第五百七條)又前文ニ述ヘタル如ク義務者ハ辨濟ノ爲メ慣習又ハ猶豫期限ヲ請求スルコト能ハス(同第三百三十五條)(原註)巴里ニ於テハ通常二十十五日ノ期限ヲ與フ是レ義務者故障ヲ申立テ以テ確定裁判ヲ遲延スルコトヲ得ルヲ以テ權利者ハ之ヲシテ支拂ヲ拒マシムルヨリモ寧ロ猶豫ヲ與フルヲ良トスルカ故ナリ)

第六 普通法ニ於テハ義務者ハ決シテ差押又ハ故障アルニ關セスシテ辨濟ヲ爲スコト能ハス(民法典第一千二百四十二條)○爲替手形ニ關シテハ手形ノ紛失又ハ所持人ノ分散ノ場合ニ於テスルニアラサレハ支拂ニ付キ故障ヲ申立ルコト能ハス(商法典第四百九條)

立法者カ第四百九條ニ用ヒタル制限文ハ他ノ場合ニ於テ故障ヲ起スコト能ハスト決セサルベカラス故ニ手形所持人ノ債主ハ支拂人ニ向ヒ支拂差止ヲ爲スコト能ハスシテ爲替手形ハ期限後ト雖モ常ニ裏書ヲ爲スコトヲ得ヘキナリ且支拂ノ妨碍ヲナス適意ノ支拂差止ノ憂ナシトセサルナリ

第五十五 例外トシテ爲替手形ノ支拂ニ故障ヲ申立ルコトヲ得ヘキ此二箇ノ場合ハ宜ク注意考究スヘキモノナリ

故障ハ第一ニ所持人ノ分散ノ場合ニ申立ルコトヲ得ヘキモノトス蓋シ所持人分散スルキハ自己ノ財産ヲ管理スル權ヲ拋棄スルモノニシテ適法ニ受取ルコト能ハサルナリ(商法典第四百四十三條)然レモ支拂期限ニ至テ善意ヲ以テ支拂フタル支拂人ハ適法ニ其義務ヲ免カル、モノトス(同第四百四十五條)故ニ手形所持人ノ分散管財人ハ支拂人ニ向ヒ故障ヲ申立テ之ニ

支拂ノ禁止ヲ爲スニ於テ利益アルヤ固ヨリ見易キ理ナリ

故障ハ手形所持人分散ノ場合ニ限り之ヲ申立ルヲ得振出人ノ分散ノ場合ニ申立ルヲ得
ス故ニ嘗テ準備ノ事ヲ説クニ方リ大審院ハ準備ノ所有權ハ所持人ニ屬スルモノナリト判定
シタルヲ述ヘタリ

故障ハ第二ニ手形紛失ノ場合ニ申立ルヲ得ヘキモノトス蓋シ此場合ニ於テハ眞ノ所有主
ハ支拂人カ其相違ナキヲ証明シ能ハサル外形ノミノ所有主ニ支拂ヲ爲シ期限ニ至リ善意
ヲ以テ義務ヲ免ル、ノ憂ナキニ非ス〔商法典第百四十五條〕〔原註其他尙ホ後段ニ説明セン
ト欲スルノ差異ヲ示スヲ得即チ普通法ニ於テハ權利者ヨリ請求ナキハ義務者其義務ヲ
免ル、カ爲メニハ其權利者ニ現物提供ヲ爲シ以テ提供シタル金額ヲ附托スルヲ要ス○爲替
手形ニ於テハ所持人〔譯者案スルニ原書ニハ所持人(ボ全句ノ意義ニ照セハ自カラ明ナリボル
トヴォール)トアレヒ義務者(デビトール)ノ誤ナルヤアソナード氏藏書ニハ義務者デビトール
ルト訂正シタリ〕其權利者ヲ知ラサルカ故ニ提供ヲ爲スヲ能ハス只負擔シタル金額ヲ附托
役所ニ附托スルヲ以テ充分ナリトス

三 手形紛失ノ場合ニ於テ支拂ヲ受クルニ付テノ特別規則

手形紛失ノ場合ニ於テハ其手形ノ所有主支拂ヲ受クルニ付キ履行スヘキ規則アリ

第五十六
問

此點ニ付テハ紛失シタル手形ノ所有主他ニ其手形ノ副券ヲ差出スヲ得ヘキヤ否ヤヲ區別
スヘシ其手形ノ副券ヲ差出スヲ得ルヲハ或ハ初メヨリ其手形數通ノ證券ヲ作り其中一通
ヲ所持人ニ交付シタル時或ハ其直接ノ讓渡人ニ依頼シ振出人ヲシテ更ニ一通ノ手形ヲ作ラ
シメ各裏書人ヲシテ更ニ其裏書ヲ爲サシムル時ニ在ルモノトス但シ如此ク更ニ手形ヲ作ル
ルハ手形所持人ハ之カ爲メニ生シタル費用ヲ負擔セサルヘカラス〔商法典第百五十四條〕

第一 紛失手形ノ所有者副券ヲ提出シタル場合此場合ニ於テハ又紛失手形ニ支拂人ノ受諾
アリタルヤ否ヤヲ別セサルヘカラス

若シ紛失證券ニ支拂人ノ受諾ナキハ其手形ノ所有者ハ第二番第三番第四番等ニ據リ支拂
ヲ求ムルヲ得〔商法典第百五十條〕

若シ紛失ノ手形ニ支拂人ノ受諾アルハ手形ノ所有者ハ裁判官ノ命令ニ依リ且保證人ヲ立
テタル上ニアラサレハ第二番第三番又ハ第四番ノ手形ニ據リ支拂ヲ請求スルヲ得ス〔商
法典第百五十一條〕〔原註論者ノ多數ハ裁判官ノ命令トハ商事裁判所ノ裁判ヲ指シテ之ヲ
謂フモノナリトナセリブラウノール及ドマンシアール二氏ハ法律ノ正條ニ據テ法律ハ商事裁
判所長又ハ該裁判官ノ請願ニ付キ下シタル決定ノミヲ云フトナセリ(千八百四十二年十一
月二十二日塞納商事裁判所ノ裁判ハ此義ヲ採レリ)〕

第二 紛失手形ノ所有者副券ヲ提出スルヲ能ハサル場合ニ於テハ手形ノ受諾アリタルト否トニ拘ハラス所持人ハ其帳簿ニ依リ自己ノ所有權ヲ證明シ裁判官ノ命令ヲ得且保證人ヲ立テタル上ニアラサレハ其支拂ヲ請求スルヲ能ハサルモノトス(同第百五十二條)第百五十一條及ヒ第百五十二條ノ場合ニ於ケル保證人ノ約務ハ三年内ニ訟求モナク又裁判上ノ出訴モアラサルハ三年ノ後消滅スヘキモノトス(商法典第百五十五條)

此三年ノ時効ハ頗ル異常トスルニ足ルベキナリ何トナレハ爲替手形ニ關シテハ五年ヲ以テ時効ト爲セルナリ是ニ由テ保證人ハ後日眞ノ所有主ニ爲スノ責ヲ被ルヲアルヘキ支拂ニ對シテ支拂人ヲ擔保シ三年ノ後此義務ヲ免カル、モ尙ホ支拂人ハ二年間搜索セラル、ヲアルヘキナリ故ニ巴里裁判所及ヒ大審院ノ希望シタルカ如ク三年ノ後ハ支拂人ヲシテ其義務ヲ免カレシムルカ又ハ五年間保證人ヲシテ義務ヲ免カル、所ノ支拂人ヲ擔保スルモノニ二三ノ論者就中バルドッシー氏ハ此保證人ハ義務ヲ免カル、所ノ支拂人ヲ擔保スルモノニアラスシテ不注意ノ結果ヲ負擔スヘキ眞誠ノ手形所有者ヲ擔保スルモノナリト主張シタリ此說タル沿革上ヨリ來ル前例ニ反スルノミナラス法典ノ正條ノ精神ニ反スルモノナリ然レモ支拂人裁判官ノ命令ニ依リ債主權ノ占有者ナリト認メラレタル者ニ支拂ヲ爲シ猶ホ義務ヲ免カレサラシムルハラタウ氏ノ言ヘル如ク嚴ニ過キタリト謂ハサルヘカラス(民法典

第千二百四十條

第五十七 同 ○紛失シタル手形ノ所有者裁判官ノ命令ニ依リ保證人ヲ立テ支拂ヲ要求スルヲ得ル場合ニ於テ支拂人ヨリ支拂ヲ拒ムキハ所有者ハ其權利ヲ保存スルニ拒絶證書ト稱スル證書ヲ以テス拒絶證書ハ拒ミ證書ト異ナルモノナリ何トナレハ拒ミ證書ニ至テハ證券ノ登記ヲ要シ紛失ノ場合ニ於テハ登記ヲ行フヲ能ハサレハナリ然レモ此證書ハ拒ミ證書ニ等シキ効力アルモノニシテ紛失シタル證書ノ支拂期限ノ翌日ニ作り且拒ミ證書送達ノ爲メ成定セラレタル法式ニ從ヒ其期限内ニ振出人及ヒ裏書人ニ送達スヘキモノトス(商法典第百五十三條)

第十節 關涉ニ依ル支拂

支拂人ノ受諾ナキ拒ミ證書ヲ作りタル後第三者關涉ニ依リ受諾スルヲ得ルト同シク其支拂ナキ拒ミ證書ヲ作りタル後之ニ代リ支拂ヲ爲スヲ得ヘシ

一 關涉ニ依リ支拂ヲナシ得ベキ人

第五十八 同 凡ソ手形支拂ノ義務ヲ負ハサル第三者ハ關涉ニ依リ義務者ノ一人ノ爲メニ其支拂ヲ爲スヲ得其關涉又支拂ハ拒ミ證書中又ハ其證書ノ未ニ之ヲ證明スヘキモノトス(商法典百五十八條)是レ其支拂ヲ拒ミ證書ノ後又ハ拒ミ證書ニ關スル支拂ト稱スル所以ナリ又一ニ之ヲ稱シテ名譽ニ因ル支拂ト云フ其署名者ノ名譽ヲ損セサルカ爲メニ行フモノナルヲ以テナリ

關涉ニ依ル支拂人ハ手形面ニ時宜ニ依リ支拂ヲ爲ス爲メ指名セラレタルキハ代理人ナリ否
サルキハ之ヲ事務管理トナス

若シ振出人ノ爲メニ關涉ニ依ル支拂ヲ爲シタルキハ裏書人ト悉皆其義務ヲ免カルヘシ又若
シ裏書人ノ爲メニ之ヲ爲シタルキハ總テ附從ノ裏書人ニシテ自分ヨリ以前ノ裏書人ニ依テ
擔保セラレタル者其義務ヲ免カルヘキナリ

關涉ニ依ル爲替手形支拂ニ關シ競争アル場合ニ於テハ最モ多額ノ放釋ヲ爲ス者ヲ撰ムヘシ
若シ前ニ受諾セサリシ支拂人ニシテ支拂ヲサソフ申出ツルキハ自餘ノ者ヲ斥ケ支拂フ
コトヲ得ルモノトス此法則タル前項ノ法則ト牴觸スルモノニアラス蓋シ自餘ノ者ハ關涉ヲ爲
スモ何レモ同數ノ釋免ヲ爲スニ過キサレハ支拂人ヲ撰マサルヘカラス〔商法典第百五十九

條第二項第三項第四項〕

受諾ヲ爲サ、リシ支拂人ハ單純ニ支拂ヲ爲スニ比スレハ關涉ニ依リ支拂ヲ爲スヲ以テ利益
アリトス何トナレハ若シ單純ニ準備ヲ受取ラスシテ支拂ヲ爲スキハ振出人ニ對シテ代理人
ノ訴權ヲ有スルニ過キス之ニ反シテ裏書人ノ爲メ關涉ニ依リ支拂ヲ爲スキハ之ニ對シ併セ
テ其以前ノ署名人ニ對シ訟求ヲ爲スコトヲ得且其手形ノ他人ノ計算ノ爲メ振出シタルモノナ
ルキハ計算ノ爲メノ振出人ノ爲メ關涉ニ依リ支拂ヲ爲シ以テ其執行スルコトヲ欲セサリシ委

任ヲ爲シタル指圖人ニ對セシテ該振出人ニ對シ訟求ヲ爲スコトヲ得ヘシ

二 關涉ニ依ル支拂人ノ權利

關涉ニ依テ爲替手形支拂フ者ハ所持人ノ權利ニ代位シ履行スヘキ法式ニ付キ同一ノ義務
ヲ負擔スルモノトス〔商法典第百五十九條第一項〕

第五十九 關涉ニ依ル支拂人ナル第三者代位スルコトヲ法律ニ特ニ記載スルヲ要用ナリトス蓋シ法律上
ノ代位辨濟ノ原則ノ變例ナルヲ以テナリ何ヲ以テ之ヲ變例ト爲スカ曰法律上ノ代位辨濟ハ
他人ト共ニ又ハ他人ノ爲メニ義務ヲ負ヒ償却スルニ利アル所ノ負債ヲ辨濟シタルモノナリ
ト雖モ〔民法典第一千二百五十一條第三項〕關涉ニ依ル支拂人ナル第三者ハ支拂ノ利害ニ關ス
ルモノニアラサレハナリ是レ則チ所持人ノ權利ニ代位セシムル爲メニハ特別ノ法文ヲ要ス
ル所以ナリ

第六十 同 斯クノ如ク代位シタル支拂人タル第三者ハ其爲メニ關涉シタル者又ハ其擔保者ニ對シ訟求
權ヲ有スルニ過キス其支拂人ノ爲メニ支拂フタルキハ署名人ハ皆其義務者タルヘク又裏書
人ノ一人ノ爲メニ支拂ヲ爲シタルキハ該裏書人及ヒ其以前ノ署名人ニ對シ訟求權ヲ有スル
ニ過キス又振出人ノ爲メニ支拂ヲ爲シタルキハ之ニ對シ訟求權ヲ有スルノミ

第十一節 所持人ノ權利及ヒ義務

前節ニ述ヘタルカ如ク所持人ハ概テ支拂人ニ受諾ヲ要求シ支拂人受諾ヲ爲サ、ルキハ受諾ナキニ因ル拒ミ証書ヲ作り署名人ニ期限ニ至テ支拂ヲ保証スル者ヲ立ツルカ又ハ即時ノ償還ヲ請求スルヲ得ヘシ此權利ハ所持人ノ爲メニハ純平タル權能ニシテ義務タルモノニアラサルヲ以テ原則トス

又支拂ヲ受ケサル手形ノ所持人ハ商事裁判所長ノ命令ニ據リ署名人ノ動産上ニ權利保存ノ差押ヲ爲サシムルヲ得且其支拂ヲ受クルカ爲メ署名人ノ一人ニ當テ爲替手形振戻之ニ當テ更ニ一ノ爲替手形ヲ振出スヲ説明スヘシ此等ノ權利モ亦純平タル權能ナリトス
本節ニ論究スル所ハ所持人ノ爲メ權利タリ併セテ義務タル所ノモノニ在リ故ニ之ヲ行ヘハ則チ成規ニ適從シタルモノニシテ更ニ失權ヲ被ルヲナク之ヲ行ハサレハ則チ過失アルモノニシテ或ル失權ヲ被ルヘキモノトス第一ノ場合ニ於テハ所持人敏捷ナリト稱シ第二ノ場合ニ於テハ懈怠ナリト稱スルナリ

一 敏捷ナル所持人

所持人敏捷ナル爲メニハ左ノ諸件ヲ行ハサルヘカラス

第六十一 第一 支拂期限ノ日ニ其爲替手形ノ支拂ヲ要求スルヲ〔商法典第六十一條〕〔原註〕若シ所持人期日後三日以内ニ來ラサルキハ義務者ハ手形ニ記載スル金額ヲ附託役所ヘ

附託スルヲ得此場合ニ於テハ附託證書ヲ作ルモノニシテ義務者ハ手形引換ヘシ其附託證書ヲ交付スヘシ而シテ附託ノ金額ハ附託證書ヲ呈示スル者ニ交付スヘキモノトス(共和二年熱月六日布告)前已ニ支拂人ハ其權利者タル所持人ヲ知ラサルカ故ニ提供ヲ爲スニ及ハサルヲ以テ普通法ノ變例タル旨ヲ述ヘタリ即チ支拂人ハ負擔シタル金額ヲ附託スルヲ以テ足レリトス

又其手形ノ閱覽後又ハ閱覽後若干ノ期限ニ至リ支拂フヘキ場合ニ於テハ其閱覽拂ナルキハ直チニ支拂ヲ請求シ其閱覽ヨリ若干ノ期限ニ至リ支拂フヘキハ其日附ヨリ三ヶ月内ニ受諾又ハ少クモ檢印ヲ請求スヘキナリ此期限タル其手形ヲ振出タル國ト之ヲ支拂フヘキ國トニ從ヒ其距離ニ應シ四ヶ月六ヶ月又ハ一ヶ年トス此期限タル往時ハ其倍數ナリシチ千八百六十二年五月三日ノ法律ヲ以テ現時ノ數ニ減縮シタリ然レモ海上ニ戰鬪アル時ニ當テハ此期限ニ倍乘ス何レノ場合ニ於テモ此期限ニ從フハ反對ノ約束ナキキニ限ルモノトス〔商法典第六十條〕

第二 支拂拒ノ場合ニ於テハ期限ノ翌日支拂ナキニ因ル拒ミ証書ヲ以テ其拒ヲ證明セシムルヲ但シ其日法律上ノ祭日ニ當ルキハ其翌日其拒ミ証書ヲ作ルヘキモノトス〔商法典第六十二條〕

所持人ハ受諾ナキニ因ル拒ミ證書ヲ作ルモ爲替手形ノ振出先キナル者ノ死去又ハ分散スルモ支拂ナキニ因ル拒ミ證書ヲ作ラサルヘカラス期限前受諾人分散シタル場合ニ於テハ所持人保證人ヲ差出サシメ又ハ償還ヲ求ムルカ爲メ第四百四十四條拒ミ證書ヲ作ラシメ其訟求ヲ行フヲ得〔同第六十三條〕

又所持人ハ何等ノ證書ヲ作ルモ之ヲ以テ拒ミ證書ニ代フルヲ能ハス紛失ノ場合ニ於テハ纔カニ手形ヲ登記セサルノ故ニ拒ミ證書ト異ナル所ノ前ニ説キタル拒絶證書ヲ作り之ニ代フルヲ得ヘシ

例外トシテ所持人拒ミ證書ヲ作ルノ責ヲ免カレ、トチ得ル場合アリ即チ第一ニ無費用送り戻ノ約款アルキ第二抗拒スヘカラサル力即チ戰爭洪水等ノ障碍アルキ第三ニ支拂期日ノ翌日又ハ當日ニ手形ヲ讓受ケ且其支拂フ場所遠隔シテ所持人成規ノ時期ニ拒ミ證書ヲ作ルヲ能ハサルキ是レナリ然レモ此最終ノ場合ニ於テハ所持人其直接ノ讓渡人ニ對シ訟求權ヲ保存スルノミ

第三 商法典第百六十五條及ヒ第百六十六條ニ依循シ拒ミ證書ヲ送達シ且距離ノ遠近ニ從ヒ期限ノ増加ヲ爲スルハ格別通常拒ミ證書ノ日附ヨリ十五日以内ニ裁判所ニ召喚スルヲ〔原註〕義務者爲替手形ヲ支拂フヘキ地ヨリ五ミリアメートル以上ノ

地ニ居住スルキハ五ミリアメートル以上各二ミリアメートル半ニ付一日ノ猶豫ヲ與フ又其手形佛蘭西ノ大陸外ニ於テ支拂フヘキキハ其國ニ從ヒ一月、二月、五月又ハ八月ノ猶豫アリ而ノ海上戰鬪ノ時ニ當リテ海外國ニテ支拂フヘキキハ此期限ヲ倍乘ス〔千八百六十二年五月三日法律ニ據ル商法典第百六十五條及ヒ第百六十六條〕實際ニ於テハ拒ミ證書モ召喚狀モ同一ノ送達ヲ以テヌ又論者概テ無費用送り戻シノ約款ハ所持人ヲシテ期限内ニ召喚ヲ爲スノ義務ヲ免カレシムト云ヘリ所持人ハ諸般ノ署名人ニ對シ各自又ハ連合シテ〔商法典第百六十四條〕之ヲ其中一人ノ所在地ノ裁判所ニ隨意召喚シ其擔保訴權ヲ行フヲ得ヘシ

所持人ヨリ署名人ノ一人ニ對シ起シタル訴訟ハ自餘ノ署名人ニ對シテ時効ヲ中断スルモノニアラサルヲハ連帶ノ事ヲ説クニ方リ之ヲ述ヘタリ前已ニ言ヘルカ如ク支拂ナキニ因ル拒ミ證書ヲ作りタル爲替手形ノ所持人ハ商事裁判所長ノ認可ヲ得テ振出人受諾人並ニ裏書人ノ動産ニ付キ權利保存ノ差押ヲ爲スヲ得〔商法典第百七十二條〕此第百七十二條ハ訴訟法第四百十七條ノ適用ニ外ナラスト雖モ其特殊ナル所ハ所持人カ保證人ヲ立ツルニ及ハヌ又其資力ヲ證明スルニ及ハサルヲ即チ是レナリ

二 懈怠ナル所持人

第六十三問

所持人懈怠ナルキ詳言スレハ三ヶ月ノ通常期限内ニ閱覽拂手形ノ支拂ヲ要求セス又ハ其閱覽ヨリ若干ノ期限ニ至リ支拂フヘキキ其檢印ヲ要求セス又ハ期限ノ翌日拒ミ證書ヲ作ラズ且拒ミ證書ヲ送達シテ十五日以内ニ裁判所ニ招喚ヲ爲サ、ルキハ其懈怠ノ結果如何此點ニ付テハ左ノ區別ヲ爲サ、ルベカラス

第一 支拂人ニ對シテハ更ニ其受諾シタルト受諾セサルト細別セサルヘカラス支拂人受諾シタルキハ其受諾ニ因テ所持人ノ直接ノ主タル義務者トナリタルカ故ニ所持人ニ其懈怠ヨリ生スル失權ヲ以テ對抗スルヲ能ハス後節ニ論定スルカ如ク五年ノ時効ニアラサレハ申立ツルヲ能ハサルモノナリ○支拂人未タ受諾セサルキハ所持人之ニ對シ準備ヲ供給シタル振出人ノ權利ヲ行フニアラサレハ訴權ヲ有セサルモノトス〔商法典第七十條末項〕

第二 裏書人ニ對シテハ懈怠アル所持人ハ總テノ權利ヲ失フモノトス〔商法典第六十八條〕而シテ法律ニ於テハ裏書人ノ義務免脱ニ付キ何等ノ證據モ之ヲ舉示スルヲ必要トナサス前節第十七條ノ第二項ヲ説クニ方リ裏書人ハ準備ノ存在ヲ證明スルニ及ハス故ニ支拂人ノ受諾シタルト否トハ敢テ其利害ノ關スル所ニアラサル

トテ述ヘタリ蓋シ裏書人ハ爲替手形ノ金額ヲ供給シタルモノニシテ所持人ニ損害ヲ加ヘテ自カラ利スルモノニアラサルヲ以テ所持人ハ其懈怠ノ結果ヲ被ルヘキハ固ヨリ至當ナリトス〔原註〕又商業手形ノ事ヲ論スルニ方リ印紙ヲ貼用セサル爲替手形稅其他ノ手形ノ所持人ハ裏書人ニ對シ訴權ヲ有スルモノニアラサルヲ述フヘシ〕
振出人ニ對シテハ振出人其期限ニ至リ準備アリタル旨ヲ證明スルキハ懈怠ナル所持人ハ其權利ヲ失フモノトス若シ準備アラサルキハ所持人其懈怠ニ拘ハラズ振出人ニ對シ訟求權ヲ有スルモノトス〔商法典第七十條第一項〕此區別タル眞ニ道理ニ適シタルモノナリ蓋シ振出人期限ニ至リ準備ヲ爲シタルキハ所持人其懈怠ノ結果ヲ被ルヘキヤ理ノ當ニ然ルヘキ所ナリ何トナレハ振出人ハ準備ヲ爲シタルカ故ニ所持人ニ損害ヲ加ヘ自カラ利スルモノニアラス即チ受取人ヨリ原因ナクシテ爲替手形ノ金額ヲ受取リタルモノニアラサレハナリ之ニ反シテ振出人準備ヲ爲サ、

リシキハ所持人ノ懈怠毫モ之ニ損害ヲ及ホスモノニアラス何トナレハ振出人ハ受取人ヨリ爲替手形ノ金額ヲ受取リタルカ故ニ振出人ハ所持人ニ損失ヲ加ヘ自カラ利スヘキモノニ非サレハナリ右第一ノ場合ニ於テハ準備ヲ爲シタル振出人ト爲替手形ノ金額ヲ供給シタル所持人トハ同一ノ位置ニ在リテ兩者互ニ損害ヲ避ケン

ヲ欲スルモノナリ然ルニ所持人ニハ責ムヘキノ懈怠アルカ故ニ之ニ損失ヲ被ラシムヘキヤ當然ナリ第二ノ場合ニ於テハ振出人準備ヲ爲サス所持人ハ爲替手形ノ金額ヲ供給シタルヲ以テ其位置ヲ異ニシ振出人ハ利益ヲ得ント欲シ所持人ハ損失ヲ避ケント欲スルモノナリ故ニ何人ト雖ヒ他人ニ損害ヲ加ヘ自カラ利スヘカラスト云フ原則ニ依循シ所持人ニ首位ヲ占メシメサル可ラス

前節準備ノ事ヲ説クニ方リ支拂人ニ準備ノ存在スル證據ヲ舉クルモノハ振出人ニシテ振出人ハ支拂人ノ受諾シタル手形ノ所持人ニ對シ準備ノ存セサル證據ヲ舉示スルヲ求ムル能ハス(商法典第十七條第三項)故ニ振出人ヨリ所持人ノ失權ヲ申立ツルキハ其義務免脱ノ原因ヲ證シ其期限ニ於テ準備アリタルヲ辨明セサルヘカラスト(同第十七條第一項)支拂人期限前ニ分散シタルキハ期限ニ於テ準備アリタリト云フヲ得ヘキカ此問題ハ論議未ク一定セサル所ノモノナリ

一説ニ曰振出人ハ支拂期限ニ於テ支拂人少クモ爲替手形ノ金額ニ等シキ金額ノ負債主ナルキハ其懈怠ヨリ生スル失權ヲ以テ所持人ニ對抗スルヲ得況ンヤ(商法典第六十三條ニ所持人ハ支拂人ノ分散ニ因リ拒ミ證書ヲ作ルノ義務ヲ免カル、ヲ能ハストノ明言アルニ於テチヤト(ボアステール氏ノ説)

大審院ニ於テ採用シタル他ノ一説ニ曰支拂人ノ分散ハ支拂期限前ニ之アリシキハ準備存在ヲ消滅セシムルモノナリ支拂人ヨリ振出人ニ對シ負擔シタル金額ニシテ支拂人ノ分散ニ依テ支拂期限ニ至リ處分スルヲ得サルモノトナリタル以上ハ振出人ハ支拂期限ニ準備ヲ爲シタリト謂フヘカラスト(商法典第十六條及第七十條第一項)且所持人ノ遅延ハ毫モ振出人ニ損害ヲ加ヘタルモノニアラス何トナレハ所持人ハ期限ニ至リ請求ヲ爲スモ支拂ヲ受ケサルヘク又分散シタル支拂人ハ其財産ヲ奪ハレタルニ因リ支拂ヲ爲スヲ能ハサルカ故ニ到底支拂ヲ受クルヲ得サレハナリ商法典第六十三條ニ所持人ハ支拂人ノ分散ニ因リ拒ミ證書ヲ作ルノ責ヲ免カレスト定メリト雖ヒ拒ミ證書ヲ作ルハ裏書人ニ對シ必要ナルノミニシテ振出人ニ對シ必要ナルニアラスト(千八百六十年四月三十日大審院)(原註)若シ商品ヲ送付シ之ヲ賣却シ其代金ヲ以テ準備トシタルカ又ハ商業手形ヲ交付シ支拂ヲ受ケ其金額ヲ以テ準備トシ手形ノ支拂ヲ爲スヘキモノト定メタルキハ所持人ハ支拂人ノ分散ノ場合ニ於テモ時宜ニ依リ準備ヲ以テ支拂ヲ受クルヲ得ヘシ何トナレハ該準備タル支拂人ノ所有物トナリタルモノニアラスシテ取戻スヲ得ヘキモノナレハナリ

且此説ハ引出小切手ニ付キ立法者カ採用シタル所ノモノナリ

○振出人準備ヲ爲シタルキハ所持人ニ向ヒ其懈怠ニ起因セル失權ヲ以テ對抗スルヲ得但

所持人ハ支拂人ニ對シ其權利ヲ行ヒ時宜ニ依リ準備ヲ以テ其支拂ヲ受クルヲ得
振出人準備ヲ爲サ、リシキハ爲替手形ニ據リ義務ヲ負ヒ所持人ニ對シテハ後節ニ説ク所ノ
五年ノ時効ヲ申立ツルヲ得ルニ過キス

○關涉ニ依ル受諾人又ハ手形保證人ノ如キ他ノ義務者ニ至テハ論者概テ其關涉若クハ保證
セラレタル者ト同一ノ位地ニ在リテ同一ノ權利義務ヲ有スルモノトセリ

○之ヲ要スルニ懈怠ナル所持人ハ左ノ人ニ對シテ權利ヲ失フモノトス

第一、裏書人

第二、準備ヲ爲シタル旨ヲ辨明スル所ノ振出人

然レハ商法典第七十一條ニ據レハ失權ノ効ハ振出人又ハ裏書人カ爾後計算、相殺、其他ノ
原因ニ由リ爲替手形ノ支拂ニ供シタル資金ヲ受取リタルキハ息止スルモノトス此場合ニ於
テハ所持人ヨリ已ニ損害ヲ加ヘ振出人又ハ裏書人ヲ利スルヲ得ヘカラサル旨ヲ唱ヘ之ニ
對シテ其準備ノ爲メ受取リタル所ノモノヲ返還スヘキヲ請求スルヲ得何トナレハ振出
人又ハ裏書人ハ再ヒ手形ノ金額ヲ受取リ以テ所持人ニ損失ヲ加フル能ハサレハナリ

三 諸種ノ義務者ノ訟求訴權

所持人支拂ヲ受ケタルキハ支拂ヲ爲シタル者ハ執行ス可キ償還要求ノ權利ヲ有ス此點ニ付テ

ハ左ノ區別ヲ爲サ、ルヘカラス

第一 支拂フタル者支拂人ナル時此場合ニ於テ若シ支拂人準備アリタルキハ其支拂ニ因

リ總テノ義務者ハ其義務ヲ免カレ償還要求ノ權利ヲ行フヘキモノナシ然レハ若シ準
備ナク支拂フタルキハ振出人又ハ振出人ニ委任シタル指圖人ニ對シテ償還要求ノ
權利ヲ有ス但受諾シタルキハ其受諾ハ準備ノ存在ヲ推測スルヲ以テ反對ノ證ヲ舉ク
ルハ支拂人ノ任トス(商法典第十七條)裏書人又ハ計算ノ爲メノ振出人ニ對シテ
ハ其之カ爲メ關涉ニ依リ支拂フタルキニアラサレハ償還要求ヲ爲スヲ能ハス此場
合ニ於テハ所持人カ署名ヲ擔保シタル者ニ對シテ所持人ノ權利ノ代位ニ因リ享有
スルモノナリ(同第五十九條)

第二

支拂フタル者裏書人ノ一人ナル時該裏書人ハ其以前ノ裏書人並ニ振出人ニ對シ
償還要求ヲナスヲ得ヘシ之ニ對シテハ其代位シタル所持人ノ如ク同一ノ期限内
ニ同一ノ失權ノ制裁ヲ以テ各別又ハ連合シテ償還要求ヲ爲スヲ得其期限ハ裁
判所ニ召喚ヲ爲シタル翌日ヨリ之ニ對シテ進行スルモノトス(商法典第六十七
條第七十條、第七十一條及第七十二條)(原註)實際ニ於テハ裏書人ハ書面ヲ
以テ單ニ通知ヲ爲シタル後支拂フモノナリ此場合ニ於テハ其償還要求ヲ執行スル